

第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン

進行管理シート

平成30年4月

目次

■記載内容の説明

■最適化に向けた施設別プラン

1-1 府中グリーンプラザ	…	1	27 学童クラブ	…	61
1-2 // (NPO・ボランティア活動センター)	…	3	28 ふれあい会館	…	63
2-1 府中グリーンプラザ分館	…	5	29 介護予防推進センター	…	65
2-2 // (リサちゃんショップけやき)	…	7	30 特別養護老人ホーム		
2-3 // (は～もにい)	…	9	・高齢者在宅サービスセンター	…	67
3 市民会館	…	11	31 心身障害者福祉センター「きずな」	…	69
4 府中の森芸術劇場	…	13	32 保健センター	…	71
5 郷土の森博物館	…	15	33 旧保健センター分館	…	73
6 ふるさと府中歴史館	…	17	34 市営住宅	…	75
7 美術館	…	19	35 市民保養所「やちほ」	…	77
8 生涯学習センター	…	21	36 八ヶ岳府中山荘	…	79
9 文化センター	…	23	37 本庁舎	…	81
10 中央図書館	…	25	38-1 府中駅北第2庁舎	…	83
11 地区図書館	…	27	38-2 // (工業技術情報センター)	…	85
12 総合体育館(郷土の森総合体育館)	…	29	38-3 // (府中特産品直売所)	…	87
13 地域体育館	…	31	38-4 // (環境保全活動センター)	…	89
14 市民総合プール(郷土の森総合プール)	…	33	38-5 // (府中国際交流サロン)	…	91
15 地域プール	…	35	39 女性センター	…	93
16-1 市民陸上競技場	…	37	40 観光情報センター	…	95
16-2 グラウンド管理所	…	39	41 リサイクルプラザ	…	97
17 野球場	…	41	42 府中の森市民聖苑	…	99
18 サッカー場	…	43	43 府中駅南口市営駐車場	…	101
19 庭球場	…	45	44 自転車駐車場	…	103
20 小学校	…	47			
21 中学校	…	49			
22 学校給食センター	…	51	■計画的保全の取組		
23 教育センター	…	53	1 保全計画の策定	…	105
24 子ども家庭支援センター「たち」	…	55	2 委託業務の見直し	…	105
25 保育所	…	57	3 ライフサイクルコストを考慮した施設整備	…	106
26 幼稚園	…	59	4 保全に関する連携体制の強化	…	106
			5 施設情報の一元化	…	107

■記載内容の説明

No.	施設名	担当課	
○	〇〇〇〇	〇〇課	
建物(ハード)			
延床面積	<p>各施設の概要等は、原則『第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン』 (平成26年8月策定)に記載の内容を掲載しています。 (築年数は平成24年度末時点、利用状況は平成23年度のデータです。)</p>		
しゅん工年度			
特記事項			
運営(ソフト)			
設置目的			
機能			
運営			
現状 (策定当初)			
検討の方向性 (短期)			
短期スケジュール			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
期待する 主な効果			
取組結果			
取組成果の内容			

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】
		【来年度の取組予定】
平成27年度	上半期	【進捗状況】
	下半期	【進捗状況】
平成28年度	上半期	【進捗状況】
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】
		【来年度の取組予定】
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】
		【下半期の取組予定】
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】

平成26年度下半期から平成29年度末まで、半年ごとの各施設の取組予定及び取組状況を掲載します。

■ 最適化に向けた施設別プラン

No.	施設名	担当課
1-1	府中グリーンプラザ	文化生涯学習課・(財産活用課)
建物(ハード)		
延床面積	6,729㎡	
しゅん工年度	昭和55年(1980年)	
特記事項	・本館は耐震診断において「耐震性能あり。」の結果が出たが、建築後 30年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設	
機能	けやきホール、展示ホール、会議室(8室)、音楽練習室(4室)、和室(2室)、託児室及び府中NPO・ボランティア活動センター	
運営	【指定管理者】公益財団法人府中文化振興財団(平成23年4月1日～平成28年3月31日) →公益財団法人府中文化振興財団(平成28年4月1日～平成30年3月31日)	
現状 (策定当初)	・稼働率(平均)は、音楽練習室が約100%と高く、会議室(講習室、集会室含む)も約80%と高い。一方、けやきホールと展示ホールの稼働率はそれぞれ約50%、また和室は約60%とあまり高くない。 ・府中駅周辺には公共施設が多く整備されているが、市内には類似する施設も存在することから、効率的かつ効果的な施設配置を検討する必要がある。	
検討の方向性 (短期)	・府中駅周辺の施設配置の状況や施設の老朽化の点などから、処分を検討する。なお、既存機能については他の施設での対応を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、府中駅周辺の施設配置の状況や老朽化の点などから処分を検討し、府中グリーンプラザ及び分館を、平成30年3月31日をもって閉館した。 閉館に際しては、施設利用者や館内テナントの理解を得ることや、館内美術品、備品の整理等の様々な課題があったが、利用者アンケートや説明会、テナントとの調整、美術品等の移設先の検討を行い、対応した。 閉館後は、解体作業に向け、館内備品の整理を行う。 ・府中グリーンプラザ閉館後の新たな利活用に向けて、サウンディング型市場調査等を実施し、「府中グリーンプラザ敷地活用方針」を策定した。活用方針を踏まえ、府中グリーンプラザ敷地活用事業者の選定を行い、優先交渉権者を決定した。	

取組状況	
平成26年度	【下半期の取組予定】 ・今後の施設に係る検討を行う際の資料とするため、施設利用者を対象に、利用状況に関するアンケートを実施する。また、施設の主な利用者及び館内のテナントに対して、公共施設マネジメントの取組の進捗状況を適宜説明する。
	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成26年8月18日から9月18日まで、施設の利用者を対象に利用状況に関するアンケートを実施した。 ・主な施設の利用者や館内のテナント等に対して、公共施設マネジメントの概要、取組状況を適宜説明した。
	計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・引き続き、公共施設マネジメントの取組状況や府中駅南口市街地再開発ビルの進捗状況を見ながら、利用者及びテナントに対して、説明を行っていく。 ・施設の利用者を対象に、公共施設マネジメントに関する利用者アンケートを実施する予定。
平成27年度	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・平成27年7月2日から24日まで、施設の利用者を対象に市内公共施設及び府中グリーンプラザに関するアンケートを実施した。 ・館内テナントに対して、公共施設マネジメントの進捗状況を説明した。
	計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・引き続き、公共施設マネジメントの取組状況や府中駅南口市街地再開発ビルの進捗状況を見ながら、利用者及びテナントに対し、適宜説明を行っていく。
	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・府中グリーンプラザの7階で活動を行うフロア・セブン協議会及び館内テナントに対して、公共施設マネジメントの進捗状況を説明した。 ・平成27年11月中旬から下旬にかけて施設の利用者アンケートを実施した。
平成28年度	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・府中グリーンプラザの平成30年3月31日の閉館に向けて、廃止条例を制定した。市民周知については、施設利用者に対し、「府中グリーンプラザニュース」を作成し、館内掲示板や市ホームページで公表した。さらに、フロア・セブン協議会に対し、個別に案内を送るほか、館内テナントに対しては、再編の経緯や今後のスケジュール等を説明し、理解を求めた。
	計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・府中グリーンプラザの廃止に係る条例を制定したので、閉館に向けた手続きを進めるとともに、施設利用者に対し市報や市ホームページ等で周知を図る。また、館内美術品等の取扱いについても検討を進める。 (財産活用課：府中グリーンプラザ閉館後の跡地等の活用について、検討を行う。)
	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成28年第3回市議会定例会において、府中市立府中グリーンプラザ条例を廃止する条例が成立し、府中グリーンプラザは、平成30年3月31日をもって閉館することとなった。閉館に向けた取組として、市民周知を図るために「府中グリーンプラザ及び分館の閉館に関するお知らせ」、「府中グリーンプラザニュース」等を作成し、館内掲示板、市ホームページ、府中グリーンプラザホームページ、広報ふちゅう、自治会回覧等で公表した。また、館内の備品の整理方法について検討した。 (財産活用課：府中グリーンプラザ閉館後の新たな利活用に向け、実際の活用や事業参画を想定する事業者との対話を通じ、市場性を把握するとともに、事業手法及び活用方針の検討並びに公募資料等に反映すべき事項の整理を行うため、サウンディング型市場調査を実施した。)
平成29年度	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・施設の閉館に向け、館内テナントと協議を行ったほか、館内の美術品や備品類の移設等の検討を行った。 (財産活用課：府中グリーンプラザ敷地活用方針を策定し、新たな活用を行う事業者の募集要項類を公表するなど、府中グリーンプラザ閉館後の速やかな利活用に向けた取組を進めた。)
	計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・引き続き、施設の閉館に向け、館内テナントとの協議を行うほか、館内の美術品の移設や備品の廃棄処理に係る経費の予算措置などを行う。 ・府中グリーンプラザの閉館を迎えるにあたって、長年にわたるコミュニティ活動を振り返ることなどを目的に市と指定管理者によるクローゼットイベントを開催する。 (財産活用課：引き続き、府中グリーンプラザ閉館後の速やかな利活用に向け、取組を進める。)
	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・施設の閉館に向け、館内テナントとの協議が概ね整い、また館内美術品の移設先を確保することができた。 ・平成30年3月末には、閉館イベントを実施した。 (財産活用課：閉館後の新たな利活用に向けて、府中グリーンプラザ敷地活用事業者の選定を行い、優先交渉権者を決定した。)

No.	施設名	担当課
1-2	府中グリーンプラザ (NPO・ボランティア活動センター)	協働推進課
建物(ハード) ※施設全体		
延床面積	6,729㎡	
しゅん工年度	昭和55年(1980年)	
特記事項	・本館は耐震診断において「耐震性能あり。」の結果が出たが、建築後 30年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民、企業及び市との連携によるまちづくりを目指し、市内で継続的に社会貢献活動を行うNPO・ボランティア団体の活動・交流の拠点となる施設	
機能	府中NPO・ボランティア活動センター	
運営	【業務委託】NPO法人府中市民活動支援センター	
現状 (策定当初)	・府中駅南口再開発事業に伴い整備される新たな施設への移転を予定している。	
検討の方向性 (短期)	・府中駅周辺の施設配置の状況や施設の老朽化の点などから、処分を検討する。なお、既存機能については他の施設での対応を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・府中グリーンプラザ内にあったNPO・ボランティア活動センター機能を、新たな市民活動拠点施設である市民活動センター「プラッツ」に移転し、センターの一部機能として指定管理者による運営を開始した。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・平成28年度末(予定)に当該施設の機能を移転する新たな市民活動拠点施設の実施設設計及び管理運営方法等の検討を行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・市民活動拠点施設の実施設設計を行った。 ・市民活動拠点施設の管理運営方法等について、部内で検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・市民活動拠点施設の設置条例を制定し、指定管理者の選定を進める。 ・市民活動拠点施設の管理運営方法等について、引き続き検討を進める。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・市民活動拠点施設の管理運営方法等について部内で検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・市民活動拠点施設の設置条例を制定し、指定管理者の選定を進める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・NPO・ボランティア活動支援センター機能を含む府中駅南口新施設内の府中市市民活動センターについて、設置条例を制定した。市民活動拠点施設の運営方法について引き続き検討した。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・NPO・ボランティア活動センター機能を含む府中駅南口新施設内の府中市市民活動センターについて、設置条例を制定した。市民活動拠点施設の運営方法について引き続き検討した。
		【下半期の取組予定】 ・NPO・ボランティア活動センター機能を含む府中市市民活動センターについて、指定管理者候補者を選定し、市議会に諮る。 ・施設の事前予約を開始する。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・NPO・ボランティア活動センター機能を含む府中市市民活動センターについて、指定管理者候補者を選定し、市議会にて承認を受けた。 ・施設の事前予約を開始した。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・府中グリーンプラザ内にあったNPO・ボランティア活動センター機能は、市民活動センター「プラッツ」の機能の一部として、7月から指定管理者による運営を開始した。
		【下半期の取組予定】 ・市民活動センター「プラッツ」内の1つの機能として、引き続き、指定管理者による運営を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市民活動センター「プラッツ」内の1つの機能として、引き続き、指定管理者による運営を行った。

No.	施設名	担当課
2-1	府中グリーンプラザ分館	文化生涯学習課・(財産活用課)
建物(ハード)		
延床面積	1,350㎡	
しゅん工年度	平成8年(1996年)	
特記事項	—	
運営(ソフト)		
設置目的	市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設	
機能	ギャラリー、リサちゃんショップけやき及びは～もにい(喫茶・福祉ショップ)	
運営	【指定管理者】公益財団法人府中文化振興財団(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→公益財団法人府中文化振興財団(平成28年4月1日～平成30年3月31日)	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・分館ギャラリーの稼働率は、約80%と高い。 ・府中駅周辺には公共施設が多く整備されているが、市内には類似する施設も存在することから、効率的かつ効果的な施設配置を検討する必要がある。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・機能の全面的な見直しを検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、建物内の機能の全面的な見直しを検討し、府中グリーンプラザ分館は平成30年3月31日をもって閉館した。閉館に伴い、館内のギャラリー機能を廃止した。 	

取組状況			
平成26年度	下半期	【進捗状況】	【下半期の取組予定】 ・今後の施設に係る検討を行う際の資料とするため、施設利用者を対象に、利用状況に関するアンケートを実施する。また、施設の主な利用者及び館内のテナントに対して、公共施設マネジメントの取組の進捗状況を適宜説明する。
		【進捗状況】	【下半期の取組状況】 ・平成26年8月18日から9月18日まで、施設の利用者を対象に利用状況に関するアンケートを実施した。
		計画通りに進んでいる	【来年度の取組予定】 ・施設の利用者を対象に、公共施設マネジメントに関する利用者アンケートを実施する予定。
平成27年度	上半期	【進捗状況】	【上半期の取組状況】 ・平成27年7月2日から24日まで、施設の利用者を対象に市内公共施設及び府中グリーンプラザに関するアンケートを実施した。
		計画通りに進んでいる	【下半期の取組予定】 ・引き続き、公共施設マネジメントの取組状況や府中駅南口市街地再開発ビルの進捗状況を見ながら、利用者に対し、適宜説明を行っていく。
	下半期	【進捗状況】	【下半期の取組状況】 ・平成27年11月中旬から下旬にかけて施設の利用者アンケートを実施した。
平成28年度	上半期	【進捗状況】	【上半期の取組状況】 ・府中グリーンプラザ(市民ギャラリー)の平成30年3月31日の閉館に向けて、廃止条例を制定した。市民周知については、「府中グリーンプラザニュース」を作成し、館内掲示板や市ホームページで公表した。
		計画通りに進んでいる	【下半期の取組予定】 ・府中グリーンプラザ(市民ギャラリー)の廃止に係る条例を制定したので、閉館に向けた手続を進めるとともに、施設利用者に対し市報や市ホームページで周知を図る。また、現在、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に関連する仮設店舗が分館内で営業しているため、分館ギャラリーの面積を縮小及び利用料金を減額して利用者に貸出を行っているが、今年度中には仮設店舗が再開発ビルへ移る時期が確定するため、詳細が決まり次第、分館ギャラリーを従来の形に戻すための準備を行う。 (財産活用課: ギャラリー廃止後の施設活用について、関係課と調整を行う。)
	下半期	【進捗状況】	【下半期の取組状況】 ・平成28年第3回市議会定例会において、府中市立府中グリーンプラザ条例を廃止する条例が成立し、府中グリーンプラザ分館ギャラリーは、平成30年3月31日をもって閉館することとなった。閉館に向けた取組として、市民周知を図るために「府中グリーンプラザ及び分館の閉館に関するお知らせ」、「府中グリーンプラザニュース」等を作成し、館内掲示板、市ホームページ、府中グリーンプラザホームページ、広報ふちゅう、自治会回覧等で公表した。また、館内の備品の整理方法について検討した。 (財産活用課: ギャラリー廃止後の施設活用について関係課と調整を行った。)
平成29年度	上半期	【進捗状況】	【上半期の取組状況】 ・館内で営業していた府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に関連する仮設店舗がル・シーニュに移転したことに伴い、仮設店舗部分の原状回復について協議を行った。 (財産活用課: 今後の施設活用に向けたスケジュールについて、当該施設において鉄道事業者が予定している高架橋耐震補強工事による影響を踏まえ、関係課と調整を行った。)
		計画通りに進んでいる	【下半期の取組予定】 ・分館ギャラリー廃止に向け、備品の廃棄処理に係る経費の予算措置などを行う。 (財産活用課: 鉄道事業者による高架橋耐震工事の予定も踏まえ、引き続き関係課と十分に連携を図り、効率的な事業実施に向け検討を進める。)
	下半期	【進捗状況】	【下半期の取組状況】 ・備品の廃棄処理に係る経費の予算措置を行うなど、閉館に向けた準備を行った。

No.	施設名	担当課
2-2	府中グリーンプラザ分館 (リサちゃんショップけやき)	ごみ減量推進課
建物(ハード) ※施設全体		
延床面積	1,350㎡	
しゅん工年度	平成8年(1996年)	
特記事項	—	
運営(ソフト)		
設置目的	リサイクルの推進及び意識啓発のための施設	
機能	リサイクルショップ、情報紹介コーナー	
運営	【業務委託】NPO法人府中リサイクル推進協会	
現状 (策定当初)	・府中駅周辺には公共施設が多く整備されているが、市内には類似する施設も存在することから、効率的かつ効果的な施設配置を検討する必要がある。	
検討の方向性 (短期)	・機能の全面的な見直しを検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・類似機能の統廃合による効率的な施設運営	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設である府中グリーンプラザ分館内の各機能が連携したにぎわいの創出に向けた取組については、鉄道事業者が予定している高架橋耐震補強工事による影響を踏まえ、スケジュールも含め、関係各課や鉄道事業者と調整を行った。 ・リサちゃんショップけやきの照明の数が少なく、店舗全体が暗い印象になっていたため、一部照明の数を増やし、活気のある店舗づくりを行った。 ・タウン誌やバスの中張り広告などの、各種広報媒体にリサちゃんショップけやきの広告を掲載し、集客の増加に努めた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の機能の見直しを検討することに伴い、ショップの今後のあり方について検討を始める。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの取組において、グリーンプラザ分館が施設全体で機能の見直しとなっている施設であることを利用団体に説明した。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の検討結果やその後の検討状況を踏まえ、リサちゃんショップの今後のあり方について検討し、ある程度の方向性が固まった段階で利用団体と協議する。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサちゃんショップの今後のあり方について、現状の機能を精査し、運営の効率性や改善点について検討した。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期に引き続き、改善点等を検討する。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサちゃんショップの運営効率改善のため、再生家具販売事業などについて利用団体との協議を開始した。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営効率の改善のための協議を続けるとともに、リサちゃんショップの利用者を増やしてにぎわいを創出するため、新規の利用者やリピーターを獲得するための取組を利用団体と協議する。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の有効活用に向け、顧客創出への取組について、利用団体と協議した。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営効率の改善、利用者の増加及び、利用者層の拡大に向けた取組について、利用団体と協議する。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生家具を展示販売しているスペースの活用方法について、協議を行った。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営効率の改善のための協議を続けるとともに、リサちゃんショップの利用者を増やしてにぎわいを創出するため、新規の利用者やリピーターを獲得するための取組を利用団体と協議する。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置など、運営効率の改善のため、利用団体と協議を行った。 ・今後の施設活用に向けたスケジュールについて、当該施設において鉄道事業者が予定している高架橋耐震補強工事による影響を踏まえ、関係課と調整を行った。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営効率の改善や、利用者数の増加、利用者層の拡大に向けた取り組みについて、利用団体と協議する。 ・鉄道事業者による高架橋耐震工事の予定も踏まえ、引き続き関係課と十分に連携を図り、効率的な事業実施に向け検討を進める。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の施設活用に向けたスケジュールについて、当該施設において鉄道事業者が予定している高架橋耐震補強工事による影響を踏まえ、鉄道事業者や関係各課と調整を行った。

No.	施設名	担当課
2-3	府中グリーンプラザ分館(は～もにい)	障害者福祉課
建物(ハード) ※施設全体		
延床面積	1,350㎡	
しゅん工年度	平成8年(1996年)	
特記事項	—	
運営(ソフト)		
設置目的	障害を持つ方の雇用の拡大を図るとともに、市内福祉作業所の作品の展示・販売を行い、障害者福祉の啓発を行うための施設	
機能	喫茶、福祉ショップ	
運営	社会福祉法人府中市社会福祉協議会	
現状 (策定当初)	・府中駅周辺には公共施設が多く整備されているが、市内には類似する施設も存在することから、効率的かつ効果的な施設配置を検討する必要がある。	
検討の方向性 (短期)	・機能の全面的な見直しを検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・類似機能の統廃合による効率的な施設運営	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<p>・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設である府中グリーンプラザ分館機能の全面的な見直しに伴い、関係各課と連携を取り、にぎわいの創出に向け、検討を進めた。</p> <p>・は～もにいの運営方法について、府中グリーンプラザ分館内の他の施設との連携や売り場のレイアウトなどを検討したが、当該施設において、鉄道事業者による高架橋耐震補強工事が行われることとなり、今後のスケジュール等について、関係各課や鉄道事業者と調整を行った。</p>	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・施設全体の機能の見直しを検討することに伴い、今後のあり方について検討を開始する。 ・現行の運営面では、喫茶スペースの備品や店内レイアウトの改善を図るほか、喫茶メニューのリニューアル(地産地消を目標)などを検討する。 ・施設利用者(就労継続支援B型)の一般就労定着数が増えるよう、就労支援相談窓口との更なる連携を図る。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【下半期の取組状況】 ・平成26年12月15日から平成27年1月31日まで、利用者アンケート実施。 ・平成27年2月26日、運営している社会福祉協議会から意見を聞く。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【上半期の取組状況】 ・平成27年7月3日、運営している社会福祉協議会と今後についての話し合い及び意見交換を行った。営業時間の延長、それに伴うスタッフや利用者の就業時間の検討。
	下半期	【下半期の取組予定】 ・年度内に再度営業時間や就業時間の延長等について、社会福祉協議会と話し合う予定。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【上半期の取組状況】 ・ショップは～もにいいについて、特産品直売所との事業連携を実施していく方向で、農産物出荷組合(事務局は農協)と意思確認をした。
	下半期	【下半期の取組予定】 ・市内障害者施設へ、ショップは～もにいいにおける今後の事業内容等について説明をしていく。 ・特産品直売所との事業連携について関係機関と適宜調整を進める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる
		【上半期の取組状況】 ・は～もにいいの運営方法について、グリーンプラザ分館内の他の施設との連携や売り場のレイアウトなどを検討した。 ・今後の施設活用に向けたスケジュールについて、当該施設において鉄道事業者が実施を予定している高架橋耐震補強工事による影響を踏まえ、関係課と調整を行った。
	下半期	【下半期の取組予定】 ・鉄道事業者による高架橋耐震工事の予定も踏まえ、引き続き新たな施設活用について検討を進めていくとともに、障害者の就労機会を確保できるよう努める。
		【進捗状況】
		【下半期の取組状況】 ・鉄道事業者による高架橋耐震工事の予定の目途が立っていないことから、販売スペースとして使用可能な場所を確保するため、関係各課や鉄道事業者と調整を行った。

No.	施設名	担当課
3	市民会館	文化生涯学習課
建物(ハード)		
延床面積	2,864㎡(建物全体14,190㎡)	
しゅん工年度	平成19年(2007年)	
特記事項	・中央図書館との複合施設である「ルミエール府中」の1、2階	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の福祉を増進し、かつ、地域社会の文化の向上を図るための施設	
機能	コンベンションホール(4分割)、会議室(5室)、レクリエーションルーム、料理講習室及び音楽練習室	
運営	【指定管理者】公益財団法人府中文化振興財団(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→株式会社京王設備サービス(平成28年4月1日～平成34年9月30日) 【PFI事業者】PFI府中市民会館・中央図書館株式会社(平成34年9月末まで) なお、施設の維持管理に係る業務については、京王設備サービスが行っている。	
現状(策定当初)	・稼働率(平均)は、音楽練習室が約90%と高いが、コンベンションホールは約60%、会議室は約70%、レクリエーションルームは約60%、料理講習室は約50%とあまり高くない。 ・近隣に中央文化センターがあり、機能の一部(会議室及び料理講習室)は重複している。 ・複合施設であり、各機能で運営が異なることから、連携体制を十分に構築する必要がある。	
検討の方向性(短期)	・稼働率向上や収入の増加に向けた方策を検討する。 ・PFI事業者との契約満了後を見据えた検討を行う。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	○PFI事業者と、契約満了後の事業継続に向けた検討
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	▽継続
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	▽継続
平成29年度	▽継続	▽継続
期待する主な効果	・稼働率の向上や収入の増加 ・維持管理事業の継続性の確保	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	・施設管理については、平成28年度よりPFI事業者の構成員である(株)京王設備サービスを指定管理者として指定し、指定管理者とPFI事業者の一層の連携を図り、市民サービスの向上に努めた。 ・施設の利用促進のため、過去の利用者に対するDMの送付や、指定管理者のグループ会社への広報活動を行った。 ・PFI契約期間満了後に向けて、施設の維持や改修について、PFI事業者等と検討した。	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業の終了する平成34年9月30日を見据え、適切な指定管理者の選定に向けた準備を始める。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理者候補者選定のため、有識者等で構成する「府中市文化施設における指定管理者候補者選定委員会」を設置し、委員会を2回開催。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「府中市文化施設における指定管理者候補者選定委員会」を開催し、秋頃には委員会から市長に答申してもらう予定。なお、次期指定管理者は、平成34年9月30日までが指定管理期間である。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度からの第3期指定管理の開始に向けた準備の他、稼働率向上や収入の増加に向けて、過去の利用者にDMを送付するなど、利用促進に努めた。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、平成28年度からの第3期指定管理の開始に向けた準備の他、指定管理者の変更に備え準備をし、また現指定管理者には稼働率向上や収入の増加に向けて努力を促していく。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度からの新指定管理者への引継ぎを行うとともに、引き続き稼働率の向上に向けて過去の利用者にDMを送るなど、利用料金収入の増加に努めた。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が(株)京王設備サービスに替わることにより、PFI事業者と同一になることから、一体的で効率的な管理が期待でき、引き続き稼働率の向上に向け努力していく。
	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、指定管理者が、(公財)府中文化振興財団からPFI構成事業者である(株)京王設備サービスに替わったので、一体的かつ効率的な管理に向けた取組を行った。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新指定管理者が、PFI事業者と同一になったことから、一体的で効率的な管理が可能となったため、さらなる稼働率の向上と利用料金収入の増加に向けて取り組む。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から指定管理者が、PFI構成事業者の1つである(株)京王設備サービスに替わったので、指定管理者とPFI事業者との連携を一層図り、さらに利用者が快適に利用できるよう取り組んだ。 ・PFI契約期間満了に向け、施設の維持や改修について、PFI事業者等との検討を進めた。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月に、府中駅南口再開発ビル「ル・シーニュ」内に市民活動センターや府中の森芸術劇場分館がオープンすることによる当施設の利用率の減少も懸念されるため、図書館との複合施設という市民会館の独自性や、従来とは異なる指定管理者の特色を活かした取組を実施するとともに、新規利用者へのPRなどを工夫することにより、稼働率の維持に努めていく。 ・PFI契約期間満了時を見据え、図書館及びPFI業者とともに計画的に維持管理を進める。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月に、市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館がオープンしたことにより当施設の利用率がやや減少した。指定管理者の特色を活かしたイベントを実施するとともに、指定管理者の広報媒体を用いて施設PRを行い、新規利用者の取り込みを図った。 ・PFI契約期間満了後も、市民サービスを低下させることなく継続的な施設運営を行えるよう、図書館とともに今後の運営方法について、検討を進めた。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携し、稼働率の向上と更なる運営の改善を行う。また、11月ごろ、利用者を対象にアンケートを実施し意見を聴取する。 ・引き続き、PFI契約期間満了時を見据え、図書館とともに今後の運営方法について、検討を行う。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の稼働率については、市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館がオープンしたことにより減少傾向にあるため、指定管理者の広報媒体を用いて市外利用者への周知に重点を置いて施設PRを行った。 ・今年度は施設の休館日の関係で、1月に利用者を対象にアンケートを実施した。 ・PFI契約期間満了時を見据え、図書館とともに、今後の運営方法の検討のために必要な調査の準備を進めた。

No.	施設名	担当課
4	府中の森芸術劇場	文化生涯学習課
建物(ハード)		
延床面積	31,088㎡	
しゅん工年度	平成2年(1990年)	
特記事項	・施設規模が大きいとともに、興行の実施が可能な音響等設備を有するため、維持及び更新に多額の費用を要する。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図るための施設	
機能	「どりーむホール」、「ウィーンホール」、「ふるさとホール」、練習室(4室)、リハーサル室(3室)及び会議室(3室)	
運営	【指定管理者】公益財団法人府中文化振興財団(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→公益財団法人府中文化振興財団(平成28年4月1日～平成33年3月31日)	
現状 (策定当初)	・稼働率(平均)は、ホールが約70%、練習室が約80%、リハーサル室が約80%と高いが、会議室は約30%と低くなっている。 ・特色のある各ホールで様々な公演(事業)が行われ、利用者だけでなく、入場者(参加者)数も多い施設である。	
検討の方向性 (短期)	・稼働率向上や収入の増加に向けた方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○稼働率向上や収入の増加に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・稼働率の向上や収入の増加	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを実施し、事業の運営に利用者意見を反映した。 ・より分かりやすい情報提供が行えるよう、ホームページをリニューアルした。 ・利用促進のため、施設紹介記事を新聞や劇場情報誌へ掲載したほか、過去の利用者に対してDMを送付した。また、会議室の利用促進チラシを市内各施設で配付したことにより、平成の間の稼働率が向上した。 ・大規模改修に向け、具体的な改修の方法やスケジュール等について検証した。また、特定天井の落下防止対策について準備を進めた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・これまでの利用状況を踏まえ、過去に利用された方へのDM送付や、利用者アンケートの実施を検討する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成26年11月下旬から12月上旬にかけて利用者アンケートを実施した。また、過去に利用された方へDMを送付した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・来年度についても、利用者意見を幅広く集めるため、利用者アンケートの実施及び過去に利用された方へのDMを送付する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・稼働率向上や収入の増加に向けて、過去に利用された方へのDM送付や、劇場で開催するコンクール出場者に対しリハーサルとしてもご利用いただけるようにDMを送付し、利用促進に努めた。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・利用者意見を幅広く集めるため、利用者アンケートをする予定。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成27年11月下旬から12月上旬にかけて利用者アンケートを実施した。また、過去の利用者にDMを送付するなど、利用促進に努めた。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・平成28年度についても、利用者意見を幅広く集めるため利用者アンケートを実施する。また、過去に利用された方へのDMを送付し、稼働率向上や収入の増加を目指す。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・4月にホームページをリニューアルし、より分かりやすい情報提供に努めるとともに、稼働率向上や収入の増加に向けて、過去に利用された方へのDMの送付や、劇場の情報誌「シアターニュース」・「マガジン」に施設紹介の記事を掲載した。また、ホールの空き日や利用案内を館内で掲示し、利用促進に努めた。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・利用者の意見を幅広く集めるために、アンケートを実施する。また、DMの送付や、ホームページの空き状況検索を改善することで、稼働率向上や収入の増加を目指す。 ・今後の施設のあり方や改修計画の方向性を検証するための準備を始める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成28年11月上旬に利用者アンケートを実施した。上半期に引き続き劇場の情報誌「シアターニュース」及び「マガジン」に施設紹介の記事を掲載するほか、同様の新聞広告も実施するなど稼働率の向上に努めた結果、3ホールの平均稼働率が前年度を上回った。また、平成・梅・櫻の間の利用促進チラシを作成し、ホール利用者を中心に案内することで利用促進に努めた。 ・今後の施設の改修方法等の検証及び天井地下補強修繕の準備を始めた。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・平成29年度についても、利用者意見を幅広く集めるため利用者アンケートを実施する。また、更なる稼働率の向上が見込める平成の間やふるさとホールについて、過去に利用された方を中心にDMを送付し、稼働率向上や収入の増加を目指す。 ・平成30年度から改修に向けて具体的に動きだすため、今後のスケジュールを詰めていく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・劇場の情報誌「シアターニュース」や「マガジン」に施設紹介記事を掲載し、PRに努めたほか、平成の間や櫻・梅の間の利用促進チラシ配付等の効果で平成の間の稼働率が前年比(4～8月)で約6%増加した。 ・府中の森芸術劇場及び分館のネーミングライツパートナー企業の募集を実施したが、応募がなかった。 ・引き続き、今後の施設の改修方法等の検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・利用者の意見を幅広く集めるために、アンケートを実施する。また、上半期同様に施設紹介の記事を情報誌へ掲載するほか、利用促進チラシを配付することで、引き続き稼働率向上や収入の増加を目指す。 ・ネーミングライツについては、引き続き導入に向けた取組について検討する。 ・平成31年4月から5月にかけて実施予定の天井地下補強修繕によるホールの貸出休止について、広報等で周知を行う。 ・引き続き、今後の施設の改修計画等の検討を進める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・11月上旬に利用者アンケートを実施した。また、継続して劇場情報誌へ施設紹介記事を掲載するほか、利用促進チラシを施設利用者や市内各施設で配付し、稼働率の向上に努めた。 ・ネーミングライツについては、再公募も含めて引き続き検討を行った。 ・平成31(2019)年度に実施するホール天井地下の補強対策に伴うホールの貸出休止について、広報等で周知を行った。また、大規模改修に向け、劣化診断等の準備を行った。

No.	施設名	担当課
5	郷土の森博物館	ふるさと文化財課
建物(ハード)		
延床面積	6,917㎡	
しゅん工年度	昭和62年(1987年)	
特記事項	・規模が大きく、かつ様々な機能や設備を有している施設のため、維持及び更新に多額の費用を要する。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するための施設	
機能	博物館本館:プラネタリウム、特別展示室、企画展示室、常設展示室及び大会議室 その他:復元建築物、茶室及び休憩所	
運営	【指定管理者】 公益財団法人府中文化振興財団(平成23年4月1日～平成28年3月31日) →府中市郷土の森博物館運営グループ(公益財団法人府中文化振興財団と株式会社五藤光学研究所の共同事業体)(平成28年4月1日～平成40年3月31日)	
現状 (策定当初)	・入館者数は年間約28万人であり、近年横ばいの状況である。そのうち、プラネタリウムの観覧者数は約7万人である。 ・平成23年度事務事業点検における「郷土の森博物館管理運営事業」の点検結果を踏まえ、利用料金収入の増収策を含めた、新たな管理運営方法の検討を行っている。	
検討の方向性 (短期)	・プラネタリウムは民間活力の更なる導入として、施設管理及び更新に関する民間事業者との連携を検討する。 ・利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	●プラネタリウムに関する民間事業者との連携の可否について決定	○利用者数や収入の向上に向けた方策の検討、実施
平成27年度	○決定事項に基づく取組の実施	▽継続
平成28年度	▽継続	▽継続
平成29年度	▽継続	▽継続
期待する 主な効果	・民間事業者との連携による施設の魅力の向上 ・利用者数や収入の増加	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・平成28年度からの指定管理者として、公益財団法人府中文化振興財団と株式会社五藤光学研究所による運営グループを決定した。このことにより、最先端の高度な専門知識を有する民間事業者の協力を得て、平成30年度のプラネタリウムのリニューアルオープンに向けて更なる活性化を目指すことが可能となった。	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルした常設展示室の有効活用を図り、学校や他の文化施設との連携、特にふるさと府中歴史館との相互活用の取組など連携を図るとともに、リピーターの増や増収に向けた事業運営のあり方を検討していく。また、次期指定管理者の更新に向けて、プラネタリウムを含めた新たな管理運営方法を協議していく。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における活用及び教職員の研修の場としての活用は増加傾向であり、他の文化施設との事業連携や交流も深まりつつあることから、情報共有が図られてきている。また、プラネタリウム機器の耐用年数が超過しているため今後の更新計画と併せ、指定管理者の更新に向けた協議・検討を行った。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リピーターの増加や学校利用の増進、市内の文化施設との事業連携の継続化に取り組んでいくほか、他の民間事業者との共催等の連携も視野に入れ、相乗効果で集客、収益につながるよう取り組む。また、平成27年度前期までにプラネタリウムリニューアルの方向性を出し、指定管理者の更新についても検討を進める。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルした常設展示室の利用促進を図り、学校との連携や他の団体や文化施設との提携によるイベント開催で、集客と収益が図られた。28年度更新の指定管理者選定に向けた手続きを行い、併せてプラネタリウムの更新に向けた協議が行われた。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室のリニューアル効果で増加している常設展示室の入館者を、博物館全体での相乗効果を狙った新たな事業展開に取り組んでいく。また、開館して28年が経ち、建物や設備の劣化による改修を計画的に実施し、安全・安心を第一とする維持管理を行っていく。
平成27年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度からの指定管理者である(公財)府中文化振興財団及び(株)五藤光学研究所と、円滑な管理運営について協議を行った。 ・様々なジャンルの事業を展開した結果、幅広い年齢層やファミリー層の利用や学校との連携強化が図られ、常設展示室やプラネタリウム等の利用が促進された。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな指定管理者となる運営グループに、これまでの天文事業の検証を基に、今後の天文事業のあり方・方向性の提案とプラネタリウムの改修を見据えた更新計画の素案作りを委託する。 ・引き続き、施設の適正な維持管理、経費の縮減及び集客増・収入増につながる事業運営等に取り組む。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から(公財)府中市文化振興財団と、(株)五藤光学研究所による指定管理者体制がスタートし、プラネタリウムの平成30年度リニューアルオープンに向けた計画策定の協議を始めた。 ・本館の雨漏りに関する調査を行い、不具合箇所については、応急処置を行った。調査の結果、老朽化が著しいことが判明したため、調査範囲を拡大した。 ・本館が、建築後30余年を経過し、老朽化が進んでいるので、更新改修を見据えて調査委託の事務を進めた。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムのリニューアル計画を策定する。 ・調査の結果を受け、博物館本館の改修計画の方針、考え方をまとめる。
平成28年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館雨水排水施設調査については、施設の劣化が進行していたため調査箇所を追加して実施した。 ・雨水排水管改修を含めた本館建物全体の経年劣化に伴う対応等の検討を行った。 ・プラネタリウム更新工事に向けた計画を策定した。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館建物全体改修計画の策定に向け、課題等の基本事項を整理する。 ・プラネタリウム更新に向けた実施設計及び改修工事を施工する。 ・入場料等の見直しを行う。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム更新工事の実施設計を行った。 ・リニューアル後のプラネタリウムの運営計画の作成に着手した。 ・プラネタリウム棟の雨水排水管劣化箇所を改修した。 ・本館建物劣化調査実施に向けた検討を行った。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム更新改修工事に着手する。 ・運営計画の策定など、プラネタリウムのリニューアルオープンに向けた準備を行う。
平成29年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム更新工事を施工した。 ・新プラネタリウムの運営計画を策定した。 ・博物館本館の既存建物の劣化調査及び特定天井現況調査の実施に向けた検討を行った。

No.	施設名	担当課
6	ふるさと府中歴史館	ふるさと文化財課
建物(ハード)		
延床面積	2,134㎡(建物全体2,376㎡)	
しゅん工年度	昭和41年(1966年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・旧中央図書館であった建物を耐震化、大規模改修を行い使用しているが、建築後45年以上経過している建物である。 ・宮町図書館との複合施設である。 	
運営(ソフト)		
設置目的	本市の歴史、文化に関する教育の振興を図ることにより、市民の郷土に対する理解を深め、市民のふるさと府中を愛する心を育むための施設	
機能	国府資料展示室、公文書史料室、公文書史料展示室及び事務室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・開館初年度である平成23年度の来館者数は、1階の国府資料展示室が年間約4万人であったのに比べ、2階の公文書資料室は年間約6千人と大きな開きがある。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修を行った結果、当面は建物の使用が可能だが、老朽化の状況を踏まえ、処分を検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として老朽化の状況を踏まえ処分を検討し、機能については、建て替え後の庁舎等に移転し、建物は処分することとした。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <p>・本市の歴史・伝統文化の継承や公文書史料の保存・管理・活用という施設の役割・機能が、将来にわたり継続していくための有効的な方法等について、調査及び研究をしつつ、関係部署との協議や市外の類似施設を参考にしながら今後の方向性を見出していく。</p>
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <p>・ふるさと府中歴史館の役割・機能を十分に発揮していくために、これまでの事業に加え、新たな事業展開を検討した。また、公文書資料の保存・管理・活用については、他市の状況や全国的な範囲で類似施設などを調査研究し、公文書館機能を将来にわたって継続していくための有効的な方法等を検討した。</p> <p>【来年度の取組予定】</p> <p>・来館者の意見や市民アンケートなどの意見を参考に、身近に歴史を体感できる場として、親しめる歴史館を目指し、集客第一とした事業展開に取り組んでいく。また、公文書史料の将来的な保存・管理について、他市の状況や市外の類似施設の情報を収集、調査研究し、関係部署との協議も行っていく。</p>
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <p>・前年度同様、来館者の意見や市民アンケートを踏まえて、創意工夫を凝らした事業の取組により、リピーターが増えた。また、大國魂神社やその周辺のイベントに連動して集客が伸び、併せて資料頒布等の収入が増えた。</p>
		<p>【下半期の取組予定】</p> <p>・関連した施設や団体等とのイベントを共同で開催することにより、入場者数の増加を図る。国司館地区の整備計画の進行と併せ、新市庁舎に移転する当館の機能の範囲、また公文書史料の収集保存管理について、関係部署との協議を行い、引き続き検討していく。</p>
平成27年度	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <p>・創意工夫を凝らした展示会の開催や、民間団体や庁内の他部署との共催・合同事業等を実施したことにより、当館の認知度アップにつながり、入場者数の増加や資料頒布の売上げ増に反映された。</p>
		<p>【来年度の取組予定】</p> <p>・平成27年度同様、市民・民間団体等との共催・連携事業を積極的に進めるとともに、当館の機能・役割である府中の魅力ある歴史と伝統文化を発信し、市内外からの集客増及び資料頒布の売上げ増につなげる。</p> <p>・新庁舎への機能の移転に伴う公文書史料の保存・管理方法について、引き続き検討していく。</p>
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <p>・府中駅周辺施設の再編方針に基づき取組を実施した。</p> <p>・展示では、市内で発掘された遺跡等を新たな切り口により紹介したところ、一定の評価を得た。再来館者が一定数いるため、新たな来館者の開拓に向け、宣伝PRの検討やウォークラリー事業などへの協賛等にも積極的に取り組んだ。</p>
		<p>【下半期の取組予定】</p> <p>・府中駅周辺施設の再編が進むなかで、早期に公文書史料館等の方針をまとめていく。</p> <p>・来館者増に向けた取組を継続推進する。</p>
平成28年度	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <p>・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針を踏まえ、ふるさと府中歴史館の一部機能の新庁舎への移転について関係課と調整した。</p> <p>・1階展示室の一部において、市史編さん事業の取組を紹介するとともに、1階と比べ利用者が少ない2階公文書史料室でも関連する調査の内容を紹介するなど施設全体としての来館者の増加に取り組んだ。</p>
		<p>【来年度の取組予定】</p> <p>・市内で発掘された遺跡、遺物を紹介する展示は好評であるが、更なる来館者の増加に向け、他市との連携事業や他事業への協賛などを進める。</p> <p>・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針を踏まえ、公文書史料館等の計画を検討する。</p>
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <p>・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針を踏まえ、ふるさと府中歴史館の一部機能の新庁舎への移転に向けた協議を行った。</p> <p>・再開発事業に伴う調査による出土資料の展示など、府中市の歴史に対する理解を深めるための取組を引き続き実施した。</p> <p>・公文書史料展示室では、市民が興味を持ちやすい史料を順次展示するなどして利用者の増加に向けた取組を行った。</p>
		<p>【下半期の取組予定】</p> <p>・公文書史料館等の他の公共施設への移転について、協議を進める。</p> <p>・毎年テーマを決め、市内で発掘された遺物等を展示している「お宝展」等を行う。</p> <p>・市史編さん事業への市民の理解と協力を得るため、引き続き調査の成果等の展示を行う。</p>
平成29年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <p>・市内で発掘された出土資料を「発掘お宝展」として展示するなど、再来館者の増加に向けての取組を行った。</p> <p>・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針に基づき、ふるさと府中歴史館機能の新庁舎等への移転について引き続き検討を行った。</p>

No.	施設名	担当課	
7	美術館	美術館	
建物(ハード)			
延床面積	7,795㎡		
しゅん工年度	平成12年(2000年)		
特記事項	・一般利用者の駐車場は敷地内になく、近隣の臨時駐車場(無料)で対応している。		
運営(ソフト)			
設置目的	市民の心豊かな文化的生活の享受に寄与するとともに、地域社会における美術教育及び美術文化の振興を図るための施設		
機能	展示室、公開制作室、美術図書室、市民ギャラリー、ミュージアムショップ及びカフェ		
運営	直営		
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会(企画展及び常設展)の観覧者数は年間約9万人だが、企画展の内容などにより、年によって大きく変動する。 ・展覧だけでなく、公開制作やワークショップ、アートスタジオなどの美術普及事業を実施している。 ・市民ギャラリーの稼働率は約80%と高い。 ・「府中市行財政改革推進プラン」及び平成23年度事務事業点検における「美術館維持管理事業」の点検結果を踏まえ、指定管理者制度の導入について府中市美術館運営協議会で検討がなされた。その結果、平成24年度には『市の直営のまま運営しながら改善していくべき』という答申が出されている。 		
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設評価を来場者数以外でも行い、コストとサービスのバランスを検証し、改善方策を検討する。 ・ミュージアムショップやカフェについて、民間活力の更なる導入を検討する。 ・メンバーシップ会員の増加など、歳入確保の方策を検討する。 		
短期スケジュール			
平成26年度	○施設評価の手法の検討	○施設の一部運営における民間活力の導入の検討	○歳入確保策の検討、実施
平成27年度	▽継続	●民間活力の導入の可否について決定	▽継続
平成28年度	▽継続	○決定事項に基づく取組の実施	▽継続
平成29年度	●多角的な視点による施設評価の実施	▽継続	▽継続
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的取組を見据えた課題の洗い出し ・利用者数や歳入の増加 ・民間活力の導入による施設の魅力向上 		
取組結果	目標を達成できた(完了)		
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートや府中市美術館運営協議会の実施によって、施設に対するニーズや評価の把握に努めた。 ・個人賛助会員、団体・企業会員、大学賛助会員を対象とするメンバーシップ制度を創設し、会員の増加を図った。 ・施設利用者については、平成26年度のミレー展、平成28年度の藤田嗣治展の観覧者数が、企画展として、美術館開館以来、それぞれ2位、3位になるなど増加傾向にある。 ・一部の展覧会では、民間事業者と連携し、ミュージアムショップやカフェの運営状況の改善を図った。また、ミュージアムショップの販売区域を拡大するなど、歳入の増加に向けた取組を進めた。 		

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・美術館の販売部門の運営について、民間活力の導入が可能か検討する。また、賛助会員を募集し、歳入の確保に努める。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・賛助会員制度を新設。 ・販売部門の運営について、民間活力の導入の検討を開始。
		【来年度の取組予定】 ・賛助会員の増加を目指す。 ・販売部門の運営について、民間活力の導入を進める。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・販売部門の運営の効率化をめざし、事業者と協議。
		【下半期の取組予定】 ・どのような改革が実現可能なのか、次年度に向けて形にしていこう。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 販売部門の運営の効率化について事業者と協議した。実施時期等は未定だが、民間活力を導入する方向性で検討する。
		【来年度の取組予定】 ・販売部門の歳入は毎年増加しているため、更なる歳入増加に向けた事業の運営手法を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・企画展(生誕130年記念 藤田嗣治展 ー東と西を結ぶ絵画ー)に合わせ、ミュージアムショップの販売数拡大に向けて調整を図った。
		【下半期の取組予定】 ・ミュージアムショップを企画展(生誕130年記念 藤田嗣治展 ー東と西を結ぶ絵画ー)に合わせ、販売区域を拡張する。販売機会の拡大が図れるとともに、行政財産目的外使用料による歳入増が見込める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・ミュージアムショップを企画展(生誕130年記念 藤田嗣治展 ー東と西を結ぶ絵画ー)に合わせ、販売区域を拡張した。販売機会の拡大が図れ、同展の図録が完売するなど成果があった。 ・施設利用者に対するアンケートを実施し、利用者のニーズや施設評価の把握に努めた。
		【来年度の取組予定】 ・企画展(歌川国芳 21世紀の絵画力 等)に合わせ、ミュージアムショップの販売数拡大に向けて調整を図る。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・休館日に雑誌やテレビ番組の撮影を実施し、行政財産目的外使用料を確保するなど、施設の有効活用を図った。 ・企画展の実施に合わせ、ミュージアムショップ販売数拡大に向け、特設会場を設置した。 ・企画展の前売券をコンビニエンスストアで販売し、歳入確保に努めた。 ・特定天井の落下防止対策に関する検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・企画展の広報宣伝に努め、観覧者数と図録販売数を拡大し、歳入の確保に努める。 ・引き続き、特定天井の落下防止対策に関する取組を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・企画展に合わせ、ミュージアムショップの販売区域を拡張したことにより、同展の図録が完売するなど成果があった。 ・特定天井改修工事実施設計を実施した。

No.	施設名	担当課
8	生涯学習センター	文化生涯学習課(平成29年度より)
建物(ハード)		
延床面積	20,383㎡	
しゅん工年度	平成4年(1992年)	
特記事項	・ 規模が大きく、かつ様々な機能や設備を有している施設のため、維持及び更新に多額の費用を要する。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の生涯学習の振興を図り、市民生活の充実に寄与するための施設	
機能	学習施設: 講堂、研修室(6室)、語学室、工房(2室)、美術室、和室(2室)、音楽室(3室)、スタジオ、小ホール及びその他諸室 体育施設: 体育室、温水プール及びトレーニング室 その他: 宿泊施設及びレストラン	
運営	【指定管理者】ふちゅう生涯学習センター共同事業体(平成25年4月1日～平成30年3月31日)	
現状 (策定当初)	・ 学習施設の稼働率(平均)は、小ホールが約100%、音楽室とスタジオがそれぞれ約90%と高い。一方、研修室や工房、和室の稼働率はそれぞれ50%程度とあまり高くなく、また講堂は約20%と低いことから、施設内で稼働率に大きな差が見られる。 ・ 体育施設及び宿泊施設の利用者数は近年横ばいの状況で、他の施設にはない温水プール年間約7万人、宿泊施設が年間約3千人である。	
検討の方向性 (短期)	・ 指定管理者制度の導入による運営面・コスト面の効果を検証し、改善方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○稼働率向上や収入の増加に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・ 利用者数や収入の増加	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者と協議を重ね、利用者の増加や稼働率の向上を図ることができた。 ・ 学習施設の諸室の稼働率については、微増である。利用者数については、指定管理者の行う講座の受講者が増えていることに伴い、増加した。 ・ 体育施設の利用者数は、指定管理者の行う講座の受講者が増えていることに伴い、増加した。 ・ 宿泊施設の利用者数は横ばいの状況であるため、活用方法について、今後も機能の在り方について検討していく必要がある。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・指定管理者と協議を重ね、更なる利用者の増加、稼働率の向上及び収入の増加を図る。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・指定管理者と協議を重ね、利用者の増加や稼働率の向上につながった結果、利用料金収入はもともとの稼働率の高さもあり横ばい傾向ながら、指定管理者の講座受講料収入が増加するなど、収入の増加を図ることができた。 【来年度の取組予定】 ・本年同様に収入の増加を図る。 ・開館当初から更新していない各種の建築設備等について指定管理者と協議し、適切な業務分担のもと、持続可能な施設の管理運営について検討し具体化を図っていく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・指定管理者と協議を重ね、利用者の増加や稼働率の向上につながった結果、利用料金収入はもともとの稼働率の高さもあり横ばい傾向ながら、指定管理者の講座受講料収入が増加するなど、収入の増加を図ることができた。 ・ESCO事業導入の可能性と課題について検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・上半期と同様に収入の増加を図る。 ・開館当初から更新していない各種設備等について指定管理者と協議し、適切な業務分担のもと、持続可能な施設の管理運営について検討し、具体化を図っていく。
平成27年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・改修工事の影響により講堂で実施する講座の受講者数が減少したものの、体育施設で開催した講座の受講者数が増加し、全体として指定管理者の講座受講料収入が増加した。
		【来年度の取組予定】 ・これまでと同様に、収入の増加を図る。 ・施設の維持管理を低コストで効果的に行うため、次期指定管理者候補者募集に向け、各種建築設備の更新業務を指定管理者の業務とする要求水準書(案)を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・指定管理者と協議を重ねた結果、利用者の増加や稼働率の向上につながった。利用料金収入は元々の稼働率の高さもあり、横ばい傾向であるが、指定管理者の講座受講料収入が増加するなど、収入の増加を図ることができた。 ・施設全体の不具合を把握するため、指定管理者と確認を行った。
		【下半期の取組予定】 ・施設の維持管理を低コストで効果的に行うため、次期指定管理者候補者募集に向け、業務の要求水準書(案)を検討する。 ・施設の不具合について、次期指定管理者と調整を図るため、内容を精査し改修計画(案)を検討する。
平成28年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・施設の維持管理を低コストで効果的に行うため、次期指定管理者候補者募集に向け、指定管理者候補者選定委員会を設置し、業務の要求水準書など、募集に関する資料の作成や説明会を行った。 ・施設の不具合について、次期指定管理者と調整を図るため、内容を精査し改修計画(案)を検討した。
		【来年度の取組予定】 ・第一期の指定管理期間の最終年度のため、次期指定管理者候補者選定を行う。 ・施設の不具合について、次期指定管理者候補者との調整も含め、引き続き内容を精査し改修計画(案)を検討する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・平成29年度が第一期の指定管理期間の最終年度のため、次期指定管理者候補者選定を行った。 ・施設の不具合について、次期指定管理者候補者との調整も含め、内容を精査し、改修計画(案)を検討した。
		【下半期の取組予定】 ・上半期で選定した次期指定管理者候補者と平成30年度以降の第二期の指定管理業務について調整を行う。 ・施設の不具合については、次期指定管理者候補者が決定したため、内容をより具体的に精査し、改修計画(案)を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・上半期で選定した次期指定管理者候補者と平成30年度以降の第二期の指定管理業務について調整を行った。 ・施設の不具合については、改修計画(案)の作成を行い、今後、工事の進め方について検討し、関係課と調整していく。

No.	施設名				担当課
9	文化センター				地域コミュニティ課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
中央文化センター	3,420㎡	昭和43年(1968年)	是政文化センター	1,937㎡	昭和49年(1974年)
白糸台文化センター	1,951㎡	昭和45年(1970年)	紅葉丘文化センター	1,975㎡	昭和50年(1975年)
西府文化センター	1,923㎡	昭和46年(1971年)	押立文化センター	1,330㎡	平成26年(2015年)
武蔵台文化センター	1,902㎡	昭和48年(1973年)			※建替えのため、プランの記載を変更
新町文化センター	1,964㎡	昭和48年(1973年)	四谷文化センター	1,394㎡	昭和52年(1977年)
住吉文化センター	1,962㎡	昭和48年(1973年)	片町文化センター	2,317㎡	昭和62年(1987年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・片町文化センターを除いた10施設は、昭和40～50年代に整備した旧耐震基準の建物だが、耐震化を計画的に進め、平成26年度中に全ての施設で完了する予定である。 ・建築後30～40年以上経過する施設は、大規模改修が必要な時期を迎えている。 				
運営(ソフト)					
設置目的	公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館などの機能を有する複合施設で、個性的な地域文化を創造するための施設				
機能	公民館: 講堂、会議室、和室及び料理講習室 高齢者福祉館: 大広間、談話室及び浴場 児童館: 遊戯室、集会室及びひばりホール(中央文化センターのみ)				
運営	直営				
現状(策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の稼働率は、市中心部にある中央文化センターや片町文化センターは全体的に高く、料理講習室を除き80%前後となっている。一方、他の施設では40～60%と施設や部屋によって大きく異なる。特に料理講習室は、各施設間で10～50%と大きく差がある。 ・高齢者福祉館の浴場は、東日本大震災後の消費エネルギーの抑制のため、週2日のみ開場する運用となっている。震災前と比較し、利用者数は年間約5万人と50%減少しているが、1日当たりの利用者数は増加している。 ・児童館には14～17時までの間、児童館指導員が配置されている。なお、利用者数は施設によって大きく異なる。 ・平成23年度事務事業点検における「文化センター維持管理事業」の点検結果を踏まえ、維持管理全般における見直しを行っている。また、平成25年度には「府中市文化センターあり方検討協議会」が設置され、文化センターの管理、運営等について、平成26年度末までに検討結果を報告することとなっている。 				
検討の方向性(短期)	・文化センターのあり方に関する検討結果を踏まえて、施設として必要な規模や機能、運営方法を検討する。				
短期スケジュール					
平成26年度	○「文化センターのあり方検討協議会」における検討				
平成27年度	●文化センターの今後のあり方に関する方針の決定				
平成28年度	○方針に基づく取組の実施				
平成29年度	▽継続				
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の活性化 ・施設の有効活用 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センターのあり方については、平成25年度から平成26年度にかけて、文化センターあり方検討協議会において検討され、平成27年3月に検討結果報告書を受理した。 ・高齢者福祉館機能の浴場やマッサージ機などは、高齢者人口が増加する一方で、利用登録者は減少しており、検討協議会の報告書においても、利用者が限定的であることや、維持経費を要することから廃止する方向も検討すべき、との考えが示された。これらのことから、浴場について関係課との協議を重ね、平成30年度をもって廃止することを決定した。その他の機能については、引き続き第2次推進プランにおいて検討し、今後の施設のあり方を決定することとした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・文化センターあり方検討協議会で検討を進める。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・文化センターあり方検討協議会において、地域における文化センターの役割や公民館・高齢者福祉館・児童館の運用についての検討を行っていただき、受益者負担のあり方や条例における位置づけ、行事や広報の工夫など、様々な点について触れられた検討結果報告書が市に提出された。 【来年度の取組予定】 ・当該協議会の検討結果報告書に基づき、施設や機能の運用方法等について検討する
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・文化センターあり方検討協議会の報告を踏まえ、文化センター関係団体間の連携の強化を図る一つ的手段として、コミュニティ協議会連絡会を開催した。 【下半期の取組予定】 ・文化センターあり方検討協議会の報告書に基づき、文化センターの管理運営等に係る方針を各項目ごとに具体化を図っていく。また、上半期に2回開催したコミュニティ協議会連絡会を、年4回程度、継続的に実施していく中で、施設や機能の運用方法等について検討する。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・コミュニティ協議会連絡会を2回実施し、コミュニティ協議会の組織のあり方などを協議した。平成28年度以降も年4回程度、継続的に協議実施していく中で、施設や機能の運用方法等について検討する。 【来年度の取組予定】 ・文化センターあり方検討協議会の報告書に基づき、文化センターの管理運営等に係る方針を各項目ごとに具体化を図っていく。また、平成27年度より実施しているコミュニティ協議会連絡会を継続するなかで、施設や機能の運用方法等について協議を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・コミュニティ協議会連絡会を2回実施し、文化センターの施設利用の増加やセンターを利用しない世代(30～40代)の利用者拡大をどうするべきかについて協議した。 【下半期の取組予定】 ・文化センターあり方検討協議会の報告書に基づき、文化センターの管理運営等に係る方針を各項目ごとに具体化を図っていく。また、平成27年度より実施しているコミュニティ協議会連絡会を継続するなかで、下半期に2回実施し、施設や機能の運用方法等について検討する。
	下半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・コミュニティ協議会連絡会を2回実施し、施設や機能の運用方法等について検討した。 ・文化センターのあり方検討協議会の検討結果報告書を踏まえ、市として施設に必要な規模や機能、運営方法を決定するためには、公民館、高齢者福祉館、児童館等の担当課と調整が必要であるという判断に至った。 【来年度の取組予定】 ・文化センターあり方検討協議会の検討結果報告書を踏まえ、施設として必要な規模や機能、運営方法を検討する。 ・白糸台・西府・武蔵台・是政文化センターの高圧受変電設備について、更新のための実施設計委託を行う。押立・四谷以外の文化センターについても順次対応する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・コミュニティ協議会連絡会を5月に実施し、施設や機能の運用方法等について検討した。 ・文化センターあり方検討協議会の検討結果報告書を踏まえ、市として施設に必要な規模や機能、運営方法を検討するため、関係課(政策課・高齢者福祉課)との打ち合わせを実施した。 【下半期の取組予定】 ・高圧受変電設備(白糸台・是政文化センター)について、平成30年度に更新交換のため、工事費の予算措置を図る。 ・引き続き、文化センターあり方検討協議会の検討結果報告書を踏まえ、施設として必要な規模や機能、運営方法を検討する。また、引き続き、関係課との打ち合わせを実施する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・文化センターあり方検討協議会の報告書において、高齢者福祉館機能の、浴場やマッサージ機などは、利用者がいる程度限られていることや維持費経費を要することから、廃止する方向も検討すべきとの考えが示されたことも踏まえ、庁内において関係課との協議を重ね、浴場については、平成30年度をもって廃止することを決定した。

No.	施設名	担当課
10	中央図書館	図書館
建物(ハード)		
延床面積 (共有部除く)	6,077㎡	
しゅん工年度	平成19年(2007年)	
特記事項	・市民会館との複合施設となっている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民が、文化、教養その他社会教育の向上を図るための施設	
機能	読書席、YAルーム、研究室、ウィーンコーナー及び学習室	
運営	・【PFI事業者】PFI府中市民会館・中央図書館株式会社(平成34年9月末まで) なお、中央図書館の運営等に係る業務については、株式会社図書館流通センターが行っているが、レファレンスサービスやおはなし会などの児童サービス、ハンディキャップサービス等は直営で実施。	
現状 (策定当初)	・来館者数は約100万人で、そのうち蔵書の貸出利用者数は約50万人である。 ・リクエストサービスの利用者数が増加し、特にインターネットによるものが約35万件と、リクエストサービス全体の約75%を占めている。 ・平成23、24年度事務事業点検における点検結果を踏まえ、市直営及びPFI事業ともに一層の図書館運営の向上に資する工夫を検討している。	
検討の方向性 (短期)	・市と事業者による効率的な施設運営を検討する。 ・PFI事業者との契約満了後を見据えた検討を行う。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	○PFI事業者と、契約満了後の事業継続に向けた検討
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	▽継続
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	▽継続
平成29年度	▽継続	▽継続
期待する 主な効果	・業務の効率化 ・維持管理事業の継続性の確保	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、継続的な施設運営と新たな財源の確保について検討し、市とPFI事業者との分担による効率的な施設運営ができたほか、雑誌スポンサー制度の導入など、新たな歳入の確保策について検討し、広告による歳入を増やすことができた。 ・PFI契約期間満了に向けた施設の維持や改修について、PFI事業者等と検討した。 ・平成29年8月から市政情報センターにおいて図書の取次事業を開始した。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・府中駅周辺施設の再編(モデル事業)の検討に併せ適宜対応するとともに、PFI事業者と、契約満了後の事業継続に向けた検討を始める。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・府中駅周辺施設の再編(モデル事業)の検討を踏まえ、PFI事業者と効率的な施設運営について検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討する。 ・PFI事業の期間終了となる平成34年9月末を見据え、終了後の事業継続に向けた検討を進めるとともに、事業期間内に解決すべき事項を整理していく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・府中駅周辺施設の再編(モデル事業)の検討結果を踏まえ、PFI事業者と効率的な施設運営について検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討する。 ・PFI事業の期間終了となる平成34年9月末を見据え、終了後の事業継続に向けた検討を進めるとともに、事業期間内に解決すべき事項を整理していく。 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」で示された「雑誌スポンサー制度」等の財源確保策について
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討した。 ・今後の事業期間内におけるシステム更新を見据え検討を始めた。 ・「雑誌スポンサー制度」について、近隣市への視察を行った。
		【来年度の取組予定】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討する。 ・今後の事業期間内におけるシステム更新を見据え検討をする。また、終了後の事業継続に向けた検討をする。 ・新たな財源確保に向けて検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討した。 ・平成29年度のシステム更新に伴い、ホームページのリニューアル等について検討した。 ・広告等の財源確保策について検討した。
		【下半期の取組予定】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討する。 ・平成29年度のシステム更新に伴い、ホームページのリニューアル等について検討していく。 ・広告等の財源確保策について、引き続き検討していく。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・効率的な施設運営や、PFI契約期間満了に向けた施設の維持や改修について、PFI事業者等との検討を進めた。 ・平成29年度のシステム更新に向けて、ホームページのリニューアルや十進分類法10版への移行等について検討した。
		【来年度の取組予定】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討する。 ・平成29年度11月にシステム更新作業を行う。 ・引き続き、財源確保策について、検討していく。 ・PFI契約期間満了時を見据え、文化生涯学習課及びPFI業者とともに計画的に維持管理を進める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討を進めた。 ・11月に実施する図書館システム更新に伴い、ホームページのリニューアルや、図書の分類方法を十進分類法(NDC)10版へ移行することなどの取組を実施した。 ・8月から、ル・シーニュ内に移転した市政情報センターで、図書の取次を開始した。
		【下半期の取組予定】 ・11月後半に図書館情報システムの更新作業を行い、新システムの運用を開始する。 ・引き続き、広告等の財源確保策について、検討する。 ・PFI契約期間満了後の運営方法について、ルミエール府中全体で検討するほか、地区図書館を含む図書館機能全体の運営方法についても検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・図書館情報システムを更新したが、おおむね順調に稼働している。 ・PFI事業者と効率的な施設運営について検討を進めた。 ・広告等により歳入を増やすことができた。 ・PFI契約期間満了後の運営について、ルミエール府中全体で検討するほか、地区図書館を含む図書館全体の運営方法を検討する準備を進めた。

No.	施設名	担当課
11	地区図書館	図書館

建物(ハード)

施設名	延床面積 (共有部除く)	しゅん工年度	施設名	延床面積 (共有部除く)	しゅん工年度
白糸台図書館	207㎡	昭和45年(1970年)	押立図書館	156㎡	平成26年(2014年)
西府図書館	246㎡	昭和46年(1971年)			
武蔵台図書館	237㎡	昭和48年(1973年)	四谷図書館	180㎡	昭和52年(1977年)
新町図書館	223㎡	昭和48年(1973年)	片町図書館	228㎡	昭和62年(1987年)
住吉図書館	255㎡	昭和48年(1973年)	宮町図書館	242㎡	昭和41年(1966年)
是政図書館	246㎡	昭和49年(1974年)	生涯学習センター図書館	642㎡	平成4年(1992年)
紅葉丘図書館	208㎡	昭和50年(1975年)			

特記事項
・全ての図書館が、他の施設との複合施設となっている。

運営(ソフト)

設置目的	全ての図書館が、他の施設との複合施設となっている。
機能	読書席
運営	直営
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区図書館の貸出利用者数は施設間でばらつきがあるが、合計では約35万人である。 ・リクエストサービスの利用者数が増加し、特にインターネットによるものが約35万件と、リクエストサービス全体の約75%を占めている。 ・府中市行財政改革推進プランに基づき、地区図書館への指定管理者制度の導入を検討している。 ・平成23、24年度事務事業点検における点検結果を踏まえ、市直営及びPFI事業ともに一層の図書館運営の向上に資する工夫を検討している。

検討の方向性
(短期)
 ・宮町図書館は、老朽化の進む施設の見直しに併せて処分を検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。
 ・指定管理者制度の導入について検討する。

短期スケジュール

	【宮町図書館】	【他の地区図書館】
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	○指定管理者制度の導入について検討
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	●指定管理者制度の導入の可否を決定
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	○検討結果に基づく取組の実施
平成29年度	▽継続	▽継続
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合及び民間活力の導入による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 	

取組結果
目標を達成できた(完了)

取組成果の内容
 ・宮町図書館は、モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、機能を建て替え後の庁舎等に移転することとした。
 ・その他の地区図書館については、府中市行財政改革推進プラン【平成23年度～平成25年度】に引き続き、指定管理者制度の導入について検討した。なお、導入の可否については、PFI契約期間満了後の中央図書館の運営方法と併せて検討することとした。

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館は、府中駅周辺施設の再編(モデル事業)の検討の対象施設として、今後のあり方を検討する。 ・その他の地区図書館については、文化センターにおける指定管理者制度の導入が見送られたことを踏まえ、図書館サービス検討協議会において、改めて指定管理者制度の導入について検討を依頼する。
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館は、新庁舎建設基本計画の中でその機能の一部を移転するとして踏まえ、今後のあり方を検討するため、平成27年1月10日から2月27日まで利用者アンケートを行った。また図書館サービス検討協議会において協議していただいた。 ・その他の地区図書館については、図書館サービス検討協議会において、改めて指定管理者制度の導入について検討を依頼すべく準備を進めた。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館は、新庁舎建設基本計画の中でその機能の一部を移転するとして踏まえ、今後のあり方を検討するため、司書資格等を有する図書館職員等から意見を収集することを検討する。 ・その他の地区図書館については、文化センターにおける指定管理者制度の導入が見送られたことを踏まえ、図書館サービス検討協議会に、改めて指定管理者制度の導入について検討を依頼する。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館は、新庁舎建設基本計画の中でその機能の一部を移転するとして踏まえ、今後のあり方を検討するため、司書資格等を有する図書館職員等から意見を収集するアンケートを行った。 ・その他の地区図書館については、図書館サービス検討会議において、改めて指定管理者制度の導入について広く意見を聴取すべく準備を進めた。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館については、新庁舎の設計者が選定されたことを受けて、今後の基本設計作業における新庁舎内の図書館のあり方について、庁舎建設担当と連携して、検討を進める。 ・その他の地区図書館については、文化センターにおける指定管理者制度の導入が見送られたことを踏まえ、図書館サービス検討会議で、改めて指定管理者制度の導入について広く意見を聴取する。
平成27年度	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館について、新庁舎の基本設計策定作業において、新庁舎全体のレイアウトが検討されている中、図書館の位置付けについて注視し、課内においても移転後のあり方について検討を行った。 ・その他の地区図書館について、図書館サービス検討会議で、改めて指定管理者制度の導入について意見を聴取したところ、導入すべきでないという意見を多くいただいた。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮町図書館については、平成28年8月に策定予定である新庁舎の基本設計を踏まえ、新庁舎内図書館をどのようにしていくべきか等の検討を続けていく。 ・その他の地区図書館について、図書館サービス検討会議での意見も参考にし、指定管理者制度の導入の可否に関する方針を決定する。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいない</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に入る宮町図書館の運営方法について、関係部署と調整を始めた。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に入る宮町図書館の運営方法等、引き続き関係部署と調整していく。 ・その他の地区図書館について、指定管理者制度の導入の可否に関する方針を決定する。
平成28年度	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいない</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に入る宮町図書館の施設備品等について、関係部署と調整した。 ・指定管理者制度を導入している近隣自治体等を調査した。費用対効果を考え、引き続き研究していく。 ・宮町図書館以外の地区図書館について、指定管理者制度の導入の可否に関する方針について検討した。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に入る宮町図書館の運営方法等、引き続き関係部署と調整していく。 ・その他の地区図書館について、指定管理者制度の導入の可否に関する方針について決定する。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に入る宮町図書館の運営方法や設備の配置等について、関係部署と調整した。 ・宮町図書館以外の地区図書館における指定管理者制度の導入については、当面行わない方針とし、PFI契約期間満了後の中央図書館の運営方法と併せて検討することとした。 ・11月に実施する図書館システム更新に向けて、中央図書館と連携し、準備を進めた。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月後半に図書館情報システムの更新作業を行い、新システムの運用を開始する。 ・地区図書館の運営方法については、指定管理者制度の導入も含め、PFI契約期間満了後の中央図書館の運営方法と併せて検討することとした。 ・地域のニーズや特性を把握し、今後の運営方法の検討に向けて参考とする。
平成29年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館情報システムを更新したが、おおむね順調に稼働している。 ・全館にYAコーナーを設置した。 ・中央図書館のPFI契約期間満了後の運営方法の検討と併せて、地区図書館を含む図書館全体の運営方法を検討するための準備を進めた。

No.	施設名	担当課	
12	総合体育館(郷土の森総合体育館)	スポーツ振興課	
建物(ハード)			
延床面積	13,899㎡		
しゅん工年度	昭和46年(1971年)		
特記事項	・総合体育館は昭和56年以前に建築された旧耐震基準の建物であり、今後耐震化や老朽化への対応が必要な状況である。		
運営(ソフト)			
設置目的	市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するための施設		
機能	第1体育室、第2体育室、武道場、弓道場、エアライフル場、相撲場、トレーニング室、レクリエーションホール、サウナ、会議室(3室)及びその他諸室		
運営	直営		
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は23万人である。 ・総合体育館の機能のうち、体育館の利用者が多くを占めている。一方、非常に少ない利用者数にとどまっている機能(サウナ)も存在する。 ・平成22年度に設置された「府中市スポーツ振興推進計画及びスポーツ施設検討協議会」において、体育施設への指定管理者制度の導入について検討し、『建替えなどの解決すべき課題がほかにあるため時期尚早』との検討結果が報告されている。 ・平成25年度事務事業点検における「地域体育館スポーツ活動運営事業」の点検結果を踏まえ、運営手法などの検討を行っている。 ・類似の機能を有する学校体育館は、全ての小中学校(33校)で一般開放を実施している。 		
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を踏まえ、サウナ機能の廃止を検討する。 ・利用者数の増加や歳入確保に向けた方策を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 		
短期スケジュール			
平成26年度	○サウナの運用に関する検討	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施	○施設の包括管理に関する検討
平成27年度	●サウナの運用に関する方針の決定	▽継続	▽継続
平成28年度	○決定に基づく取組の実施	▽継続	●実施の可否の決定
平成29年度	▽継続	▽継続	○決定に基づく取組の実施
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加 ・民間活力の導入による効率的な施設運営 ・機能の見直しによる維持管理経費の削減 		
取組結果	目標を達成できた(完了)		
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サウナ機能の廃止を決定した。 ・第1体育室は、耐震性が十分でないという耐震診断の結果を踏まえ、施設の安全性を確保するため、耐震改修工事に向け、実施設計事業を開始した。 ・スポーツ教室のメニュー見直し等、利用者の増加に向けた取組を進めた。 ・体育室の利用環境の整備として、第1・2体育室への空気調和機の設置を行った。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、耐震性能不足や老朽化の課題により、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 		

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・サウナの利用状況や費用対効果を分析・検証する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・サウナの利用状況の把握を行った。 ・自主事業として行っているスポーツ教室の参加人数を増加させるため、来年度の教室メニューの見直しを行った。 ・総合体育館の今後のあり方についての検討を行った。 【来年度の取組予定】 ・サウナの運用に関する方針を決定する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・サウナの運用に関する方針を検討した。 ・利用者の増加と環境向上のための方策をとって、第二体育室に空調機器を設置した。 ・体育施設の包括管理を検討した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、サウナの運用に関する方針を検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。
平成27年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・サウナの今後の運用方針について検討した。 ・利用者の増加と環境向上のための方策として、設置完了した第一・第二体育室の空調機器を適宜稼働させ、館内環境の向上を図った。 ・体育施設の包括管理を検討した。
		【来年度の取組予定】 ・サウナの運用方針の決定に向け、利用者への影響やサウナ廃止後の活用について検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・引き続き、サウナの運用に関する方針を検討した。 ・体育施設の包括管理を検討した。 ・利用者の増加に向けた方策を検討し、一般公開プログラムの改定を実施した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、サウナの運用に関する方針を検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。
平成28年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・引き続き、サウナの運用に関する方針を検討した。 ・体育施設の包括管理を検討した。 ・利用者の増加に向けた方策を検討し、一般公開プログラムの改定を実施した。
		【来年度の取組予定】 ・サウナの運用方針の決定に向け、利用者への影響やサウナ廃止後の活用について検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・サウナの運用方針の決定に向け、利用者への影響やサウナ廃止後の活用について検討した。 ・体育施設の包括管理を検討した。 ・利用者の増加に向けた方策を検討した。 ・施設の安全性を確保するため、耐震改修工事に向けた検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・サウナの運用方針の決定に向け、利用者への影響やサウナ廃止後の活用について検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・検討に基づいた耐震改修工事の設計に取り組む。
平成29年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・サウナ機能の廃止を決定した。 ・第1体育室は、耐震性が十分でないという耐震診断の結果を踏まえ、施設の安全性を確保するため、耐震改修工事に向け、実施設計事業を開始した。 ・スポーツ教室のメニュー見直し等、利用者の増加に向けた取組を進めた。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、耐震性能不足や老朽化の課題により、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。

No.	施設名				担当課
13	地域体育館				スポーツ振興課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
朝日体育館	416㎡	昭和46年(1971年)	栄町体育館	1,365㎡	昭和58年(1983年)
白糸台体育館	1,399㎡	昭和60年(1985年)	本宿体育館	1,400㎡	昭和62年(1987年)
押立体育館	1,396㎡	昭和61年(1986年)	四谷体育館	1,398㎡	昭和60年(1985年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日体育館は昭和56年以前に建築された旧耐震基準の建物であり、今後耐震化や老朽化への対応が必要な状況である。 ・その他の地域体育館は、同時期に、同規模のものが整備されている。 ・日吉体育館は民間の所有する建物である。 				
運営(ソフト)					
設置目的	市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するための施設				
機能	体育室及び会議室				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間利用者数は、白糸台、押立、栄町、本宿、四谷体育館はそれぞれ約3万～5万人、朝日体育館は約1万人、日吉体育館は約2万人である。 ・平成25年度事務事業点検における「地域体育館スポーツ活動運営事業」の点検結果を踏まえ、運営手法などの検討を行っている。 ・類似の機能を有する学校体育館は、全ての小中学校(33校)で一般開放を実施している。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日体育館は規模や配置状況、老朽化状況を踏まえ、処分を検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。 ・利用者数の増加や歳入確保に向けた方策を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 				
短期スケジュール					
	【朝日体育館】		【他の地域体育館】		
平成26年度	○施設に関する今後の方針の検討		○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施	○施設の包括管理に関する検討	
平成27年度	▽継続		▽継続	▽継続	
平成28年度	▽継続		▽継続	●実施の可否の決定	
平成29年度	●今後の方針を決定		▽継続	○継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合及び民間活力の導入による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 				
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・朝日体育館:老朽化の状況のほか、総合体育館の耐震改修事業の実施を予定する中で、工事期間中の体育館機能の在り方等を見据えつつ、施設の今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。なお、今後の取扱いについては、平成31(2019)年度までに地域住民や利用団体等の意見等を聴取する予定とした。 ・その他の地域体育館:利用者数や歳入の増加に向けて取り組んだ。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・朝日体育館は、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。 ・他の地域体育館は、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・朝日体育館及び地域体育館で劣化調査を実施し、朝日体育館については今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。 ・他の地域体育館は歳入の増加に向けての取り組みに加え、LED照明の導入など歳出削減についても検討を行った。 【来年度の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討を行った。 【下半期の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討を行った。 【来年度の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組んだ。また、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 【下半期の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
		【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行ったほか、総合体育館の耐震改修を見据え、今後の取扱いに係る方針の見直しの検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組んだ。また、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 【来年度の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行うほか、総合体育館の耐震改修を見据え、今後の取扱いに係る方針の見直しの検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行ったほか、総合体育館の耐震改修を見据え、今後の取扱いに係る方針の見直しの検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組んだ。また、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 【下半期の取組予定】 ・朝日体育館：引き続き、老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行うほか、総合体育館の耐震改修時期に併せ、取扱いに係る方針の見直しの検討を行う。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・朝日体育館：老朽化の状況のほか、総合体育館の耐震改修事業の実施を予定する中で、工事期間中の体育館機能の在り方等を見据えつつ、施設の今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行った。 ・その他の地域体育館：引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組んだ。

No.	施設名	担当課
14	市民総合プール(郷土の森総合プール)	スポーツ振興課
建物(ハード)		
延床面積	847㎡	
しゅん工年度	昭和46年(1971年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・総合プールは建築後40年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。 ・建物(観覧席や更衣室等)は小規模だが、プールの塗装や設備などにも定期的な改修が必要となる。 	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設	
機能	50mプール(公認)、流水プール及びウォータースライダー	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日数は夏場の40日程度だが、利用者数は年(気温などの外的要因)によって大きく異なる。 ・年間利用者数は約8万人と、市の体育施設の中で利用者数が多い施設の1つである。 ・利用者のうち、子どもの利用者数が半数を超える。 ・類似施設である学校プールの一般開放は行われていないが、他市では学校プールを一般に開放している事例もある。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加や歳入確保に向けた方策を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施	○施設の包括管理に関する検討
平成27年度	▽継続	▽継続
平成28年度	▽継続	●実施の可否の決定
平成29年度	▽継続	○決定に基づく取組の実施
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加 ・民間活力の導入による効率的な施設運営 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加や歳入確保に向けた方策を実施した。 ・体育施設の包括管理について検討した結果、総合体育館と併せて包括管理を行うことによる効果を見込むことができたが、総合体育館の施設改修後でなければ、指定管理等の包括管理の実施が困難であるため、市民総合プールについても現状では実施困難であると認識した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用者に快適かつ安心して利用していただくため、経年劣化が進んでいたロッカーを更新した。 ・総合プールの今後のあり方についての検討を行った。 【来年度の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討する。 ・利用者増加策である「YFC読売ファミリー・サークル郷土の森総合プール大人・子供ペアご招待券配布事業」を実施した。 【下半期の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用者の増加に向けた方策を検討した。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討した。 【来年度の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理の実施の可否を決定する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・利用者の増加に向けた方策を検討した。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討した。 【下半期の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・体育施設の包括管理の実施の可否を決定する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・利用者の増加に向けた方策を検討した。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討した。 【来年度の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・引き続き、体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・民間活力を活用し、利用者の増加に向けた方策(読売新聞ファミリーサークル)を実施した。 ・体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討した。 【下半期の取組予定】 ・利用者の増加に向けた方策を検討する。 ・引き続き、体育施設の包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・利用者の増加に向けた方策を検討した。 ・体育施設の包括管理について検討した結果、総合体育館と併せて管理を行うことによる効果を見込むことができたが、総合体育館では、施設改修後でなければ、指定管理等の導入が困難とであるため、現状では実施困難であると認識した。

No.	施設名				担当課
15	地域プール				スポーツ振興課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
市民プール	281㎡	昭和53年(1978年)	武蔵台プール	157㎡	昭和59年(1984年)
小柳プール	90㎡	昭和51年(1976年)	新町プール	166㎡	昭和60年(1985年)
白糸台プール	151㎡	昭和59年(1984年)	美好水遊び広場	133㎡	平成2年(1990年)
西府プール	161㎡	昭和59年(1984年)			
特記事項	・各施設の建物(観覧席や更衣室等)は小規模だが、プールの塗装や設備などにも定期的な改修が必要となる。				
運営(ソフト)					
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設				
機能	市民プール: 50mプール 美好水遊び広場: 小川、ウォータースライダー及びジャンプシャワー その他の地域プール: 25mプール及び幼児用プール				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日数は夏場の40日程度だが、利用者数は年(気温などの外的要因)によって大きく異なる。 ・地域プールの年間利用者数は、市民プールと美好水遊び広場がそれぞれ約9千人、その他の施設は7千人~5千人程度である。 ・利用者のうち、子どもの利用者数が半数を超え、特に小柳、西府、白糸台、武蔵台及び新町の各プールは子どもの利用者数が全体の3分の2を占める。 ・類似施設である学校プールの一般開放は行われていないが、他市では学校プールを一般に開放している事例もある。 				
検討の方向性 (短期)	・利用期間や既存施設の有効活用の観点から、地域プールは処分を検討する。なお、機能については学校プールの活用を検討する。				
短期スケジュール					
平成26年度	○事前検討				
平成27年度	○将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討				
平成28年度	●将来的な学校施設の活用(モデル事業)方針の決定				
平成29年度	○方針に基づく検討、実施				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業2「学校施設の更なる活用」の対象施設として、利用期間や既存施設の有効活用の観点から処分を検討し、学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針に基づき、屋外公共プールの集約化に向けた取組を進めることとした。 ・平成30年度に府中第十中学校のプールを試験的に市民へ開放できるよう、調整を図った。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・類似施設である学校プールと地域プールの相違点や解決すべき課題の整理を行う。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・類似施設である学校プールと地域プールの相違点や解決すべき課題の整理を行った。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・学校プールと地域プールの相違点や解決すべき課題の整理、及び将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・学校プールと地域プールの相違点を整理し、引き続き、将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における検討内容を注視しつつ、関係各課と協議し、引き続き学校施設の活用(モデル事業)の検討を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における検討内容を注視しつつ、学校プールと地域プールの相違を整理し、将来的な学校施設の更なる活用(モデル事業2)の検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における検討結果を受け、学校プールの活用と地域プールの廃止に向けた具体的な検討を関係課と協議する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における将来的な学校施設の更なる活用(モデル事業2)の検討結果及び学校プールと地域プールの相違を整理し、地域プールのあり方について検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における検討結果を受け、学校プールの活用と地域プールの廃止に向けた具体的な検討を関係課と協議する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会における将来的な学校施設の更なる活用(モデル事業2)の検討結果を受け、学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針を策定し、地域プールのあり方を決定した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針に基づき、学校プールの活用と地域プールの廃止に向けた具体的な検討を関係課と協議する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針に基づき、学校プールの活用に向けた具体的な方策を関係課と協議した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針に基づき、学校プールの活用と地域プールの廃止に向けた具体的な方策を関係課と協議する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針に基づき、屋外公共プールの集約化に向けた取組を進めることとした。 ・平成30年度に府中第十中学校のプールを試験的に市民へ開放できるよう、調整を図った。

No.	施設名	担当課
16-1	市民陸上競技場	スポーツ振興課
建物(ハード)		
延床面積	2,362㎡	
しゅん工年度	昭和59年(1984年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧席等の建物部分だけでなく、トラックやフィールド部分についても定期的な更新が必要である。 ・夜間照明が設置されている。 	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設	
機能	日本陸連4種公認全天候型トラック(1周300m)、観覧席及び会議室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は約7万人で、近年横ばいの状態である。 ・一般利用の内訳は、全利用者の約80%が開放日を利用する個人利用者で、さらにその約80%が市外の利用者である。 ・貸切の利用者は、約70%が市内の利用者である。 ・団体利用は割引料金で利用できるが、年間30件、市内率は約2%と非常に少ない。 ・他の体育館施設と比較して貸切利用の割合が低く、かつ市外利用者の割合が高い施設である。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加や歳入確保に向けた方策を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施	○施設の包括管理に関する検討
平成27年度	▽継続	▽継続
平成28年度	▽継続	●実施の可否の決定
平成29年度	▽継続	○決定に基づく取組の実施
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加 ・類似機能の統廃合及び民間活力の導入による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行う。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいない ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 計画通りに進んでいない ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。

No.	施設名	担当課
16-2	グラウンド管理所	スポーツ振興課・ (財産活用課)
建物(ハード)		
延床面積	465㎡	
しゅん工年度	昭和48年(1973年)	
特記事項	・昭和56年以前に建築された旧耐震基準の建物であり、今後耐震化や老朽化への対応が必要な状況である。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設	
機能	会議室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	・現在は主に貸し館施設として利用され、利用者数は年間約1,500人である。	
検討の方向性 (短期)	・老朽化の進むグラウンド管理所は処分を検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加 ・類似機能の統廃合及び民間活力の導入による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・老朽化の状況を踏まえ、施設を廃止した。なお、機能は他の施設へ移転し、建物を解体処分したため、施設の維持管理経費等の歳出を削減することができた。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 老朽化の状況等を踏まえ、今後の取扱いに係る方針策定に向けた検討を行う。
		【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・他施設での代替等を含め検討。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き今後の方針について検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・他施設での代替等を含め検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、今後の方針について検討を行う。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・他施設での代替等について検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・今後の方針を決定し、方針に基づく調整等に取り組む。
平成28年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・代替施設の検討を行うとともに、廃止に向け関係各課との協議及び条例手続を行った。
		【下半期の取組予定】 ・廃止に向けて関係各課との調整を行うほか、市民への周知を行う。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 計画通りに進んでいる ・施設廃止後の代替施設を決定し、廃止に向け各種手続を行った。
		【来年度の取組予定】 (財産活用課:機能廃止後の施設について、建物の解体を行うとともにその後の活用を検討する。)
平成29年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】(財産活用課) ・平成29年3月31日をもって閉所し、建物の解体に向けての準備作業を実施した。
		【下半期の取組予定】(財産活用課) ・建物の解体工事を実施し、解体後は、敷地の管理を行う。 ・建物解体後の敷地の活用について、方向性を確定する。
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・建物等の解体工事を実施し、解体後の敷地の管理を行った。 ・敷地の活用についての方向性を確定した。

No.	施設名				担当課
17	野球場				スポーツ振興課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
市民球場	7,510㎡	昭和57年(1982年)	市民第二野球場 (郷土の森第二野球場)	-	昭和42年(1967年)
市民第一野球場 (郷土の森第一野球場)	-	昭和43年(1968年)			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 市民球場は、建築後30年以上経過しており、大規模改修が必要な時期を迎えている。また、建物部分だけでなく、グラウンドやフェンスなどについても定期的な更新が必要である。 市民球場及び市民第一野球場には夜間照明が設置されている。 				
運営(ソフト)					
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設				
機能	市民球場:硬式、準硬式、軟式野球が実施可能、スタンド及び会議室 郷土の森第一野球場:軟式野球が実施可能(4面) 郷土の森第二野球場:軟式野球が実施可能(4面)				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率は、市民球場が約80%と高いが、郷土の森第一野球場は約50%、郷土の森第二野球場は約40%とあまり高くない。 利用者に占める市内団体の割合は、郷土の森第一野球場が約80%、郷土の森第二野球場が約70%と高いが、市民球場は約40%とあまり高くない。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率向上や歳入確保の方策を検討する。 民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施		○施設の包括管理に関する検討		
平成27年度	▽継続		▽継続		
平成28年度	▽継続		●実施の可否の決定		
平成29年度	▽継続		○決定に基づく取組の実施		
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数や歳入の増加 民間活力の導入による効率的な施設運営 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 市民球場:ネーミングライツ導入について、関係課と調整を行った。 グラウンド管理所の廃止に伴い、その一部機能を市民球場に移転した。 市民第1・2野球場:歳入の増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営の検討及びネーミングライツ導入について検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討及びネーミングライツ導入について検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営の検討及びネーミングライツ導入について検討を行う。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討及びネーミングライツ導入について検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営の検討をし、実施の可否を行う。 ・ネーミングライツ導入について検討を行う。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・ネーミングライツ導入について、関係課と調整を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営の検討をし、実施の可否を行う。 ・引き続き、ネーミングライツ導入について検討を行い、関係課との調整を図る。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・ネーミングライツ導入について、関係課と調整を行った。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営の検討をし、実施の可否決定を行う。 ・引き続き、ネーミングライツ導入について検討を行い、関係課との調整を図る。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・ネーミングライツ導入について、関係課と調整を行った。 ・グラウンド管理所の廃止に伴い、その一部機能を市民球場に移転した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組み、包括管理による効率的な施設運営を検討し、実施の可否を決定する。 ・引き続き、ネーミングライツ導入について検討を行い、関係課との調整を図る。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・市民球場：ネーミングライツ導入について、関係課と調整を行った。 ・グラウンド管理所の廃止に伴い、その一部機能を市民球場に移転した。 ・市民第1・2野球場：歳入増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。

No.	施設名				担当課
18	サッカー場				スポーツ振興課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
朝日サッカー場	146㎡	平成11年(1999年)	市民サッカー場 (郷土の森サッカー場)	-	昭和44年(1969年)
特記事項	・建物は小規模だが、芝の維持管理や設備などの定期的な改修が必要となる。				
運営(ソフト)					
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設				
機能	朝日サッカー場:天然芝(簡易スタンド付、2面、水土日祝日の利用) 郷土の森サッカー場:人工芝(1面)及び天然芝(1面、隔月利用)				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は年度によって増減があるが、全体数としては横ばいの状況である。朝日及び郷土の森サッカー場の利用者数は、全体で年間約4万人である。 ・稼働率は、朝日サッカー場と郷土の森サッカー場がともに約70%である。 ・利用者に占める市内団体の割合は、朝日サッカー場が約90%と高く、郷土の森サッカー場も約70%と高くなっている。 ・郷土の森サッカー場は人工芝グラウンドの運用が始まった後、利用者数は約3倍となった。なお、人工芝グラウンドはラグビー場として使用することも可能である。 ・類似機能として、学校校庭の一般開放は小中学校4校で実施されている。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率向上や歳入確保の方策を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施		○施設の包括管理に関する検討		
平成27年度	▽継続		▽継続		
平成28年度	▽継続		●実施の可否の決定		
平成29年度	▽継続		○決定に基づく取組の実施		
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加 ・民間活力の導入による効率的な施設運営 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や歳入の増加に向けて方策を検討した。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・市民(郷土の森)サッカー場:歳入増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。 ・朝日サッカー場:2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とするための整備を行い、必要な維持管理を行った。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】 ・郷土の森サッカー場:利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討。 ・朝日サッカー場:平成26年度より芝生の養生期間、年末年始を除いて通年を通して土曜・日曜、祝日及び水曜の開場としたが、利用頻度が高すぎたためか、芝生の根付、生育状況が悪くなってきている。</p> <p>【来年度の取組予定】 ・郷土の森サッカー場:引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討。 ・朝日サッカー場:芝生の生育状況をみながら、これまでの養生期間に加え、芝生の生育状況をみながら、適宜、養生日及び大人の使用時間の制限を設定するなど、芝生保護の観点から、なるべく芝生に負担がかからないような貸し出し方法を検討する。</p>
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】 ・朝日サッカー場:効率的な施設管理を実施した。 ・郷土の森サッカー場:利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討した。</p> <p>【下半期の取組予定】 ・朝日サッカー場:効率的な施設管理を続ける。 ・郷土の森サッカー場:利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。</p>
	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】 ・朝日サッカー場:効率的な施設管理を実施した。 ・郷土の森サッカー場:利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討した。</p> <p>【来年度の取組予定】 ・効率的な施設管理を続けるとともに、利用者数や歳入の増加に向けて取り組む。包括管理については実施の可否を決定する。</p>
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】 ・効率的な施設管理を実施した。また、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討した。</p> <p>【下半期の取組予定】 ・効率的な施設管理を続ける。引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組む。包括管理については実施の可否を決定する。</p>
	下半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいない</p> <p>【下半期の取組状況】 ・効率的な施設管理を実施した。また、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討した。 ・朝日サッカー場:2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とする検討を行った。</p> <p>【来年度の取組予定】 ・効率的な施設管理を続ける。引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組む。包括管理については実施の可否を決定する。 ・朝日サッカー場:2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とするための整備を行う。</p>
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいない</p> <p>【上半期の取組状況】 ・効率的な施設管理を実施した。また、利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討した。 ・市民サッカー場:歳入増加策の一環として、公益財団法人全国高等学校体育連盟のラグビー大会の誘致を行った。 ・朝日サッカー場:2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とするための施設整備を進めた。</p> <p>【下半期の取組予定】 ・効率的な施設管理を続ける。引き続き、利用者数や歳入の増加に向けて取り組む。包括管理については実施の可否を決定する。 ・朝日サッカー場:引き続き、2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とするための整備を行い、維持管理を行う。</p>
	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>【下半期の取組状況】 ・利用者数や歳入の増加に向けた方策を検討した。 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・市民サッカー場:歳入増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。 ・朝日サッカー場:2019ラグビーワールドカップ及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地とするための整備を行い、必要な維持管理を行った。</p>

No.	施設名				担当課
19	庭球場				スポーツ振興課
建物(ハード)					
施設名	敷地面積	開設年度	施設名	敷地面積	開設年度
市民庭球場 (郷土の森庭球場)	2,813㎡	昭和43年(1968年)	日新第二庭球場	1,638㎡	昭和62年(1987年)
寿町庭球場	1,425㎡	昭和30年(1955年)	紅葉丘庭球場	2,003㎡	昭和61年(1986年)
押立庭球場	1,389㎡	昭和54年(1979年)	紅葉丘第二庭球場	1,857㎡	昭和62年(1987年)
四谷庭球場	1,786㎡	昭和54年(1979年)	平和の森庭球場	1,885㎡	平成元年(1989年)
栄町庭球場	1,081㎡	昭和56年(1981年)	小柳庭球場	3,716㎡	昭和51年(1976年)
住吉庭球場	1,482㎡	昭和60年(1985年)	西府庭球場	1,999㎡	昭和61年(1986年)
若松庭球場	2,625㎡	昭和60年(1985年)	武蔵台庭球場	2,046㎡	昭和44年(1969年)
日新庭球場	2,088㎡	昭和61年(1986年)			
特記事項	・施設の運営に要する費用はそれほど大きなものではないが、コートや照明等の定期的な改修が必要となる。				
運営(ソフト)					
設置目的	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るための施設				
機能	(クレーコート)郷土の森庭球場及び武蔵台庭球場 (全天候)西府庭球場 (砂入り人工芝)その他の施設				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、年度によって利用者数の増減があるが、全体としては横ばいである。全ての庭球場の合計利用者数は年間約40万人と多いが、利用するためのクラブ登録者数は約3千人、個人登録者数は約1万3千人(うち市外1,500人)である。 ・ほとんどの施設で稼働率が90%を超え、市民及び市内団体の割合はほぼ100%である。 ・登録者数と利用者数を比較すると、複数回利用者が多い施設であると考えられる。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や稼働率だけでなく、公と民の役割分担など様々な観点から必要施設数の見直しを検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。 ・民間活力の導入による、体育施設の包括管理を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○今後の施設数についての検討		○施設の包括管理に関する検討		
平成27年度	▽継続		▽継続		
平成28年度	▽継続		●実施の可否の決定		
平成29年度	●今後の施設数に関する方針を決定		○決定に基づく取組の実施		
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 				
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・市民(郷土の森)庭球場:歳入増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。また、利用者及び歳入確保策として砂入り人工芝への改修実施に向けた取組等を進めた。 ・紅葉丘第二庭球場:都市計画道路(府中都市計画道路3・4・16号府中東小金井線)の計画に伴い、施設の縮小を決定した。 ・施設利用の効率化や、コートの集約、適正配置等について検討した。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・今後の施設数に係る方針策定に向け、検討を行う。 ・利用者数や歳入の増加に向けて取り組むほか、包括管理による効率的な施設運営を検討する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・今後の施設の数や包括管理による施設運営に関して検討を行った。特に紅葉丘第二庭球場については、計画道路府中3・4・16号府中東小金井線の計画に伴い、今後の方針を重点的に検討した。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き検討を行う。また、紅葉丘第二庭球場については、関係課と情報共有を図るとともに、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、当該施設の方向性について検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・今後の施設数や包括管理による施設運営に関して検討を行った。また、特に紅葉丘第二庭球場については、計画道路府中3・4・16号府中東小金井線の計画に伴い、今後の方針を検討した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、施設運営に関する検討を行う。また、紅葉丘第二庭球場については、関係課との情報共有を図りつつ、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、当該施設の方向性について検討する。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・今後の施設数や包括管理による施設運営に関して検討を行った。また、特に紅葉丘第二庭球場については、計画道路府中3・4・16号府中東小金井線の計画に伴い、今後の方針を検討した。
		【来年度の取組予定】 ・紅葉丘第二庭球場については、廃止の手続きを進める。また、代替機能のあり方については、引き続き関係課との情報共有を図りつつ、公共施設マネジメントの考え方を踏まえて検討する。 ・スポーツ推進計画に基づき、既存庭球場の利用の効率化を図るとともに、大会運営等の円滑化のためにコートを集約、適正配置を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・施設数や包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・紅葉丘第二庭球場については、計画道路(府中3・4・16号府中東小金井線)の計画に伴い今後の方針を関係課と協議し検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・スポーツ推進計画に基づき、既存庭球場の利用の効率化を図る。 ・公共施設マネジメントに基づき、コートを集約、適正配置の検討を行う。 ・計画道路の計画に伴う紅葉丘第二庭球場の今後のスケジュールや改修費用について、関係各課と調整を図る。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・施設数や包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・紅葉丘第二庭球場については、計画道路(府中3・4・16号府中東小金井線)の計画に伴い今後の方針を関係課と協議した。
		【来年度の取組予定】 ・スポーツ推進計画に基づき、既存庭球場の利用の最適化を図る。 ・公共施設マネジメントに基づき、コートを集約、適正配置の検討を行う。 ・計画道路の計画に伴う紅葉丘第二庭球場の今後のスケジュールや改修費用について、関係各課と調整を図る。 ・包括管理については実施の可否を決定する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【上半期の取組状況】 ・施設数や包括管理による効率的な施設運営の検討を行った。 ・紅葉丘第二庭球場については、計画道路(府中3・4・16号府中東小金井線)の計画に伴い、改修スケジュール及び改修費用を関係課と協議した。 ・施設の維持管理にかかる歳出削減及び収入確保策として市民庭球場における砂入り人工芝への改修について検討した。
		【下半期の取組予定】 ・スポーツ推進計画に基づき、既存庭球場の利用の最適化を図る。 ・公共施設マネジメントに基づき、コートを集約、適正配置の検討を行う。 ・計画道路の計画に伴う紅葉丘第二庭球場の改修スケジュールや改修費用について、関係各課と調整を図る。 ・包括管理については実施の可否を決定する。 ・市民庭球場における砂入り人工芝への改修について、方向性の決定を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・体育施設の包括管理について、事業者からのヒアリング等を踏まえ検討を行い、施設の老朽化の状況や運営方法など、導入に係る課題を把握し、現状では指定管理等の包括管理の実施が困難であると認識した。 ・施設利用の効率化や、コートを集約、適正配置について検討した。 ・市民(郷土の森)庭球場:歳入増加策として、効率的な整備を実施することで、整備による休場日数を減らし、開場日数を増やした。また、利用者及び歳入確保策として砂入り人工芝への改修実施に向けた取組等を進めた。 ・紅葉丘第二庭球場:都市計画道路(府中都市計画道路3・4・16号府中東小金井線)の計画に伴い、施設の縮小を決定した。

No.	施設名				担当課
20	小学校				学校施設課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
第一小学校	9,217㎡	昭和52年(1977年)	住吉小学校	7,532㎡	昭和42年(1967年)
第二小学校	8,182㎡	平成元年(1989年)	新町小学校	5,223㎡	昭和43年(1968年)
第三小学校	8,059㎡	昭和39年(1964年)	本宿小学校	6,558㎡	昭和44年(1969年)
第四小学校	5,486㎡	昭和38年(1963年)	白糸台小学校	5,319㎡	昭和44年(1969年)
第五小学校	6,443㎡	昭和38年(1963年)	矢崎小学校	5,119㎡	昭和45年(1970年)
第六小学校	6,469㎡	昭和38年(1963年)	若松小学校	5,778㎡	昭和47年(1972年)
第七小学校	5,826㎡	昭和37年(1962年)	小柳小学校	6,387㎡	昭和47年(1972年)
第八小学校	8,508㎡	昭和38年(1963年)	南白糸台小学校	6,074㎡	昭和48年(1973年)
第九小学校	7,649㎡	昭和40年(1965年)	四谷小学校	6,602㎡	昭和48年(1973年)
第十小学校	8,833㎡	平成24年(2012年)	南町小学校	6,548㎡	昭和49年(1974年)
武蔵台小学校	6,119㎡	昭和41年(1966年)	日新小学校	5,893㎡	昭和52年(1977年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後30年以上経過した施設が多くを占めるなか、今後の厳しい財政状況の下では、できる限り長期間使用していくことが必要となる。 ・平成25年度に、全ての小中学校の耐震化が完了した。 				
運営(ソフト)					
設置目的	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すための施設				
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての小中学校の体育館(武道場)と一部の小中学校の校庭は開放しており、地域のクラブなどが活動している。 ・小学校の教室や体育館及び校庭は、学童クラブや放課後子ども教室の場として活用されている。 ・光熱水費や管理委託料などの施設管理費は、小中学校の全施設合計で約6億円である。教育環境の確保のため、平成22年度以降、教室に空調機器を順次設置したが、更なる経常経費の削減を図るためには、設定温度や運転時間など適切な運用を行う必要がある。 				
検討の方向性(短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校プールの市民への開放、学校施設の複合化など、学校施設の更なる活用方策を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○事前検討				
平成27年度	○将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討				
平成28年度	●将来的な学校施設の活用(モデル事業)方針の決定				
平成29年度	○方針に基づく検討、実施				
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の有効活用 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業2「学校施設の更なる活用」の対象施設として、学校施設の開放や複合化などを検討した。 ・学校の老朽化調査を実施するなど、改築・長寿命化改修に向けた取組を進めた。また、学校施設の老朽化対策調査の結果について、総合的な評価を行い、老朽化対策の優先度に応じたグループ分けを行った。そのうち、府中第八小学校を早期改築着手校に位置付け、学校施設の改築・長寿命化改修計画の作成と並行して、改築に向けた取組を進めることとした。 ・学校施設と他の施設との複合化については、学校ごとの用地規模や近隣の公共施設数が異なることから、学校という特性に沿った複合施設の選別をしながら、「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画(平成30年度策定予定)」の中で方向性を示していくこととした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・学校プールの活用に当たっての課題の整理などを、スポーツ振興課とともに行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・老朽化の状況等を把握するにとどまった。
		【来年度の取組予定】 ・学校プールと地域プールの相違点や解決すべき課題の整理、及び将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・プールの劣化状況を確認し、今後の修繕計画等を検討した。 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の中で、学校プールの活用方法を検討した。また、他市の学校プール開放状況を視察する等の研究を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・プールについては、引き続き、公共施設マネジメントモデル事業検討協議会にて検討をするとともに、開放を行った場合の課題点を洗い出す ・プールも含めた学校施設の老朽化対策として、施設の長寿命化に関する調査を行う。 ・学校施設の複合化に関して、検討協議会で検討を行う。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・学校プールの地域開放等、学校施設の更なる活用を検討するに当たり、公共施設マネジメントモデル事業検討協議会で学校施設の現状を報告するとともに、協議に加わった。 ・小学校6校について老朽化調査を実施した。 ・他自治体の先行事例を視察することで、複合化に関する認識を深めることが出来た。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、老朽化調査を実施する。 ・複合化も含めた、改築・長寿命化改修計画の作成に向けた準備を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・小学校11校について、老朽化調査を実施している。 ・改築・長寿命化改修計画の作成に向けて、平成29年度業務のスケジュール作成、業務委託仕様書作成、関係部署との調整に努めた。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、老朽化調査を実施する。 ・引き続き、改築・長寿命化改修計画の作成に向けた準備を進める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・引き続き、小学校11校について、老朽化調査を実施した。 ・学校施設改築・長寿命化改修計画の策定に向けて、コンサルティング業者の選定(プロポーザル)及び、附属機関の設置に向けた手続を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・学校施設改築長寿命化改修計画の策定に向けて、コンサルティング業者とともに学校施設の課題を整理し、それぞれの課題について、府中市学校施設老朽化対策推進協議会及び庁内関係課会議において検討していく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・平成26年度から平成28年度までの3年間にわたり実施した老朽化対策調査の結果及び校舎の老朽化対策の優先度に応じたグループ分けの方針について、庁議、議会、教育委員会定例会等に報告した。 ・学校施設改築長寿命化改修計画の策定に向けて、学校施設老朽化対策推進協議会を設置し、「本市の学校施設の現状」、「老朽化対策方針」、「施設規模の見込み」や、「地域拠点としての学校施設の課題」について協議を行った。 ・庁内関係課会議の立上げには至らなかったが、個別テーマごとに関係課と協議、意見交換を実施した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、老朽化対策推進協議会の運営をする中で、学校施設の課題について意見を交わし、他市事例を踏まえながら学校施設改築長寿命化改修計画の作成に努める。 ・庁内関係課として、まず指導室や各学校長と意見を交わして、本市における新しい学校づくり(改築校の標準仕様づくり)を進めていく。また、学校施設における防災機能や複合化の可能性について、関係課と協議を重ねていく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・府中市学校施設老朽化対策推進協議会の中で、地域拠点としての学校施設(避難所機能や学校開放機能など)や教育機能としての学校施設(各諸室のつくり、ゾーニング)について協議した。 ・新しい学校づくりを進めるにあたり、指導室や各学校長と意見を交わし標準仕様づくりを進めたほか、学校開放や防災機能、公共施設マネジメントとの関連についても関係課と協議、意見交換を実施した。

No.	施設名				担当課
21	中学校				学校施設課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
第一中学校	10,348㎡	昭和38年(1963年)	第七中学校	9,974㎡	昭和42年(1967年)
第二中学校	12,107㎡	昭和41年(1966年)	第八中学校	9,621㎡	昭和48年(1973年)
第三中学校	13,344㎡	平成19年(2007年)	第九中学校	9,384㎡	昭和51年(1976年)
第四中学校	12,483㎡	昭和44年(1969年)	第十中学校	8,757㎡	昭和54年(1979年)
第五中学校	13,339㎡	昭和51年(1976年)	浅間中学校	9,162㎡	昭和56年(1981年)
第六中学校	11,612㎡	昭和40年(1965年)			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後30年以上経過した施設が多くを占めるなか、今後の厳しい財政状況の下では、できる限り長期間使用していくことが必要となる。 ・平成25年度に、全ての小中学校の耐震化が完了した。 				
運営(ソフト)					
設置目的	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すための施設				
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての小中学校の体育館(武道場)と一部の小中学校の校庭は開放しており、地域のクラブなどが活動している。 ・光熱水費や管理委託料などの施設管理費は、小中学校の全施設合計で約6億円である。教育環境の確保のため、平成22年度以降、教室に空調機器を順次設置したが、更なる経常経費の削減を図るためには、設定温度や運転時間など適切な運用を行う必要がある。 				
検討の方向性(短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校プールの市民への開放、学校施設の複合化など、学校施設の更なる活用方を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○事前検討				
平成27年度	○将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討				
平成28年度	●将来的な学校施設の活用(モデル事業)方針の決定				
平成29年度	○方針に基づく検討、実施				
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の有効活用 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業2「学校施設の更なる活用」の対象施設として、学校施設の開放や複合化などを検討した。 ・平成30年度に府中第十中学校のプールを試験的に市民へ開放できるようスポーツ振興課と調整を図った。 ・学校の老朽化調査を実施するなど、改築・長寿命化改修に向けた取組を進めた。また、学校施設の老朽化対策調査の結果について、総合的な評価を行い、老朽化対策の優先度に応じたグループ分けを行った。そのうち、府中第一中学校を早期改築着手校に位置付け、学校施設の改築・長寿命化改修計画の作成と並行して、改築に向けた取組を進めることとした。 ・学校施設と他の施設との複合化については、学校ごとの用地規模や近隣の公共施設数が異なることから、学校という特性に沿った複合施設の選別をしながら、「府中市学校施設改築・長寿命化改修計画(平成30年度策定予定)」の中で方向性を示していくこととした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・学校プールの活用に当たっての課題の整理などを、スポーツ振興課とともに行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・老朽化の状況等を把握するにとどまった。
		【来年度の取組予定】 ・学校プールと地域プールの相違点や解決すべき課題の整理、及び将来的な学校施設の活用(モデル事業)の検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・プールの劣化状況を確認し、今後の修繕計画等を検討した。 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の中で、学校プールの活用方法を検討した。また、他市の学校プール開放状況を視察する等の研究を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・プールについては、引き続き、公共施設マネジメントモデル事業検討協議会にて検討をするとともに、開放を行った場合の課題点を洗い出す ・プールも含めた学校施設の老朽化対策として、施設の長寿命化に関する調査を行う。 ・学校施設の複合化に関して、検討協議会で検討を行う。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・学校プールの地域開放等、学校施設の更なる活用を検討するに当たり、公共施設マネジメントモデル事業検討協議会で学校施設の現状を報告するとともに、協議に加わった。 ・中学校4校について老朽化調査を実施した。 ・他自治体の先行事例を視察することで、複合化に関する認識を深めることが出来た。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、老朽化調査を実施する。 ・複合化も含めた、改築・長寿命化改修計画の作成に向けた準備を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・中学校5校について、老朽化調査を実施している。 ・改築・長寿命化改修計画の作成に向けて、平成29年度業務のスケジュール作成、業務委託仕様書作成、関係部署との調整に努めた。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、老朽化調査を実施する。 ・引き続き、改築・長寿命化改修計画の作成に向けた準備を進める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・引き続き、中学校5校について、老朽化調査を実施した。 ・学校施設改築・長寿命化改修計画の策定に向けて、コンサルティング業者の選定(プロポーザル)及び、附属機関の設置に向けた手続を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・学校施設改築長寿命化改修計画の策定に向けて、コンサルティング業者とともに学校施設の課題を整理し、それぞれの課題について、府中市学校施設老朽化対策推進協議会及び庁内関係課会議において検討していく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・平成26年度から平成28年度までの3年間にわたり実施した老朽化対策調査の結果及び校舎の老朽化対策の優先度に応じたグループ分けの方針について、庁議、議会、教育委員会定例会等に報告した。 ・学校施設改築長寿命化改修計画の策定に向けて、学校施設老朽化対策推進協議会を設置し、「本市の学校施設の現状」、「老朽化対策方針」、「施設規模の見込み」や、「地域拠点としての学校施設の課題」について協議を行った。 ・庁内関係課会議の立上げには至らなかったが、個別テーマごとに関係課と協議、意見交換を実施した。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、老朽化対策推進協議会の運営をする中で、学校施設の課題について意見を交わし、他市事例を踏まえながら学校施設改築長寿命化改修計画の作成に努める。 ・庁内関係課として、まず指導室や各学校長と意見を交わして、本市における新しい学校づくり(改築校の標準仕様づくり)を進めていく。また、学校施設における防災機能や複合化の可能性について、関係課と協議を重ねていく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・府中市学校施設老朽化対策推進協議会の中で、地域拠点としての学校施設(避難所機能や学校開放機能など)や教育機能としての学校施設(各諸室のつくり、ゾーニング)について協議した。 ・新しい学校づくりを進めるにあたり、指導室や各学校長と意見を交わし標準仕様づくりを進めたほか、学校開放や防災機能、公共施設マネジメントとの関連についても関係課と協議、意見交換を実施した。

No.	施設名				担当課
22	学校給食センター				学務保健課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
第一学校給食センター	1,815㎡	昭和45年(1970年)	第二学校給食センター	3,784㎡	昭和50年(1975年)
※平成29年7月に、朝日町に新たな給食センター(延床面積 14,305㎡)を整備し、第一、第二給食センターの機能を移転した。					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後、第一学校給食センターは40年以上、第二学校給食センターは35年以上が経過し、施設の老朽化への対応が必要な時期を迎えている。また、耐震化の課題も抱えている。 ・第二学校給食センター敷地内には、学校給食洗浄センターも設置されている。 				
運営(ソフト)					
設置目的	市立学校において実施する学校給食の調理等の業務を一括処理するための施設				
機能	第一学校給食センター:調理能力1万3千食 第二学校給食センター:調理能力7千食 学校給食洗浄センター:学校給食の食器洗浄				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・給食業務で毎日出る野菜くずや残菜は、専門業者に処理を委託し、有機たい肥となっている。 ・費用の負担について、市は施設の管理運営費、人件費及び光熱水費を負担し、保護者が支払う給食費は食材料費に充てられている。 ・施設にかかる全ての費用のうち、人件費の占める割合が大きい施設である。 ・老朽化の進む施設の建替えに当たっては、平成21年度から取り組んでおり、平成23年度事務事業点検における「給食センター管理運営事業」の点検結果を踏まえて検討を進め、平成25年度に「府中市立学校給食センター基本計画」を策定した。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・建替えに当たっては、その規模や設備について、学校給食として求める水準は踏まえつつも、ライフサイクルコスト(LCC)などの視点も重視したものとなるように検討する。 ・運営に関しては、今後を見据えた民間活力の導入手法を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○新施設の効率的な運用の検討				
平成27年度	▽継続				
平成28年度	▽継続				
平成29年度	●新施設の運用開始				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の更なる導入による効率的な施設運営 ・様々な活用による歳入の確保 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震性や老朽化の課題に対応するため、平成29年度に新たに給食センターを整備し、当該年度の2学期から供用を開始した。 ・新たな学校給食センターの整備に当たり、ライフサイクルコストを考慮した施設とした。また、コ・ジェネレーションシステムや太陽光発電を導入するなど、地球環境に配慮した施設とした。 ・民間活力の導入を図り、従前からの委託業務に加え、新たに、小学校調理業務、炊飯調理業務をプロポーザル方式により委託事業者を選定した。また、各学校での配膳業務も調理委託事業者と同一とすることで、指揮命令系統を一元化し、より効率的な学校給食事業の運営を可能にした。 				

取組状況		
平成26年度	下半年	【下半期の取組予定】 ・基本設計業務を進める中で、ハード面では施設の適正化、ソフト面では民間活力の導入や管理運営方法を検討し、より効率的な運用を図る。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 基本設計業務を進める中で、民間活力の導入の範囲や管理運営方法等を検討し、効率的な運営が図れるよう取り組んだ。
		【来年度の取組予定】 実施設計業務を進める中で、民間活力の導入の範囲や管理運営方法等を検討し、効率的な運営が図れるように努める。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・実施設計業務を進める中で、民間活力の導入の範囲や管理運営方法等を検討し、効率的な運営が図れるよう取り組んだ。 ・実施設計業務において、会議研修室部分の面積を精査し、延床面積の見直しを図った。
		【下半期の取組予定】 ・運営に関して、引き続き、民間活力の導入の範囲や管理運営方法等を検討し、効率的な運営が図れるよう努める。
	下半年	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・小学校調理業務及び炊飯調理業務の民間委託に向けた手続を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・運営に関して、委託契約の内容や範囲を検討し、調理委託をプロポーザル方式で行うための手続を進める。 ・効率的な給食運営が行えるよう、引き続き検討を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・調理等業務委託を公募型プロポーザルで実施するため、7月から8月に募集要項を公表し、手続を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・10月頃、事業者を選定し、平成29年度の開設に向けた取組を進める。
	下半年	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・調理等業務委託業者を選定し、開設準備に向けた打合せ等を行った。従来から民間へ委託している配膳、洗浄業務に加え、小学校調理業務、炊飯調理業務を新たに委託することとした。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、開設に向けた準備を委託事業者等とともに進め、施設引渡し後の運営練習等を実施し、新センターが安定稼働することができるように努める。 ・コ・ジェネレーションなど新たなシステムを導入することから、光熱水費を効果的に削減できるよう運用するとともに、施設運営経費の見直しを随時図りながら、効率的な運営に努める。 ・新施設のネーミングライツについて、理事者、教育委員会、議会、学校等関係者より食の安全の観点から、慎重な意見があったため、施設のキャラクターや広告料収入等の検討を行い、歳入確保につなげることができるよう取組を進める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・新たに整備した給食センターに機能を移転し、9月からの給食の提供に向け、調理練習等を行った。 ・新センターに関する委託契約手続を進め、効率的な運営に向けた準備を進めた。 ・新センターのイメージキャラクターを市内の小中学生の応募の中から選定し、配送車に掲載するなど新センターのPRに努めることとした。
		【下半期の取組予定】 ・新センターが安定的に稼働するように努める。 ・光熱水費や各種委託契約などの施設運営経費を随時見直し、効率的な運営に努める。 ・食育の拠点として、設備を最大限生かした取組を進める。 ・自動販売機の設置など歳入確保に努める。 ・機能移転後の給食センター(旧センター)について、残っている物品の整理を行う。
	下半年	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・新センターが安定的に稼働するように努めた。 ・光熱水費や各種委託契約などの施設運営経費を随時見直し、効率的な運営に努めた。 ・食育の拠点として、設備を最大限生かした取組を進めた。【平成29年10月～平成30年3月末までの見学者・視察者数 75組1,940人】 ・自動販売機の設置、NHKのロボットカメラの設置など歳入確保に努めた。 ・機能移転後の給食センター(旧センター)について、残っている物品の整理を行い、有効活用を図った。

No.	施設名	担当課
23	教育センター	指導室
建物(ハード)		
延床面積	3,719㎡	
しゅん工年度	昭和56年(1981年)	
特記事項	・昭和56年度に設置された施設で、耐震診断の結果、「耐震性能あり。」との結果が出ているが、築30年以上経過し、大規模改修が必要な時期が迫っている。	
運営(ソフト)		
設置目的	教育の振興及び市民の生活文化の向上を図るための施設	
機能	各種相談業務や適応指導教室などのための諸室、研修室、会議室、科学実験室等	
運営	直営	
現状 (策定当初)	・貸出施設の利用状況は、教員の研修や会議など学校教育関係者が主催する利用が約70%を占めている。利用者数は全体で約3万人、稼働率(平均)は約50%である。 ・教育相談は、来所による相談のほか電話相談も可能であり、件数は増加傾向にある。	
検討の方向性 (短期)	・老朽化の状況を踏まえつつ、他の施設との複合化を検討する。 ・各種相談業務や適応指導教室など以外の機能については、専用の諸室を持たない形を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、施設の移転を検討し、機能向上や効率的な施設管理等を目指し、府中駅北第2庁舎へ移転することとした。移転後に必要とされる部屋の面積等を明らかにするために、部屋ごとの利用状況を把握した。なお、教育センターとしての機能の整理、縮小の検討を行ってきたが、具体的な結論には至っておらず、引き続き、新庁舎建設の進捗に併せて検討を進めていく。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・教育センターの移転等を検討するに当たり、必要な規模や機能を精査する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・移転に際して、規模を縮小する場合の機能を検討し、必要とする規模を精査した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・9月までに会議室等の使用の大部分を占める教育委員会の各担当者及び府中市立学校長代表に対して使用状況をヒアリングを実施して、今後も継続的に必要な会議室等の利用について教育委員会内部で検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・複合施設への移転に伴う事業への影響(メリット・デメリット)について検討した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・上半期は、教育相談の件数が前年度比で週当たり3件増加した。増加傾向が続いた場合の必要な相談室数、及び適応指導教室に小学生の申込みが増えていることが一時的なものか見極める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・複合施設への移転に伴う事業への影響(メリット・デメリット)について検討した。メリットとしては、施設管理がしやすいことや老朽化に伴う不具合が解消されることが挙げられる。一方、デメリットとしては、相談者や適応指導教室の利用者の心理面への配慮が行き届かなくなることが懸念されることが挙げられる。なお、適応指導教室への小学生の申込みに大きな変化はない。 【来年度の取組予定】 ・府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針に基づく検討を始める。 ・効率的な運営ができるよう管理業務の改善を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・新公共施設予約システムの構築に併せて、会議室の利用状況を利用形態ごとに把握できる仕組みを検討した。 ・相談時に使用する面接室、遊戯室について、利用状況を把握する方法を検討した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・新公共施設予約システムの入れ替えに併せて、利用形態ごとの統計が取れる仕組みを導入し、移転後に必要とされる会議室の面積等の把握に努める。 ・相談時に使用する面接室、遊戯室の利用状況を検証し、移転後に必要とされる部屋の面積等の把握に努める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・新公共施設予約システムを使用して、会議室の利用状況を利用形態ごとに把握できる仕組みを構築したが、運用後に仕様上の不具合が発生したため、別な方法を検討する。 ・相談時に使用する面接室、遊戯室について、利用状況を把握する方法を導入した。 【来年度の取組予定】 ・会議室の利用状況を利用形態ごとに把握できる仕組みを検討する。 ・移転後に必要とされる部屋の面積等の把握に努める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・会議室の利用状況を利用形態ごとに把握することとした。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・移転後に必要とされる機能、部屋の面積等の把握に向けた取組を進める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・移転後に必要とされる機能、部屋の面積等の把握に向けた取組を進めた。

No.	施設名	担当課
24	子ども家庭支援センター「たち」	子育て支援課
建物(ハード)		
延床面積	2,484㎡	
しゅん工年度	平成16年(2004年)	
特記事項	・府中駅南口商業施設「くるる」内の3階	
運営(ソフト)		
設置目的	子育てに関する相談等を実施することにより、子どもと子育てを行う家庭を支援するための施設	
機能	相談室、情報コーナー、リフレッシュ保育室、交流ひろば、ミーティングルーム、多目的ルーム、交流室、保健室及び事務室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・交流ひろば事業は、開設以後一時減少傾向にあったが、その後増加に転じている。一方、リフレッシュ保育の利用者は一貫して増加している。 ・平成24年度事務事業点検における「子ども家庭支援センター管理運営事業」の点検結果を踏まえ、効果的な事業のあり方や今後の国の動向を踏まえ、総合的に検討する。 	
検討の方向性 (短期)	・委託事業者の選定方法については、更なるサービスの向上と効率的な事業運営が進められるよう検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○委託事業者の選定に関する検討	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	●検討に基づく実施	
平成29年度	○実施による効果の確認	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・提供サービスの向上 ・業務の効率化 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者の選定等については、平成24年度の事務事業点検における事項を踏まえ、他事業者への委託の可能性を含む見直しを図ったが、現行の事業者以上の水準で運営を委託することが困難であることを確認した。現行の事業者とは、より適切な委託費と事業内容を設定することができた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・委託事業者の選定方法に関する検討を行うほか、他の事業者に係る情報収集を行う。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・委託事業者の選定方法について検討や、他の事業者にかかる情報収集を行った。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・委託事業者の選定方法について検討や、他の事業者にかかる情報収集を行った。
		【進捗状況】 【下半期の取組予定】 ・引き続き、検討と他事業者の情報収集を行う。
平成27年度	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・委託事業者の選定方法についての検討や、他の事業者にかかる情報収集を行った。
		【進捗状況】 【来年度の取組予定】 ・委託事業者の選定方法について検討した結果、現在の事業者以外に運営を委託することは困難であるため、今後は、委託事業の効率化や利用者の利便性を更に図れるよう、事業内容等を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・委託事業者の選定方法については、平成27年度に、現在の事業者以外に運営を委託することは困難であるという検討結果に至っているため、委託事業の効率化や利用者の利便性を更に図れるよう、事業内容等について検討した。
		【進捗状況】 【下半期の取組予定】 ・引き続き、委託事業を含む事業内容等を検討する。
平成28年度	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・委託事業の効率化や利用者の利便性を更に図れるよう、事業内容等について検討した。
		【進捗状況】 【来年度の取組予定】 ・引き続き、委託事業を含む事業内容等を検討する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・委託事業の効率化や利用者の利便性を更に図れるよう、事業内容等について検討した。
		【進捗状況】 【下半期の取組予定】 ・引き続き、委託事業を含む事業内容等を検討する。
平成29年度	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・引き続き、施設の利用状況を踏まえながら、適正に施設の管理を行う。

No.	施設名				担当課
25	保育所				保育支援課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
南保育所	692㎡	平成元年(1989年)	小柳保育所	626㎡	昭和46年(1971年)
北保育所	797㎡	昭和58年(1983年)	四谷保育所	568㎡	昭和47年(1972年)
東保育所	753㎡	昭和49年(1974年)	八幡保育所	658㎡	昭和48年(1973年)
西保育所	728㎡	昭和61年(1986年)	本町保育所	563㎡	昭和48年(1973年)
中央保育所	729㎡	昭和62年(1987年)	三本木保育所	1,185㎡	昭和49年(1974年)
北山保育所	840㎡	平成5年(1993年)	西府保育所	661㎡	昭和50年(1975年)
住吉保育所	677㎡	昭和45年(1970年)	美好保育所	659㎡	昭和50年(1975年)
朝日保育所	525㎡	昭和45年(1970年)	高倉保育所	1,668㎡ (建物全体 3,507㎡)	平成17年(2005年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後30年以上経過した施設が多く、大規模改修が必要な時期を迎えている。 ・高倉保育所は、複合施設「いきいきプラザ」内に設置され、建物の1、2階が高倉保育所、3～5階が介護予防推進センターとなっている。 				
運営(ソフト)					
設置目的	保育に欠ける乳幼児及び児童のために、良い環境及び指導を与え健全な心身の発育を促し、社会に適応するように育成して、その保護者とともに福祉を図るための施設				
機能	保育室及び遊戯室				
運営	高倉保育所は指定管理者制度を導入。社会福祉法人多摩養育園(平成23年4月1日～平成28年3月31日) →平成28年度より民設民営による運営 その他は直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・入所児童数は横ばいで、平成24年3月1日の入所児童数は1,739人である。なお、私立保育園は市内に27か所あり、平成24年3月1日の入所児童数は2,258人と増加傾向である。 ・待機児の解消は喫緊の課題であり、そのほとんどを0～2歳児が占めている。 ・「府中市行財政改革推進プラン」及び平成23年度事務事業点検における「市立保育所管理運営事業」の点検結果を踏まえ、民間活力の導入について検討を進めている。 				
検討の方向性 (短期)	・これまでの検討経過を踏まえ、民営化を検討する。なお、その際には現在の入所児や入所を希望する保護者への影響などを考慮しながら進める。				
短期スケジュール					
平成26年度	●民営化の対象施設の決定				
平成27年度	○決定事項に基づく取組の実施				
平成28年度	▽継続				
平成29年度	▽継続				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・保育及び子育てサービス提供体制の再構築 ・公と民の役割分担の明確化 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の保育行政のあり方に関する基本方針(平成26年1月策定)に基づき、市立保育所の再編に向けた取組を推進した。 ・北山保育所及び三本木保育所において、基幹保育所整備に向けた増築・改修工事を行い、平成29年10月から地域子育て支援センター「はぐ」を開設した。 ・基幹保育所整備に向けて、東保育所及び住吉保育所の基本・実施設計を行い、平成30年度から実施する機能強化に向けた工事の準備を進めた。 ・西保育所に基幹保育所として必要な機能の整備が行えないことが判明したため、都営住宅の建替えに伴い、同アパート内の敷地に新たな園舎を整備する住吉保育所を基幹保育所とすることとし、西保育所は、当面の間、必要な改修等を行い、市立保育所として現状の運営を継続することとした。 ・民間活力活用対象施設として位置付けた9か所の保育所について、具体的な取組内容を検討・実施した。南保育所においては、平成30年度の民間移管に向けて、移管先法人の公募等を行い、選定された法人と引継ぎや合同保育を実施したほか、建物譲渡等について関係課と調整を行った。朝日保育所・美好保育所・四谷保育所においては、定員枠調整方式により近隣の市立保育所と統合に向けた取組を実施した。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・市立保育所の再編に向けた取組(民間活力の積極的な活用と市立保育所の重点集約化)における、短期的期間の取組対象施設3か所(南、朝日、美好)の民間移行等に向けた準備を行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【下半期の取組状況】 ・市立保育所の再編に向けた入所定員の調整や、民間活力活用対象施設の修繕及び基幹保育所整備に向けた設計委託等の予算措置など、来年度に向けた準備を行った。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【上半期の取組状況】 ・民間活力の活用対象施設について、修繕及び基幹保育所整備に向けた設計委託等の優先順位付けなど、関係課と調整を行った。
	下半期	【下半期の取組予定】 ・市立保育所の再編に向けた入所定員の調整や、民間活力活用対象施設の修繕及び基幹保育所整備に向けた設計委託等の予算措置など、引き続き、来年度に向けた準備を行う。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【上半期の取組状況】 ・基幹保育所整備に向けた基本設計(東保育所、西保育所)及び増改築工事(北山保育所、三本木保育所)について関係課と調整を行った。 ・民間活力活用対象施設(南保育所)の民営化に向け、事業者の公募等を行った。 ・都営住宅の建替えに伴う住吉保育所の新築について基本設計を行った。
	下半期	【下半期の取組予定】 ・上半期の取組を引き続き行うとともに、市立保育所の再編に向けた入所定員の調整や、基幹保育所整備及び民間活力活用対象施設の民営化等に向けた予算措置など、来年度に向けた準備を行う。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【下半期の取組状況】 ・平成30年4月に民間移管を予定している南保育所の移管先法人候補者の選定を行い、事業者を決定した。 ・北山保育所及び三本木保育所の基幹保育所整備に向けた増改築工事を進めた。また、北山保育所、三本木保育所及び南保育所の移管に係る開設準備経費等や、東保育所及び西保育所の基幹保育所整備
	下半期	【来年度の取組予定】 ・基幹保育所整備に向けた設計委託等の予算措置や施設の統合を想定した入所定員の管理などを継続的に実施し、新たな再編に向けた準備を関係課と調整しながら進める。また、南保育所について、平成30年度からの民間移管を円滑に行えるよう引継及び合同保育を実施する。
平成29年度	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる
		【下半期の取組予定】 ・上半期の取組を引き続き行うとともに、東保育所及び住吉保育所の整備に向けた工事費等の予算措置など、来年度に向けた準備を行う。 ・市立保育所再編に向けた具体的な取組内容が決まっていない施設について、取組内容・スケジュール等の検討を行う。
平成29年度	下半期	【進捗状況】
		【下半期の取組状況】 ・基幹保育所の整備に向けて、東保育所の増築・改修及び住吉保育所の新築に伴う実施設計を進めるとともに、工事費等の予算措置を行った。 ・平成30年4月に民間移管を予定している南保育所の引継ぎや合同保育を引き続き実施するとともに、建物譲渡等について、関係課と調整を行った。 ・市立保育所再編に向けて、住吉保育所と四谷保育所の統合及び四谷保育所の廃止について決定し、実施に向けた準備を行った。

No.	施設名				担当課
26	幼稚園				学務保健課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
矢崎幼稚園	685㎡	昭和44年(1969年)	小柳幼稚園	711㎡	昭和50年(1975年)
みどり幼稚園	657㎡	昭和50年(1975年)			
特記事項	・3施設とも建築後35年以上経過し、老朽化が進んでおり、耐震補強は実施されているが、大規模改修が必要な時期を迎えている。				
運営(ソフト)					
設置目的	心身ともに健やかで感性豊かな幼児の育成を目指すとともに、家庭における子育てや基本的な生活習慣を身に付ける場としての教育活動を適当な環境によって、その心身の発達を図るための施設				
機能	保育室及び遊戯室				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・定員は各施設140人で、4、5歳児の2年保育を行っている。 ・平成24年5月1日現在の充足率(定員に対する入園児の割合)は60~80%と施設間で差があり、3施設合計では約70%、総園児数は297人で、近年横ばいの状況である。なお、私立幼稚園は市内に17か所あり、平成24年5月1日の入園所児童数は4,120人と市立と同様に横ばいの状況である。 ・平成15年度に設置された「府中市幼稚園教育検討協議会」において、『規模縮小が妥当である』旨の検討結果が出されている。 ・「府中市行財政改革推進プラン」では「認定こども園への移行や廃止に向けた検討を行い、平成25年度までに検討結果に基づいた見直しを進める」としている。 ・平成25年度事務事業点検における「市立幼稚園維持管理・整備事業」の点検結果を踏まえ、今後の取組方針を検討している。 				
検討の方向性 (短期)	・これまでの検討の経過や民間によるサービスの提供状況などを踏まえ、他の施設への転用を検討する。なお、その際には現在の入園児や入園を希望する保護者への影響などを考慮しながら進める。				
短期スケジュール					
平成26年度	●幼稚園の見直しスケジュールの検討、策定				
平成27年度	○スケジュールに基づく取組の実施				
平成28年度	▽継続				
平成29年度	▽継続				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が担うべき幼児教育のあり方の見直し ・公と民の役割分担の明確化 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に対する充足率の低下や施設の老朽化の状況などを踏まえ、平成27年度に教育委員会において、幼稚園を順次、縮小及び廃園することを決定した。 ・各園の廃止時期は、矢崎幼稚園が平成30年度末、小柳幼稚園が平成32(2020)年度末、みどり幼稚園が平成34年(2022)年度末とし、保護者等に向けた説明会を実施するほか、広報及びホームページなどで周知した。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・平成26年度末までに、公立幼稚園の今後の方向性について決定する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・子ども・子育て支援法施行に伴い、公立幼稚園新制度移行へ向け取り組んだ。 ・公立幼稚園3園を平成30年度から平成34年度までの間に廃園する方向性を決定した。
		【来年度の取組予定】 ・平成30年度から平成34年度までの間で、どの園から廃園していくか検討し、早急に取り組んでいく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・公立幼稚園3園について、縮小及び廃園する順番を決定した。 ・市民等に対し、縮小及び廃園する順番について、広報紙やホームページにて周知を図った。 ・在園児の保護者に対し、公立幼稚園3園にて、縮小及び廃園についての説明会を行った。
		【下半期の取組予定】 ・平成28年度入園児募集の際に、縮小及び廃園について周知を図っていく。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・新入園児保護者等に対し、公立幼稚園3園の縮小及び廃園の周知を図った。
		【来年度の取組予定】 ・市民や入園希望する保護者等に、縮小及び廃園について周知を図っていく。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園条例の改正等の準備を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・ホームページ等で市民や入園希望する保護者等に、縮小及び廃園について周知を図った。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園条例の改正等の準備を進めた。 ・廃園後の跡地利用について、関係課と調整を行った。
		【下半期の取組予定】 ・10月の入園希望者に縮小及び廃園について周知を行う。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園条例の改正等の準備を進める。 ・廃園後の施設利用又は解体等を勧告し、次年度にアスベスト調査を実施するための準備を進める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・途中入園及び次年度入園予定者に対し、縮小及び廃園について周知を行った。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園条例の改正等の準備を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・入園希望者及び予定者等に、縮小及び廃園について周知を行う。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園の管理運営に関する規則の改正を行う。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・途中入園及び次年度入園予定者に対し、縮小及び廃園について周知を行った。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園条例の改正等の準備を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・入園希望者及び予定者等に、縮小及び廃園について周知を行う。 ・縮小及び廃園に向けて、府中市立幼稚園の管理運営に関する規則の改正を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・入園希望者及び予定者等に、縮小及び廃園について周知を行った。 ・縮小及び廃園に向け、府中市立幼稚園の管理運営に関する規則の改正を行い、また同内容について東京都に報告を行った。 ・平成30年度の入園募集について、矢崎幼稚園は、1年保育のみの募集を行った。

No.	施設名				担当課
27	学童クラブ				児童青少年課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
第一学童クラブ	236㎡	平成元年(1989年)	住吉学童クラブ	299㎡	平成9年(1997年)
第二学童クラブ	481㎡	平成4年(1992年)	新町学童クラブ	211㎡	平成4年(1992年)
第三学童クラブ	297㎡	平成元年(1989年)	本宿学童クラブ	286㎡	平成元年(1989年)
第四学童クラブ	243㎡	平成2年(1990年)	白糸台学童クラブ	192㎡	平成2年(1990年)
第五学童クラブ	231㎡	平成2年(1990年)	矢崎学童クラブ	172㎡	平成2年(1990年)
第六学童クラブ	183㎡	平成2年(1990年)	若松学童クラブ	271㎡	平成4年(1992年)
第七学童クラブ	335㎡	平成9年(1997年)	小柳学童クラブ	292㎡	平成2年(1990年)
第八学童クラブ	384㎡	平成元年(1989年)	南白糸台学童クラブ	292㎡	平成2年(1990年)
第九学童クラブ	245㎡	平成7年(1995年)	四谷学童クラブ	254㎡	平成元年(1989年)
第十学童クラブ	308㎡	平成4年(1992年)	南町学童クラブ	211㎡	平成3年(1991年)
武蔵台学童クラブ	256㎡	平成4年(1992年)	日新学童クラブ	165㎡	平成2年(1990年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 現在の運用方法に基づく施設整備は平成元年以降のため、全ての施設が新耐震基準の建物である。 全部で22施設あり、第四、第六、若松及び南白糸台学童クラブ以外の施設は学校に併設されている。 				
運営(ソフト)					
設置目的	小学校低学年児童で、保護者等が労働等により昼間家庭にいない児童の健全育成を図るための施設				
機能	育成室、和室、湯沸室及び事務室				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> 入会希望の児童は全て受け入れており、待機児童は0人である。また、在籍児童数の推移は横ばいであり、平成24年4月1日の在籍児童数は1,659人である。 放課後の児童の自主性を尊重した「遊びの場、学びの場」の提供を目的に、学童クラブのほか、放課後子ども教室も実施している。学童クラブとは異なり、学年や保護者の就労等に関わらず、全児童を対象としている。平成24年度事務事業点検における「学童クラブ管理運営事業」の点検結果を踏まえ、学童クラブと放課後子ども教室の連携や差別化について検討している。 				
検討の方向性 (短期)	今後想定される対象者の拡大に備え、学校などの既存施設の活用や、指定管理者制度の導入を検討する。				
短期スケジュール					
平成26年度	●各種検討を行い、子ども子育て支援事業計画の策定				
平成27年度	○計画に基づく取組の実施				
平成28年度	▽継続				
平成29年度	▽継続				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な施設運営 既存施設の有効活用 				
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> 育成面積の不足に対応するため、学校の協力を得て府中第五小学校と府中第六小学校において授業終了後の空き教室を育成室として活用した。 平成30年度には、2つの学童クラブにおいて仮設建築物に係る予算を計上しており、今後も育成面積の確保に努める。 開館時間の延長について、職員体制など運営的な課題解決を図るため、平成30年度に子ども・子育て審議会に部会を設け国の放課後子ども総合プランの取組推進について議論する中で、併せて協議することとした。 学童クラブと放課後子ども教室の効果的な連携についても、前述の部会において協議する予定である。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月から学童クラブの対象児童が小学校6年生までに拡大され、小学校によっては、現在の学童クラブ施設の規模では、希望する全ての児童を受入れることができなくなる可能性がある。文部科学省からも学校施設を有効活用するよう通知が出されていることから、児童の健全育成に携わる地域の方、教育委員会、子ども家庭部が連携した、総合的な放課後児童対策を検討・協議する場の設置を進める。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童クラブの対象児童の拡大に係る事業量について、子ども・子育て審議会及び放課後プラン検討協議会で検討し、放課後子ども教室と連携して確保する計画を策定した。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的な放課後児童対策を検討・協議する場を設置し、学童クラブ及び放課子ども教室での学校施設の活用方策について検討する。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室と学童クラブの一体的な運営方策を検討する、検討組織の立ち上げ準備を実施。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一体的運営に必要な具体的な対応策を、新たに立ち上げた検討組織により行う。
平成27年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室と学童クラブの一体的運営に向けた連携方策について、各小学校の学校関係者、PTA、青少年団体、自治会等の代表者の方と意見交換を行った。また、具体的な対応策を協議するための組織立ち上げについて、引き続き検討した。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに設置する検討組織において、放課後子ども教室と学童クラブの一体的運営に向けた連携方策について協議する。 第五小学校、第六小学校において、学童クラブの児童数増の対応として、授業終了後の学校施設を活用する。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第六小学校の学校施設を学童クラブ育成室として活用するため、所要の改修を行った。 第五小学校の増築される教室について、学童クラブ育成室として活用するため、利用方法を学校と確認した。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに設置する検討組織において、放課後子ども教室と学童クラブの一体的運営に向けた連携方策について協議する。 第五小学校、第六小学校において、学童クラブの児童数増の対応として、授業終了後の学校施設を活用する。また、同じ学校敷地内にある放課後子ども教室と更なる連携を行う。
平成28年度	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童クラブの児童数増加への対応として、第五小学校、第六小学校で、授業終了後の学校施設を借用し、育成室として活用することができた。学童クラブ又は放課後子ども教室を利用して、合同イベントを実施する学校を増やすことができた。
		<p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童クラブと放課後子ども教室の一体的な運営の方向性について、平成29年度に設置する放課後プラン検討会議において検討を行うこととした。また、一体的な運営における具体的な課題を解決するため、職員による課題検討会を設置するとともに、何校かの小学校で一体的な運営を試行する。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>概ね計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後プラン検討会議の開催までには至らなかったが、学童クラブと放課後子ども教室における職員、スタッフによる打合せ会を開催することにより、合同イベントや連携した取り組みを実施することができた。 学童児童の増加に伴う施設の狭あい化については、第一小学校、第五小学校、第六小学校で学校施設を借用し、育成室として活用することができた。しかし、学校自体の児童数増加に伴う課題が発生しているため、仮設建築物等の対応を検討する必要がある。
		<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学童クラブと放課後子ども教室の連携に伴う課題を整理し、施設面での課題に対応するため、必要に応じ学校と協議を重ねていく。併せて、今後の学童クラブと放課後子ども教室の方向性について、検討会議などにより、協議していく。 学童クラブの狭あい化への対応として、国が示す育成面積を満たしていない学童クラブについては、学校施設の借用や仮設建築物の設置などを含め検討していく。
	下半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に育成面積の不足に対応するため、仮設建築物を建設予定であるが、育成面積の確保が急務である学童クラブが所在する学校と、建物完成までの間の対応について、協議を行った。 放課後プラン検討会議を平成30年2月に開催し、様々な立場の委員から意見を聴取した。このことを踏まえ、市民ニーズに即した学童クラブと放課後子ども教室との連携策を平成30年度に開催予定の子ども・子育て審議会部会において協議することとした。

No.	施設名	担当課
28	ふれあい会館	地域福祉推進課・(財産活用課)
建物(ハード)		
延床面積	2,409㎡	
しゅん工年度	平成2年(1990年)	
特記事項	—	
運営(ソフト)		
設置目的	市民及び市内の団体に福祉活動の場を提供することによって市民福祉の増進を図るための施設	
機能	事務室(府中市シルバー人材センター及び府中社会福祉協議会)、相談室、会議室、作業室及び、活動室	
運営	【指定管理者】社会福祉法人府中市社会福祉協議会(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→社会福祉法人府中市社会福祉協議会(平成28年4月1日～平成30年3月31日)	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの団体の事務室としての利用が主となっている施設である。 ・会議室は福祉活動を目的としている市民及び団体が使用でき、福祉団体は市に登録することにより無料で利用することができる。 ・有料で会議室が利用された件数は、全体の10%程度である。 	

検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の施設の活用や今後の更新費用の削減などの観点から、処分を検討する。なお、機能については他の施設での対応を検討する。
----------------	--

短期スケジュール	
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定
平成28年度	○方針に基づく取組の実施
平成29年度	▽継続
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保

取組結果	目標を達成できた(完了)
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、施設の活用や今後の更新費用の観点から、施設の処分を検討し、機能については、平成30年3月31日をもって、旧保健センター分館に移転することとした。なお、移転に伴う機能の見直しにより、ふれあい福祉相談室は廃止することとした。また、会議室については、利用対象者を拡大し、福祉活動を行う市民及び団体以外の者も利用できることとした。

取組状況	
平成26年度	【下半期の取組予定】 ・施設における必要な機能の検証を行い、処分の可能性を検討する。 ・今後の検討状況を踏まえながら必要な維持管理を実施し、機能の維持を図る。
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・施設として現在必要とする機能(事務室及び会議室機能)及び今後の福祉団体の活動支援に必要とされる機能の内容について検討を行うとともに、福祉団体として登録している団体を対象にアンケート調査を行い、各団体の利用実態を確認した。また、設備の老朽化に対応するため、会議室の空調設備の交換を実施した。 【来年度の取組予定】 ・「府中駅周辺施設の再編(モデル事業)」に関する検討状況を踏まえ、具体的な取組を進める。また、引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図る。
平成27年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・「府中駅周辺施設の再編(モデル事業)」に関する検討状況を踏まえ、平成28年度以降の指定管理者候補者の選定手続きを行った。 【下半期の取組予定】 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」を踏まえ、具体的な検討を進める。また、引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図る。
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」に関する検討状況を踏まえ、平成28年度以降の指定管理者候補者の選定手続きを行った。 【来年度の取組予定】 ・旧保健センター分館への移転に向け、具体的な検討を進める。また、引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図る。
平成28年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・旧保健センターへの移転に向けて、事務所使用団体である府中市社会福祉協議会、(社)府中市シルバー人材センターと移転後の事務所利用等について意見交換を行った。 ・ふれあい会館利用者に対し、移転の方針を周知した。 【下半期の取組予定】 ・引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図る。 (財産活用課:機能移転後のふれあい会館について、その後の活用を検討する。)
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・平成29年第1回市議会定例会において、府中市立ふれあい会館条例の一部を改正する条例が成立し、ふれあい会館が平成30年度から旧保健センター分館へ機能移転することが決定した。既存施設について機能維持を行うとともに、事務室使用団体と調整するなど、機能移転のための準備を行った。 (財産活用課:ふれあい会館機能を移転した後の既存施設の新たな利活用に向け、実際の活用や事業参画を想定する事業者との対話を通じ、市場性を把握するとともに、事業手法及び活用方針の検討並びに公募資料等に反映すべき事項の整理を行うため、サウンディング型市場調査を実施した。) 【来年度の取組予定】 ・引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図る。 ・機能移転のための準備を引続き行う。 (財産活用課:サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、ふれあい会館の機能を移転した後の既存施設の速やかな利活用に向けた取組を進める。)
平成29年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・平成30年4月の機能移転に向けて、事務所使用団体と調整を行うなど準備を行うとともに、引き続き必要な維持管理を実施し、施設機能の維持を図った。 (財産活用課:サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、土地の売却を市が行うことによる対象敷地周辺に与える影響等を考慮の上、検討を進め、土地については市として活用を図り、建物については、解体・撤去する方針とした。) 【下半期の取組予定】 ・指定管理者候補者の選定を行うなど、移転後の施設における運営に向けた取組を進める。 ・機能の移転について、利用者や市民に向けて周知を行う。 (財産活用課:建物の解体設計を行う。)
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・移転後の施設における指定管理者として社会福祉協議会を指定した。 ・機能移転について、利用者や市民に向けて周知を行った。 (財産活用課:建物の解体設計を行った。)

No.	施設名	担当課
29	介護予防推進センター	高齢者支援課
建物(ハード)		
延床面積	1,838㎡(建物全体3,507㎡)	
しゅん工年度	平成17年(2005年)	
特記事項	・「いきいきプラザ」内の3～5階部分を介護予防センターとして使用している。1、2階部分は高倉保育所(平成28年度からは、私立 光明高倉保育園)である。	
運営(ソフト)		
設置目的	高齢者に介護予防に関する事業を実施することにより、高齢者の健康の保持及び増進を図るための施設	
機能	リハビリルーム、いきいきハウス、研修室、交流サロン及びゆうゆうルーム	
運営	【指定管理者】社会福祉法人多摩養育園(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→社会福祉法人多摩養育園(平成28年4月1日～平成33年3月31日)	
現状 (策定当初)	・利用者は増加傾向にあるが、事業の対象者(介護保険の認定を受けていない65歳以上の者)のうち、介護予防教室に参加している者の割合は実人数で約10%である。 ・平成24年度の事務事業点検における「介護予防推進センター管理運営事業」の点検結果を踏まえ、魅力ある教室メニューの提案と参加者の増加を図るほか、事業効果の検証を継続的に実施している。	
検討の方向性 (短期)	・利用者数の指標以外でも施設設置による効果を数値で示し、施設のあり方を検討する。 ・利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○施設評価の手法の検討	○利用者数や収入の増加に向けた方策の検討、実施
平成27年度	▽継続	▽継続
平成28年度	▽継続	▽継続
平成29年度	●多角的な視点による施設評価の実施	▽継続
期待する 主な効果	・中長期的取組を見据えた課題の洗い出し ・利用者数や収入の増加	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・平成24年度から「介護予防事業評価」を実施しており、教室参加の有無による要介護・要支援認定を受ける割合を比較することで、介護予防の取組の効果を評価した。 ・事業で実施していない時間帯の諸室の一般貸出を新たに行った。 ・平成29年度をもって利用率が低くなっている「いきいきハウス」の機能を廃止した。廃止後の当該スペースの活用策として、利用者数の増加に向けた新たな教室の開催を検討した。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・平成24年度から実施している「介護予防事業評価」を引き続き実施し、施設の設置による効果を数値で示すとともに、数値の信頼度を上げていく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・介護予防事業評価について、指定管理者において作成するよう指示した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・介護予防教室に参加した方が参加しない方より、要介護認定率が低いことは既に検証されているが、今後も事業評価を継続し、信頼度を上げていく。 ・平成29年4月までに導入する予定の総合事業の検討に併せ、より効率的・効果的な運営を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・平成26年度の介護予防事業評価について、指定管理者から報告があり、平成27年度も引き続き実施した。 ・介護保険法改正に伴う介護予防事業のあり方を、地域包括支援センターを含め、市全体として検討をした。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・介護予防教室が市民の介護予防の促進という面で、高齢者自身の日常生活の中でどれだけ効果があったのか分析・評価するため、引き続き、介護予防事業評価の実施を行う。 ・平成28年度以降の介護予防事業のあり方を、引き続き検討するとともに、より効果的かつ効率的な施設運営について検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・介護保険法改正に伴う介護予防事業のあり方を、地域包括支援センターを含め、市全体として検討をした。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・今後も介護予防事業評価を継続し、信頼度を上げていく。 ・平成29年4月に導入する総合事業の検討に併せ、介護予防推進センターのより効率的・効果的な運営を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・介護保険法改正に伴う介護予防事業のあり方を、地域包括支援センターを含め、市全体として検討をした。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・介護予防教室が市民の介護予防の促進という面で、高齢者自身の日常生活の中でどれだけ効果があったのか分析・評価するため、引き続き、介護予防事業評価の実施を行う。 ・平成29年度からの総合事業への移行開始に合わせて、介護予防事業のあり方を引き続き検討するとともに、より効果的かつ効率的な施設運営について検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・介護予防事業評価を実施した。 ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施に併せて、介護予防推進センターの事業については、住民主体の要素を含んだものすることや、地域包括支援センターでの介護予防教室についても住民主体の活動への移行を促すものとした。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・介護予防事業評価を継続し、これまでの事業の効果を検証するとともに、今後の効率的かつ効果的な介護予防事業のあり方を検討していく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・介護予防・日常生活支援総合事業の開始に合わせて、自由に参加できる講座「毎身体操」の内容を見直すとともに、3か月教室の開講数を増やした。毎身体操のプログラムのうち人気が高いものを、専門職員による指導で安全にじっくりと取り組めるプログラムとして提供するため、3か月教室として実施した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・介護予防教室が市民の介護予防の促進という面で、高齢者自身の日常生活の中でどれだけ効果があったのか分析・評価するため、引き続き、介護予防事業評価の実施を行う。 ・平成30年度に向けて、指定管理者の自主性を高め利用者数や収入の増加につながる方策を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・介護予防事業評価を実施した。 ・指定管理者との基本協定を見直し、教室や講座を自主事業に位置付けた。 ・「いきいきハウス」の機能を廃止し、施設の有効活用の検討を行った。

No.	施設名				担当課
30	特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター				高齢者支援課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
特別養護老人ホーム よつや苑	4,542㎡	平成3年(1991年)	しみずがおか高齢者 在宅サービスセンター	2,898㎡ (建物全体4,468㎡)	平成6年(1994年)
特別養護老人ホーム あさひ苑	6,636㎡	平成5年(1993年)			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・管理に多大な費用を要する建物(構造・設備ともに)となっているため、改修は大規模なものになると見込まれる。なお、365日、24時間利用者がいる特別養護老人ホームは、大規模改修の際、仮設建物の必要性などの検討が必要である。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターは、平成13年度に既存建物の用途を変更し、活用を図った施設である。 				
運営(ソフト)					
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム:常時の介護を必要とし、かつ、居宅においてこれを受けることが困難な高齢者を入所させるための施設 ・高齢者在宅サービスセンター:在宅の高齢者に各種のサービスを提供することにより、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図るための施設 				
機能	よつや苑とあさひ苑は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターの機能を有している。				
運営	<p>【指定管理者制度】(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→(平成28年4月1日～平成33年3月31日)</p> <p>よつや苑(社会福祉法人正吉福祉会)→(社会福祉法人正吉福祉会)</p> <p>あさひ苑(社会福祉法人多摩同胞会)→(社会福祉法人多摩同胞会)</p> <p>しみずがおか高齢者在宅サービスセンター(社会福祉法人府中市社会福祉協議会)→(社会福祉法人府中市社会福祉協議会)</p>				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第5期)」において、「公設の特別養護老人ホームのあり方について検討」することとなっている。 ・「府中市行財政改革推進プラン」において、特別養護老人ホームよつや苑・あさひ苑(高齢者在宅サービスセンターを含む。)は、「民間事業者への譲渡の効果や必要性を検討」することとなっている。 ・あさひ苑は、都の土地を借用し、府中市、三鷹市及び調布市の3市で運営している。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム(高齢者在宅サービスセンターを含む。)の譲渡について検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○施設の譲渡について検討				
平成27年度	●施設の譲渡に関する考え方を取りまとめる				
平成28年度	○検討結果に基づく取組の実施				
平成29年度	▽継続				
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公と民の役割分担の明確化 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<p>各施設の今後の方向性について、次のとおり定めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームよつや苑:譲渡の方向性を定め、実施に向けて手法の検討を進めた。 ・特別養護老人ホームあさひ苑:土地が借地であり、また、府中市、三鷹市及び調布市の三市で運営していることから、施設譲渡は困難であると判断し、現状維持することとした。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンター:民間事業所の整備に伴う稼働率の低下や設備等の老朽化の状況などから、平成32(2020)年度末をもって廃止することとした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・施設を譲渡する場合に次期指定管理者が最有力候補となることから、施設譲渡の検討を踏まえた事業計画書の提出を条件に付した指定管理者募集要項等を、10月までに作成する。 ・施設運営に関する協定を締結している他市及び併設施設の担当課等の関係機関と調整を進める。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・施設譲渡が検討されている施設である旨を記載した指定管理者募集要項等を作成し、次期指定管理者を募集した。 ・施設運営に関する協定を締結している他市及び併設施設の担当課等の関係機関と調整を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・次期指定管理者決定後、施設譲渡に係る協議を進める。 ・特別養護老人ホームあさひ苑は、東京都から土地を取得することが施設譲渡の条件であることから、可能か否かについて、東京都、施設運営に関する協定を締結している他市及び関係各課と調整を進める。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・次期指定管理者候補者に施設譲渡に関する意向調査を行った。 ・現時点における部の施設譲渡に関する方針を作成した。 【下半期の取組予定】 ・次期指定管理者決定後、施設譲渡に係る具体的な協議を進める。 ・部の施設譲渡に関する方針に基づき、関係部署と調整を進める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・次期指定管理者と施設譲渡に係る打合せを行った。 ・現時点における指定管理者の施設譲渡に対する考え方について、次のとおり取りまとめた。 (特別養護老人ホームよつや苑:施設譲渡の方向性で協議する。特別養護老人ホームあさひ苑:施設譲渡は行わないものとする。しみずがおか高齢者在宅サービスセンター:施設譲渡も含めた様々な方法を検討する。) 【来年度の取組予定】 ・引き続き、指定管理者(特別養護老人ホームよつや苑、しみずがおか高齢者在宅サービスセンター)と施設譲渡に係る具体的な協議を進める。 ・関係部署と連携しながら、施設譲渡に関する方法を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・平成27年度末時点で取りまとめた施設譲渡に対する考え方に基づき、指定管理者(特別養護老人ホームよつや苑、しみずがおか高齢者在宅サービスセンター)と施設譲渡等に係る打ち合わせを行った。 ・関係部署(東京都施設支援課、政策課、財政課、建築施設課、財産活用課)の担当に対し、補助金交付や施設譲渡などに関する相談を行った。 【下半期の取組予定】 ・引き続き、指定管理者(特別養護老人ホームよつや苑、しみずがおか高齢者在宅サービスセンター)と施設譲渡等に係る具体的な協議を進める。なお、協議に当たっては、関係部署と調整の上、進めていくものとする。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、指定管理者と協議した結果、施設譲渡は困難であるものと判断し、用途を廃止する方向性を指定管理者に伝えた。 ・特別養護老人ホームよつや苑の民間への譲渡について関係機関等と協議し、施設の老朽化に伴う課題等があることから、現時点で具体的な実施時期や手法について決定することは困難だが、引き続き実施に向けた様々な手法の検討を進めていくものとした。 【来年度の取組予定】 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、用途廃止に向けて市内部の意思決定手続等を進めるとともに、指定管理者と今後の運営方法等の協議を行う。 ・特別養護老人ホームよつや苑については、引き続き譲渡の実施に向けた具体的な手法や課題解決のための方策に関して関係部署と協議を進める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、用途廃止に向けて市内部の意思決定手続を進めているとともに、指定管理者に対し、今後のスケジュール、運営方法等について協議を行っていくことを伝えた。 ・特別養護老人ホームよつや苑については、指定管理者に対し、引き続き譲渡の実施に向けた現状の確認を行った。 【下半期の取組予定】 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、市内部の意思決定手続の終了後、市議会への報告を行うとともに、利用者等への説明を行っていく。 ・特別養護老人ホームよつや苑については、引き続き譲渡の実施に向けた具体的な手法や課題解決のための方策に関して関係部署と協議を進める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、平成32(2020)年度末で廃止する方向性を庁議で説明し、市議会への報告を行った。その後、利用者に対し廃止の周知を行うとともに、説明会を開催した。 ・特別養護老人ホームよつや苑については、譲渡の実施に向けて、大規模土地を確保した場合に移転を前提とした譲渡の手法について、指定管理者と協議を行った。

No.	施設名	担当課
31	心身障害者福祉センター「きずな」	障害者福祉課
建物(ハード)		
延床面積	3,585㎡	
しゅん工年度	昭和57年(1982年)	
特記事項	・建築後30年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
運営(ソフト)		
設置目的	心身障害者の文化教養の向上を図るとともに、その社会参加と自立を助長することにより、心身障害者の福祉を増進するための施設	
機能	地域生活や就労支援、機能訓練の場及び子ども発達支援センター	
運営	【指定管理者】社会福祉法人府中市社会福祉協議会(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→社会福祉法人府中市社会福祉協議会(平成28年4月1日～平成33年3月31日)	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者地域生活・就労支援事業「み～な」、通所訓練事業及び子ども発達支援センター事業「あゆの子」、いずれの事業も利用者は横ばいである。 ・利用者数は横ばいであるが、障害者手帳を所持している市民の数は増加傾向にあり、今後も一定の利用は見込まれる。 ・平成24年度事務事業点検における「心身障害者福祉センター管理運営事業」の点検結果を踏まえ、事業内容の明確化などを検討している。 	
検討の方向性 (短期)	・委託事業者の選定方法については、更なるサービスの向上と効率的な事業運営が進められるよう検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○委託事業者の選定に関する検討	
平成27年度	●検討に基づく実施	
平成28年度	○実施による効果の確認	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・提供サービスの向上 ・効率的な施設の運営 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会及びモニタリングの実施により、効率的・効果的な運営を図った。 ・サービスの向上と効率的な事業運営に向けて指定管理者の選定を行った。 ・空気調和設備のリース化による維持管理コストの平準化を図った。 ・施設の改修工事(外壁・屋上床面)を実施することで、老朽化に対応した。 ・子ども発達支援センター(あゆの子)の利用者の増加に関しては、一部の機能をしみずがおか高齢者在宅サービスセンターに移すこと等により対応した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・次期指定管理者の選定に関する方針を策定する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・次期指定管理者候補者選定委員会を開催し、次期指定管理者候補者の選定を行った。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・引き続き、次期指定管理者候補者選定委員会を開催し、次期指定管理者を決定する。 ・次期指定管理者の指定、覚書・協定書の締結、指定管理業務の引き継ぎを行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・次期指定管理者候補者選定委員会を開催し、次期指定管理者候補者を選定した。 ・次期指定管理者候補者と覚書を締結した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・次期指定管理者の指定、協定書の締結及び指定管理業務の引き継ぎを行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・次期指定管理者の指定、協定書の締結及び指定管理業務の引き継ぎを行った。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・指定管理者の定期及び通期モニタリングを実施し、業務の改善、指導等を行った。 ・運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的・効果的な運営を検討した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・引き続き、運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的・効果的な運営を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的かつ効果的な運営を検討した。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・施設の改修工事(外壁、屋上床面)に向け、準備を進めた。 ・指定管理者の定期モニタリングを実施し、業務の改善、指導を行った。 ・運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的・効果的な運営を検討した。 ・子ども発達支援センター(あゆの子)の利用者の増加に対応するため、児童発達支援事業(通園)については、今後のニーズや必要となる規模の把握に努めるほか、相談事業や外来指導については、しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの一部を利用して実施した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・施設の改修工事(外壁、屋上床面)を行う。 ・引き続き、運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的な運営を検討する。 ・子ども発達支援センターの利用者の増加に対応するため、引き続き、今後の運用等を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・施設の改修工事(外壁、屋上床面)を実施した。 ・運営委員会において、心身障害者福祉センターのより効率的かつ効果的な運営を検討した。 ・子ども発達支援センターの利用者の増加に対応するため、引き続き、今後の運用等を検討した。

No.	施設名	担当課
32	保健センター	健康推進課
建物(ハード)		
延床面積	3,679㎡	
しゅん工年度	昭和52年(1977年)	
特記事項	・耐震診断の結果、「耐震性能あり。」との結果が出ているが、建築後 30年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るための施設	
機能	休日夜間診療、健康推進事業及び母子保健事業	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターで直接実施していた総合健康診査(人間ドック)を平成24年度末で廃止し、受診料の助成に事業内容を変更した。 ・健康増進事業の利用を一層促進し、健康づくり支援の更なる充実を図るため、トレーニング室を健康増進室に変更し、健康情報発信の場として保健師や栄養士による生活相談、栄養相談などを行っている。 ・健康増進室(旧トレーニング室)は、年間約1万5千人が利用している。 	
検討の方向性 (短期)	・健康増進室は利用者数以外でも評価を行い、コストとサービスのバランスを検証し、改善方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・機能(健康増進室)の再評価 ・効率的な業務の実施 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年1月に保健センター分館から機能を移転・統合し、事務の効率化を図った。 ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、健康増進室の運用を見直し、トレーニング機器の一部を撤去したスペースを活用して、運動機器に頼らないトレーニングメニューを導入し、順調に定着している。さらに、新たに母子を対象とした事業も実施した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・健康増進室の客観的な評価手法を検討する。 ・平成27年1月に、保健センター分館から成人保健係及び母子保健係の事務室を移転し、事務の効率化を図る。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・平成27年1月に、保健センター分館から成人保健係及び母子保健係の事務室を移転し、事務の効率化を図った。 ・健康増進室の利用促進を図るため、運動プログラムの見直しを行った。 【来年度の取組予定】 ・健康増進室の利用促進を図りつつ、利用状況を見ながら必要に応じて見直しを行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・健康増進室の活用について、健康推進課内で検討会(プロジェクトチーム)を設置。 ・7月 市民アンケートの実施(実施場所:保健センター・中央図書館・中央文化センター 回答:543名) ・検討会:4回 勉強会:1回 市民意見交換会:1回 実施 【下半期の取組予定】 ・検討会(5回程度) 市民意見交換会(3回程度) (先進事例視察(未定)) 実施予定 ・見直し策の検討
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・健康増進室の今後の活用に関する取組を次のとおり行った。 ○専門家(保健計画推進協議会)の意見聴取(2回)、○検討会の実施(5回)、○建築施設課との協議(2回)、○先進事例視察実施(2箇所・3回)、○市民意見交換会の実施(3回) 【来年度の取組予定】 ・健康増進室の今後の活用について、次のとおり取組を進める。 ○新たな健康増進事業(運動プログラム)市民協働研究会(2回)、○多彩な世代を対象としたモデル事業の実施、○運動機器の一部撤去
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・健康増進室の今後の活用に関する取組を次のとおり行った。 (市民意見交換会の実施 1回、課内検討会の実施 5回、建築施設課との協議 1回、委託事業者との打合せ 3回、運動機器の一部撤去と運動機器の配置の見直し、新たな内容の運動指導の導入、母子を対象とした事業のモデル実施 1回) 【下半期の取組予定】 ・健康増進室の今後の活用に関する取組を次のとおり進める。 (新たな内容の運動指導の実施、市民との意見交換会 1回、多彩な世代を対象とした事業実施の検討)
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・運動機器の一部撤去により、フリースペースを拡大し、新たな運動指導の導入を行った。 【来年度の取組予定】 ・健康増進室の今後の活用に関する取組を次のとおり進める。 (健康増進室の施設改修工事の実施、病態別運動指導・選択トレーニングメニューの実施。)
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・健康増進室について、施設改修工事を開始した。また、体育指導員を配置し、運動機器に頼らないトレーニングメニューを導入したほか、母子を対象とした事業を実施した。 【下半期の取組予定】 ・健康増進室について、施設改修工事を完了する。また、運動機器に頼らないトレーニングメニューを充実させるほか、母子を対象とした事業を継続実施する。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・健康増進室の施設改修工事が9月に完了した。新たなトレーニングメニューについて、利用者に定着してきている。また、母子を対象とした事業を引き続き実施した。

No.	施設名	担当課
33	旧保健センター分館	健康推進課→財産活用課・(地域福祉推進課)
建物(ハード)		
延床面積	1,978㎡	
しゅん工年度	昭和50年(1975年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断の結果、「耐震性能あり。」との結果が出ているが、建築後 35年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。 ・旧府中小金井保健所の建物を活用した施設である。 	
運営(ソフト)		
設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るための施設	
機能	成人保健事業及び母子保健事業	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診の実施や健康教育などを実施している。 ・施設には事務室や検査室などが設置されており、貸し館機能は有していない。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターへの統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・様々な活用による歳入の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、保健センターへ機能を移転した跡施設の活用について、検討を進めた。跡施設には、ふれあい会館機能を移転することとし、移転に伴う大規模改修を実施した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年1月に、保健センター分館から成人保健係及び母子保健係の事務室を移転し、事務の効率化を図る。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年1月に、保健センター分館から成人保健係及び母子保健係の事務室を移転し、事務の効率化を図った。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活用方針を決定するまでの間、行政による暫定的な活用を図る。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暫定的な活用で、選挙関係作業場所、平成27年国勢調査の事務室や説明会場所としての活用ができた。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活用方針を決定するまでの間、行政による暫定的な活用を図る。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度国勢調査説明会・作業事務室や、選挙関係作業事務室として活用を図ることができた。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員等の会議スペース・作業事務室として暫定的な利用を行う。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員等の会議スペース・作業事務室や、選挙関係作業事務室として活用を図ることができた。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員等の会議スペース・作業事務室として暫定的な利用を行う。 (地域福祉推進課：ふれあい会館機能の移転に伴う、施設改修のため、設計、アスベスト調査等を行う。)
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員等の会議スペース・作業事務室として活用を図ることができた。 (地域福祉推進課：ふれあい会館機能の移転に伴う、施設改修のため、設計、アスベスト調査等を行った。) <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会館機能の移転に伴う施設改修までの間、引き続き職員等の会議スペース・作業事務室として暫定的な利用を行う。 (地域福祉推進課：ふれあい会館機能の移転に伴う、施設改修工事を行う。)
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】(財産活用課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月まで職員等の会議スペースとして利用を行った。 ・ふれあい会館機能の移転に伴う改修工事の準備を進め、8月から工事に着手した。 <p>【下半期の取組予定】(地域福祉推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事完了後、備品の搬入などふれあい会館機能を移転するための最終的な準備を行う。
		<p>【進捗状況】</p> <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事が完了したため、ふれあい会館機能を移転するための必要な準備を行った。

No.	施設名				担当課
34	市営住宅				住宅勤労課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
第一武蔵台住宅	3,861㎡	平成9年(1997年)	第十一美好町住宅	2,871㎡	平成20年(2008年)
第二矢崎町住宅	4,449㎡	平成2年(1990年)	第十二北山町住宅	2,682㎡	平成22年(2010年)
第二の二本町住宅	766㎡	昭和41年(1966年)	第十三四谷住宅	3,157㎡	平成14年(2002年)
第三本町住宅	3,664㎡	平成5年(1993年)	第十四分梅町住宅	1,112㎡	昭和44年(1969年)
第四栄町住宅	4,080㎡	平成6年(1994年)	第十五四谷住宅	934㎡	昭和45年(1970年)
第五是政住宅	2,641㎡	平成7年(1995年)	第十六小柳町住宅	1,099㎡	昭和46年(1971年)
第六若松町住宅	1,638㎡	平成17年(2005年)	第十七小柳町住宅	1,099㎡	昭和47年(1972年)
第七西府町住宅	1,984㎡	平成24年(2012年)	第十八小柳町住宅	1,204㎡	昭和48年(1973年)
第八新町住宅	2,353㎡	平成10年(1998年)	第十九分梅町住宅	1,216㎡	昭和49年(1974年)
第九新町住宅	1,489㎡	平成11年(1999年)	第二十是政住宅	1,020㎡	平成元年(1989年)
第十南町住宅	2,355㎡	平成8年(1996年)			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・旧耐震基準に基づいて設置された多層構造の施設については耐震診断の結果、全施設において耐震性能を有しているとの評価を得ているが、一部施設の老朽化は進んでいる。 ・施設全体では637戸を整備している。 				
運営(ソフト)					
設置目的	市民の居住環境の向上と生活を目的とし、一定の基準を満たす世帯向けに整備、供給するための施設				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般募集と障害者世帯割当募集があり、それぞれ空き家が生じた場合に年に1度、入居者を募集し、応募者が空き家の戸数を上回った場合は、抽選により入居者を選定している。常に空き家の戸数を上回る応募状況となっている。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地及び駐車場の更なる活用のため、コインパーキングなど民間への貸付けを検討する。 ・施設の維持管理について、直営以外の手法による効果を検証し、改善策を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○施設の活用について検討		○維持管理の手法の検討		
平成27年度	▽継続		▽継続		
平成28年度	●施設の活用に関する方針の決定		●施設の維持管理に関する民間活力の導入の可否について決定		
平成29年度	○方針に基づく取組の実施		○方針に基づく取組の実施		
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入による効率的な施設運営 ・効率的な施設管理 				
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の空き区画の活用として、入居者以外の者の介護等を目的とした月極の利用を可能とし、利便性の向上を図った。 ・直営以外の維持管理の手法について、民間団体と管理代行業務等の実現可能性の検討を進めた。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・維持管理に係る民間活力の導入について、先行事例の研究を行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・市営住宅の管理委託や駐車場の民間活用については管理実績のある事業者への聞き取りや先進市への視察を行い、導入時の問題点や利用状況、今後の課題等について情報を収集した。
		【来年度の取組予定】 ・引き続き、先行事例の研究を行いつつ、平成26年度の取組を踏まえて課題の整理を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・駐車場の空き区画をコインパーキング化することの可能性について、事業者にヒアリングを行った。
		【下半期の取組予定】 ・駐車場の空き区画については、入居者以外への月極貸付についても検討を行う。 ・市営住宅の管理委託について、多摩地区の先進市への視察を行う。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・市営住宅の管理委託の手法について、検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・早期に管理委託に係る先進市への視察等を行うとともに、短期の方向性の決定に向けて検討を進める。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・駐車場の更なる活用として、コインパーキング等としての活用は、困難であると判断し、駐車場の空き区画については、入居者の介護等を目的とした入居者以外の方への月極貸付を可能とした。
		【下半期の取組予定】 ・駐車場利用の拡充については、今後周知を行う。 ・市営住宅の管理委託の手法については、先進市への視察を行い、様々な角度から短期の方向性の決定に向けて検討を進める。
	下半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・駐車場利用の拡充について各市営住宅内掲示板での案内、各戸への個別郵送で周知を図った。 ・市営住宅の管理委託の手法について、先進市への視察を12月に行い、管理委託のメリット等の検討を進めた。
		【来年度の取組予定】 ・市営住宅の管理委託の手法につき、引き続き様々な角度から方向性の決定に向けて検討を進める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・市営住宅の管理委託の手法について、方向性の決定に向けて検討を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・市営住宅の民間活力導入に向け、管理代行業務受託等の実現可能性を図っていく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市営住宅の民間活力導入に向け、民間団体と管理代行業務受託等の実現可能性の検討を進めた。

No.	施設名	担当課
35	市民保養所「やちほ」	住宅勤務課
建物(ハード)		
延床面積	2,443㎡	
しゅん工年度	昭和60年(1985年)	
特記事項	・建築後まもなく30年を迎える施設であり、大規模改修が必要な時期が迫っている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民に休養の場を提供し、健康の増進を図るための施設	
機能	客室(和室12室、洋室1室)、浴室(展望風呂、貸切風呂)、食堂及び交流広場	
運営	【指定管理者】西洋フード・コンパスグループ株式会社(平成25年4月1日～平成30年3月31日)	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は年間約6千人で、ピーク時の平成4年度と比較して半数程度となっている。 ・利用者の大人と子どもの割合は、8:2と大人の利用者が多数を占める。 ・宿泊場所の提供だけでなく、指定管理者の自主事業として、周辺の自然を生かした宿泊付きのバスツアーや、宿泊及び送迎込の合宿(研修)プランなど様々な企画及び宿泊プランを用意し、利用者数の増加を図っている。 	
検討の方向性 (短期)	・利用者数や収入の増加に向けた方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○利用者数や収入の増加に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・利用者数や収入の増加	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による、年間を通じた保養所周辺の観光地めぐりやスキーパックをメニューにした宿泊付きバスツアーの実施や、利用者アンケートによる意見・要望への対応などにより、利用者に安定的かつ質の高いサービスを提供することができた。また、市民優先予約後のインターネット予約や旅行サイトの活用による市外利用者の取り込みなど、利用者の増加に努めた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している改修工事後の再開に向けて、食事やツアー等の見直しを進める。
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事については、3種類ある夕食のメニュー及び和洋の2種類ある朝食メニューのみならず、特別料理についても新メニューの導入を含む見直しをした。また、ツアーについては、内容はもちろん、実施の回数、時期から再検討した。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に検討したものを実際に実施し、アンケート等で反応を見て、その結果に基づき対応を検討する。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事、飲物、売店について、既存商品の見直し、新商品の開発を進めた。また、ツアーについては今年でなければできないものを企画し、多くの参加を頂き、好評であった。また、近隣の話題の場所(世界遺産登録)への見学を組み込んだツアーを企画した。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートから、見直しを進める。
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートを行い、見直しを進めるとともに、バスツアーについて地域性を活かしたものを企画、実施した。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者アンケートの結果を踏まえた見直しを進める。また、過去の利用者へのDMの送付により、リピーターの増加を図るとともに、ホームページの改良や特色あるバスツアーの実施により、新規の顧客の増加を目指す。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた食事のメニューの見直し、指定管理者主催のバスツアーを行い、集客に努めた。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を受け、客室の禁煙化について検討する。
		<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた食事のメニューの見直し、指定管理者主催のバスツアーを行い、集客に努めた。 <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者アンケートの結果を踏まえた見直しを進める。また、ホームページの改良や特色あるバスツアーの実施により、新規の顧客の増加を目指す。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】 計画通りに進んでいる</p> <p>【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末をもって、現在の指定管理期間が満了となるため、次期指定管理者候補者の選定を行った。 ・季節に応じた食事のメニューの見直し、指定管理者主催のバスツアーを行い、集客に努めた。 ・利用者のアンケート結果により、食事、接客態度、館内清掃などサービスの見直し及び改善を図った。 <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアンケート結果を踏まえ、各種サービスの見直し及び改善を進める。 ・ホームページや広報、チラシを活用して積極的なPR活動を行い、バスツアーの参加者や新規の顧客の増加を目指す。
		<p>【進捗状況】</p> <p>【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアンケート結果を踏まえ、各種サービスの見直し及び改善を進めた。 ・ホームページや広報、チラシを活用して積極的なPR活動を行い、バスツアーの参加者や新規の顧客の増加を目指す。

No.	施設名	担当課
36	八ヶ岳府中山荘	学校施設課
建物(ハード)		
延床面積	4,501㎡	
しゅん工年度	昭和46年(1971年)	
特記事項	・施設の一部は建築後約40年を経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。	
運営(ソフト)		
設置目的	市立学校の教育活動、市民の保健体育その他教育の振興を図るための施設	
機能	客室(和室39室、洋室1室)、浴場、食堂、自炊用厨房及び会議室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は年間約1万5千人で推移している状況だが、平成23年度からの全小学校におけるセカンドスクール事業(4泊5日の体験学習)の実施により、子どもの利用者数が伸び、大人の利用者数は減少している。また、平日(夏休み期間や冬季は除く。)の多くは、一般の利用ができない状況である。 ・近隣には、多摩地域の他市の山荘も設置されている。 ・「府中市行財政改革推進プラン」に基づき、「平成22年度の指定管理者制度の導入」に向けて検討したが、セカンドスクール事業の実施前ということもあり、「当面見送る。」こととなった。 	
検討の方向性 (短期)	・より効果的な施設の活用に向け、指定管理者制度の導入について検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○指定管理者制度の導入について検討	
平成27年度	●指定管理者制度の導入の可否について決定	
平成28年度	○検討結果に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の導入による効率的な施設運営 ・効率的な施設管理 	
取組結果	目標を達成できなかった(未完)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入の可否については、様々な方面から検討を重ねたが、決定までには至らなかった。理由としては、八ヶ岳府中山荘の管理運営において、現在の業務運営方法と指定管理者制度を比較した際に、指定管理者制度に特段の優位性を認めるまでに至らなかったためである。 ・業務運営に関しては、セカンドスクールを最優先とする運営の中で、適宜仕様書の見直し等を行い、効率的な業務運営に努めることができた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・八ヶ岳学校寮地区利用者協議会や土地の賃貸借契約内容の状況に合わせ、府中山荘の劣化状況の具体化(数値化)を図り、また他自治体の山荘運営を精査することで、指定管理者制度の導入可能性を検討していく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・老朽化の状況等の調査・確認を行った。
	計画通りに進んでいる	【来年度の取組予定】 ・施設の設備・劣化状況を踏まえ、改修費用を算出する。また、指定管理者制度等の導入に向け、検討を進める。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・総合管理委託の仕様を見直し、業務の有効性を高めるように努めた。
		【下半期の取組予定】 ・土地の賃貸借契約の更新手続きを進め、今後の山荘について、効率的な総合管理運営に努める。
平成27年度	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・総合管理委託の仕様を再度見直し、予算執行の節減に努めた。 ・土地の賃貸借契約の更新についても平成27年度末に手続きを完了した。
		【来年度の取組予定】 ・学校行事(セカンドスクール等)の実施に支障が出ない範囲で、経営方法の見直し(過疎期の休館措置等)を図る。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・効率的な業務運営のために、経営方法の見直しと、総合管理委託の仕様の見直しを行った。
		【下半期の取組予定】 ・現在の施設運営については、運営方法と総合管理委託の仕様書の見直しを基に、改めて、適切な総合管理委託の仕様書を作成するとともに、管理会社と運営方法の調整を行い、セカンドスクールを最優先とした業務運営を実施する。 ・指定管理者制度の導入について、可否を決定する。
平成28年度	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・平成28年度の運営状況を踏まえ、平成29年度に向けて総合管理委託仕様書の見直しを行った。 ・指定管理者制度の導入については、可否の決定までは至らなかった。
		【来年度の取組予定】 ・平成28年度下半期で見直した仕様書と運営方法を基に、セカンドスクールを最優先とする業務運営を引き続き実施していく。 ・指定管理者制度の導入については、今回見直した業務運営と比較し、特段の優位性があるか等の検討を行っていく。また、検討の際は、セカンドスクール検証・検討委員会による協議内容も踏まえて進めていく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・指定管理者制度の導入については、可否の決定までは至らなかった。
		【下半期の取組予定】 ・セカンドスクールが安全に実施されるよう、施設の老朽化に対して必要な修繕を実施する。 ・指定管理者制度の導入を含めた八ヶ岳府中山荘の在り方について、セカンドスクール検証・検討委員会による協議内容を踏まえて、検討していく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・施設の老朽化に対して必要な修繕を行い、セカンドスクールを安全に実施することができた。 ・指定管理者制度については、セカンドスクール検証・検討委員会による協議内容を踏まえて検討したが、結論には至らなかった。

No.	施設名	担当課
37	本庁舎	政策課・財産活用課
建物(ハード)		
延床面積	20,971㎡	
しゅん工年度	昭和34年(1959年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎は、西庁舎、東庁舎、北庁舎と建築年度が異なる3棟で構成されている。 ・西庁舎は建築後50年以上経過し、老朽化への対応が必要な状況である。さらに、西及び東庁舎は旧耐震基準の建物であり、耐震診断の結果、早急に対策を講じる必要がある。 	
運営(ソフト)		
設置目的	市民サービスの提供の拠点として機能し、市民の福祉の増進及び公務の円滑な遂行のための施設	
機能	事務室及び売店(※食堂は廃止となったため、プランの記載を変更)	
現状(策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・「府中市庁舎建設基本構想」策定後、現在地での早期の建替えに向け、平成25年度には「府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会」及び「府中市庁舎建設基本計画職員検討会」を設置し、庁舎の役割や必要な機能について検討を行った。 	
検討の方向性(短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の建設に当たっては、庁舎機能や関連する業務の機能を集約するとともに、現在の本庁舎と第2庁舎の合計延床面積(約3万㎡)や、今後の人口推計、業務スペースなどを踏まえた適正な規模を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	●基本計画の策定	
平成27年度	○計画に基づく取組の実施	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化と耐震化の課題を解決し、災害時の拠点施設を確保 ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営と市民の利便性の向上 ・狭あい化した執務空間の解消 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に策定した府中市庁舎基本計画において、府中駅北第2庁舎の機能と宮町図書館とふるさと府中歴史館の一部機能を集約する方向性を定めた。 ・基本計画に基づいて取り組んだ基本・実施設計において、集約する機能の具体的な配置や面積などを検討するとともに、人口推計や適正な執務室の面積を踏まえ、新庁舎の規模を定めた。 	

取組状況	
平成26年度	【下半期の取組予定】 ・府中市庁舎建設基本計画の策定にあたり、その計画内容を多くの市民に周知するため、パブリック・コメント手続や説明会、広報発行などを実施する。 ・新庁舎における執務環境を効率的で働きやすいものとするため、既存庁舎の書類及び備品などの数量調査を行い、効率的な床面積の算定について検証するとともに、設計に係る要件整理及び文書管理工程等の策定を行う。
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・パブリック・コメント手続や市民説明会、広報特別号の発行を通して府中市庁舎建設基本計画を策定し、第2庁舎の機能に加え、宮町図書館やふるさと府中歴史館の一部機能を集約していく方向性を定めた。また、基本計画を策定するとともに、既存庁舎の書類及び備品などの数量調査が予定どおり完了したことで、平成27年度から予定している新庁舎建設の設計作業に向けた基本的な指針及び要件を定めることができた。
平成27年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・公募型プロポーザル方式により設計者を募集し、選定委員会による厳正な審査を行い、基本・実施設計を行う設計者を選定した。また、選定された設計者と契約を締結し、9月より基本設計に着手した。 ・効率的な執務レイアウトや機能的なサイン設計を行う事業者を選定するため、8月に指名型プロポーザル方式により事業者指名通知を行い、設計と並行して進めるオフィスレイアウト設計等の準備を進めた。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・10月頃からオフィスレイアウト設計やサイン設計に着手するとともに、設計者や関連部署等と協議しながら、新庁舎建設の基本設計を行う。 ・国土交通省が実施する多様な入札契約方式モデル事業を活用し、本市において最適な工事の発注方式について検討を行う。 ・広報特別号を9月及び1月に発行するとともに、10月に設計者や市長、選定委員会委員長などによる新庁舎建設シンポジウムを開催し、本事業について市民に広く周知し、理解を深めながら事業を進める。
平成28年度	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・基本設計において新庁舎の基本的な建替方針を検討し、仮設庁舎を使用しない方針を定めるとともに、11月から着手したオフィスレイアウト設計と連携して協議を進め、執務室や諸室の配置について検討を行った。 ・国土交通省のモデル事業については、庁内で検討会を重ね、技術的な支援を受けるコンストラクション・マネジメント(CM)業務を採用することとし、2月から事業者の選定手続を開始した。 ・広報特別号は、内容の精度向上や効果的な周知を行うため、発行時期を3月に変更して発行した。
	【進捗状況】【来年度の取組予定】 ・基本設計及びオフィスレイアウト設計の検討を進め、基本設計案を作成したうえで、基本的な建物の構造、設備の概要、諸室の配置などを定めた基本設計を完成させる。 ・コンストラクション・マネジメント業務については、4月に事業者を決定したのち、基本設計の方針検証や内容確認を行う。 ・建設工事に向けて、市民や職員への影響に配慮しながら、職員用自転車駐車場の解体や埋蔵文化財発掘調査を行う。
平成29年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・基本設計について、駐車場の出入り口の位置や車両の導線など、交通に関する警視庁との協議が継続中であったため、完成予定を変更したが、設計全体の工程に影響がでないよう、基本設計を行いながら実施設計で作業を進めている。 ・職員用自転車駐車場の解体や埋蔵文化財発掘調査など、1期工事に向けて各種調査や準備を進めている。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・10月末に完成する基本設計を受け、実施設計に着手する。 ・敷地の整備について、未実施箇所地の地盤調査を行うとともに、引き続き埋蔵文化財発掘調査を行う。
平成29年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・敷地拡張部の交渉状況により、新庁舎建設について、当初予定していた平成30年度中の着工が難しくなり、設計で明らかになった工事期間を踏まえて全体工程を見直す必要が生じている。 ・実施設計については10月末までに完了することを予定していたが、障害者団体等の要望の反映作業や、着工時期の見直しにより着工までの期間があることなどから、平成30年3月末まで期間を延長して行うこととした。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・新庁舎建設の実施設計を完了させる。
平成29年度	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・平成28年11月より取り組んできた新庁舎建設の実施設計を完了させた。

No.	施設名	担当課
38-1	府中駅北第2庁舎	財産活用課
建物(ハード)		
延床面積	6,710㎡(建物全体9,362㎡)	
しゅん工年度	平成3年(1991年)	
特記事項	・第2庁舎は府中駅北自転車駐車場との複合施設である。	
運営(ソフト)		
設置目的	市民サービスの提供の拠点として機能し、市民の福祉の増進及び公務の円滑な遂行のための施設	
機能	事務室、国際交流サロン、工業技術情報センター、環境保全活動センター、府中市産農作物の直売所など	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅南口再開発事業のために建設された建物を活用しているが、駐車場が少ないため、市民が多く利用する庁舎機能としての活用は限られる。 ・庁舎機能は3フロア程度で、それ以外は他の機能として利用されている。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が本庁舎に統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の有効活用 ・機能集約による効率的な施設運営 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設を有効活用し効率的な施設運営をすることができた。 ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、本庁舎の建て替えの動きを見据えながら、利活用の範囲及びスケジュールについて検討を行った。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・今後の方向性について、新庁舎整備の進捗状況を確認しながら、関係課と協議を進める。
		【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・新庁舎の整備によって府中駅北第2庁舎の庁舎機能が移転することから、新たな活用を図るため、その他の機能についても見直しの可能性などを検討した。
	計画通りに進んでいる	【来年度の取組予定】 ・庁舎機能以外の各機能も含め、移転の効果等を検証し、府中駅第2庁舎全体としての活用策を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・新庁舎整備の進捗状況を確認しながら、関係課と活用方法を協議した。
		【下半期の取組予定】 ・庁舎機能以外の各機能も含め、移転の効果等を検証し、府中駅第2庁舎全体としての活用策を検討する。
	計画通りに進んでいる	
平成27年度	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・府中駅周辺施設の再編の考え方に基づき、府中駅北第2庁舎機能の利活用の可能性などを検討した。
		【来年度の取組予定】 ・新庁舎完成までの暫定的な事務室移転等も視野に入れ、引き続き利活用について検討する。
	計画通りに進んでいる	
平成28年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・新庁舎完成までの暫定的な事務室移転等としての活用の方向性を決定した。
		【下半期の取組予定】 ・新庁舎完成までの暫定的な事務室移転等としての活用を前提とし、利活用についてはスケジュールも含め改めて検討する。
	計画通りに進んでいる	
平成28年度	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・新庁舎完成までの暫定的な事務室移転等としての活用を前提とした検討を行った。
		【来年度の取組予定】 ・新庁舎建設の動きを見据えながら、利活用の範囲、スケジュール等について検討を行う。
	計画通りに進んでいる	
平成29年度	上半期	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・新庁舎建設の動きを見据えながら、利活用の範囲、スケジュール等について検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、本施設の利活用の範囲、スケジュール等について検討を行う。
	計画通りに進んでいる	
	下半期	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・新庁舎建設の動きを見据えながら、本施設の利活用の範囲等の検討を行った。

No.	施設名	担当課
38-2	府中駅北第2庁舎(工業技術情報センター)	経済観光課
建物(ハード) ※施設全体		
延床面積	6,710㎡(建物全体9,362㎡)	
しゅん工年度	平成3年(1991年)	
特記事項	・第2庁舎は府中駅北自転車駐車場との複合施設である。	
運営(ソフト)		
設置目的	市内中小企業の製品開発支援や、技術革新を助長するとともに、製造技術の向上と販路開拓を支援し、もって市内中小企業の振興を図るための施設	
機能	工業技術情報センター	
現状(策定当初)	・専門の相談員による技術相談や技術情報の提供、及び技術講習会を行っている。 ・相談件数及び講座への参加者数は、近年横ばいの状況である。	
検討の方向性(短期)	・新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が本庁舎に統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する主な効果	・施設の有効活用 ・機能集約による効率的な施設運営	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	・これまで、工業分野の相談機能や情報提供機能は、工業技術情報センターとむさし府中商工会議所に分散していたが、相談機能の態勢強化を目指すとともに、相談者のワンストップ化を可能にし、利便性の更なる向上を図ることを目的として、むさし府中商工会議所との連携を強化した形での業務の見直しを検討し、工業技術情報センターの機能をむさし府中商工会議所へ移転することとした。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・府中駅北第2庁舎に係る検討状況を踏まえながら、必要に応じて、今後の取組内容等について提案を行うなど、検討を行っていく。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用者に対するアンケートを実施し、利用状況や必要とされる機能等の把握を行った。その結果、現在の機能等については独立性が確保された構造であり、また、市中心部にも位置していることから、概ね使い勝手が良いとの一定の評価を得ていることが確認された。 【来年度の取組予定】 ・利用者アンケートの集計結果を踏まえ、必要とされる機能等について更なる検討を行うとともに、第1次推進プランに基づく府中駅周辺の再編の取組状況を注視していく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」が示されたことから、当該施設について継続利用を行っていく際の課題等を検討した。 【下半期の取組予定】 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」に留意しつつ、今後も当該施設の継続利用を図っていく。なお、再編方針(案)については、長期間にわたるものであることから、今後の駅周辺のニーズ等の状況を注視しつつ、状況の変化等に対しては柔軟に対応していく。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・専門の相談員による技術相談や技術情報の提供及び技術講習会を継続して行うなど、当該施設の継続利用を図った。 【来年度の取組予定】 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針」の決定を受け、今後も当該施設について継続利用を行っていく際の課題等を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・専門の相談員による技術相談や技術情報の提供及び技術講習会を継続して行うなど、当該施設の継続利用を図った。 【下半期の取組予定】 ・今後の駅周辺のニーズ等の状況を注視しつつ、当該施設について継続利用を行っていく際の課題等の検討を継続していく。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・専門の相談員による技術相談や技術情報の提供及び技術講習会を継続して行った。 【来年度の取組予定】 ・今後の府中駅周辺のニーズや工業技術情報センターに求められる役割等を注視しつつ、当該施設について継続利用を行っていく際の課題等を検討していく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・専門の相談員による技術相談や技術情報の提供及び技術講習会を継続して行うなど、当該施設の継続利用を図った。 【下半期の取組予定】 ・今後の府中駅周辺のニーズや工業技術情報センターに求められる役割等を注視しつつ、当該施設について継続利用を行っていく際の課題等を検討していく。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・むさし府中商工会議所と連携を強化した形での業務の見直しを検討し、平成30年度に工業技術情報センター機能をむさし府中商工会議所へ移転することとした。

No.	施設名	担当課
38-3	府中駅北第2庁舎（府中特産品直売所）	経済観光課
建物（ハード） ※施設全体		
延床面積	6,710㎡（建物全体9,362㎡）	
しゅん工年度	平成3年（1991年）	
特記事項	・第2庁舎は府中駅北自転車駐車場との複合施設である。	
運営（ソフト）		
設置目的	本市における特産品をPR、販売することで、商業、農業、観光など、さまざまな分野の振興を図るための施設	
機能	府中市産農作物等の直売所	
現状（策定当初）	・年間利用者数は約9万人だが、府中駅第2庁舎内への移転前と比べると利用者数は減少している。	
検討の方向性（短期）	・新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が本庁舎に統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編（モデル事業）について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編（モデル事業）に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する主な効果	・施設の有効活用 ・機能集約による効率的な施設運営	
取組結果	目標を達成できた（完了）	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業1「府中駅周辺施設の再編」の対象施設として、府中駅前のさらなるにぎわいの創出に向け、旧グリーンプラザ分館へ移転する方向性が決定し、関係機関や市の関係部署と連携しながら移転に向け必要な調整・検討を行うなど、府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針に基づく取組を進めた。なお、鉄道高架下にある移転先施設において、鉄道事業者が高架橋耐震補強工事を実施することとなったため、移転スケジュールの調整を進めている。 ・平成25年度に府中駅北第2庁舎内へ移転して以来、利用者及び売上は減少しており、移転前に比べ約1/2程度になっている。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・府中駅北第2庁舎に係る検討状況を踏まえながら、出荷組合と今後の施設のあり方について検討、調整していく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・出荷組合の役員会の中で、今後のあり方を移転を踏まえ検討した。消費者へのアンケートでは、現在の場所より以前の場所の方がよいという意見があり、役員会の中でも適当な場所がないか検討された。しかしながら、現在の直売所の売上が減少しているため、その改善が優先となっている。 計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・直売所の経営改善をしつつ、継続的によりよい設置場所について模索していく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・直売所の認知度を上げるため6月にイベントを実施し、多くの市民の来場が得られた。しかし、売上に関しては、前年度比で6月はアップしたものの、7月には再び減になった。出荷組合役員会でも、場所の問題が少なからずあることが再確認された。 ・出荷組合役員会で、「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」で提示された移転案について、出荷組合として賛同することが確認された。 計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・「府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針(案)」に留意しつつ、今後移転に関する費用等について検討を進めていく。 ・移転費用の確保のためにも、直売所の経営について改善を進めていく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・直売所の認知度を上げるため12月にイベントを実施し、多くの市民の来場があった。また、都市農業PRのパネルを展示し、多くの市民が来場した。しかし、売上に関しては、イベント当日はアップしたものの、同月で前年比較すると減になった。 ・出荷組合三役役員で、移転案について、具体的な動きを確認していくことになった。 計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・基本方針に沿う形でのスケジュールを検討するとともに、整理すべき課題の洗い出しを行う。 ・移転に当たって必要となる費用について、その試算をするともに、経費確保策を検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・基本方針に沿う形でのスケジュールの確認を行った。 ・移転後の授産品ショップとの事業連携について、実施していく方向で農産物出荷組合(事務局は農協)として意思決定した。 計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・移転費用その他整理すべき課題の洗い出しを行う。 ・移転後の授産品ショップとの事業連携について関係機関と適宜調整を進める。 ・移転後の土日の開業の可否について、農産物出荷組合(事務局は農協)と協議していく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・府中グリーンプラザ分館への移転後の福祉ショップは～もにい等との事業連携について関係機関及び市の関係部署と適宜調整を行った。また、当該調整の中で移転後の土日の開業について、農産物出荷組合(事務局は農協)に働きかけるとともに、その他移転に係る課題の洗い出しを行った。 計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・府中グリーンプラザ分館への移転後の福祉ショップは～もにい等との事業連携について関係機関及び市の関係部署と調整を進める。また、当該調整の中で移転後の土日の開業について、農産物出荷組合(事務局は農協)の意向の確認を行うとともに、その他移転に係る課題への対応を検討する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・機能移転先の府中グリーンプラザ分館における福祉ショップは～もにい等との事業連携について、関係機関及び市の関係部署と調整を進めた。また、府中グリーンプラザ分館において、鉄道事業者が高架橋耐震補強工事を予定しており、移転スケジュールへの影響が想定されることについて、関係機関及び市の関係部署と調整を行った。 概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・府中グリーンプラザ分館における鉄道事業者による高架橋耐震工事の予定も踏まえ、引き続き、移転後の福祉ショップは～もにい等との事業連携について、関係機関及び市の関係部署と調整を進める。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・移転スケジュールに大きな影響を及ぼす府中グリーンプラザ分館における鉄道事業者の高架橋耐震補強工事について、関係機関及び市の関係部署と適宜情報交換を行った。

No.	施設名	担当課
38-4	府中駅北第2庁舎（環境保全活動センター）	環境政策課

建物(ハード) ※施設全体

延床面積	6,710㎡(建物全体9,362㎡)
しゅん工年度	平成3年(1991年)
特記事項	・第2庁舎は府中駅北自転車駐車場との複合施設である。

運営(ソフト)

設置目的	環境保全に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、市民等が行う環境保全活動を支援するための施設
機能	環境保全活動センター
現状 (策定当初)	・環境保全活動センターの運営全般や事業等について審議するため、センターに登録しているサポーターや事業者などで構成する運営委員会が設置されている。 ・サポーターの登録数は、個人62人、団体11団体（平成24年度末）
検討の方向性 (短期)	・新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が本庁舎に統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。

短期スケジュール

平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定
平成28年度	○方針に基づく取組の実施
平成29年度	▽継続
期待する 主な効果	・施設の有効活用 ・機能集約による効率的な施設運営

取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた
------	-----------------------

取組成果の内容	・効率的・効果的な運営を図ることができるよう、環境保全活動センターの運営・活動に関して、検討調整会において問題の洗い出しや精査、適切な移転先なども含めて検討を重ねるが、合意形成に至らず、引き続きの検討が要される。検討調整会の構成員である登録しているサポーターや事業者などそれぞれ個人の考え方や団体の活動方針があるため、運営や活動に対する合意形成が非常に困難である。また、唯一合意がなされた内容は、施設面の確保であるが、運営や活動が定まらない状況であることから、先にハード面に係る調整も困難な状況である。
---------	---

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・府中駅北第2庁舎に係る検討状況を踏まえながら、必要に応じて、今後の取組内容等について提案を行うなど、検討を行っていく。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・環境保全活動センターの機能拡充について検討した。なお、スペースについては、現状の約20㎡では手狭であり、府中駅北第2庁舎内での拡張などが考えられる。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・環境保全活動センターの機能拡充の検討と併せ、施設面の対応についても検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・機能拡充に向けた組織の方向性の検討が図れておらず、施設面についても具体的な進展はない。
		計画通りに進んでいない 【下半期の取組予定】 ・どのような組織とするかによって、どのような施設にするかが変わるため、まず、組織の方向性を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・将来的な組織の方向性については大筋で確認している。ただ、時期的な部分と具体的な部分については、今後調整を図っていく。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・より多くの知名度を得るため、環境保全活動センターをPRし、内容の充実を目指す。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・環境保全活動センターの現状の問題点を洗い出し、今後のセンターの姿を検討していく。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・環境保全活動センターのさらなる充実のため、今後の方向性、府中駅北第2庁舎にある活動場所についても、運営委員会を中心に検討を行い、一定の方向性を出していく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・環境保全活動センターの充実のため、運営委員を中心に問題の洗い出しを行うなど取組を進めた。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・環境保全活動センター拡充に向け、活動場所も含め検討していく。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・環境保全活動センターの運営・活動に関して、検討調整会において問題の洗い出しや精査を行うなどの取組を進めた。また、適切な移転先の検討を行った。
		概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・効率的・効果的な運営を図ることができるよう、引き続き、環境保全活動センターの運営・活動に関して、検討調整会において問題の洗い出しや精査を行うなど、適切な移転先も含め検討を進めていく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・効率的かつ効果的な運営を図ることができるよう、環境保全活動センターの運営・活動に関して、検討調整会において問題の洗い出しや精査、適切な移転先なども含めて検討を重ねるが、合意形成に至らず、引き続きの検討が要されるものとする。

No.	施設名	担当課
38-5	府中駅北第2庁舎（府中国際交流サロン）	協働推進課
建物(ハード) ※施設全体		
延床面積	6,710㎡(建物全体9,362㎡)	
しゅん工年度	平成3年(1991年)	
特記事項	・第2庁舎は府中駅北自転車駐車場との複合施設である。	
運営(ソフト)		
設置目的	市内在住の外国人が暮らしやすい地域づくりを目指し、市民自らが主体となって進める支援・交流の拠点のための施設	
機能	国際交流サロン	
現状 (策定当初)	・市民ボランティアによる日本語学習会や、児童・生徒を対象に学校の教科の補習をする児童学習支援などを行っている。 ・いずれの事業も、近年は参加者数や横ばい、若しくは減少傾向となっています。	
検討の方向性 (短期)	・新庁舎の建設により、分散する庁舎機能が本庁舎に統合されることから、統合後の建物等については、公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、様々な活用策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	
平成27年度	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	
平成28年度	○方針に基づく取組の実施	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・施設の有効活用 ・機能集約による効率的な施設運営	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	・事務室の一部機能を市民活動センター「プラッツ」内の府中国際交流サロンに移転した。日本語学習会等の活動については、引き続き府中駅北第2庁舎で行っている。	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・府中駅北第2庁舎に係る検討状況を踏まえながら、新たな市民活動拠点施設における事業の実施方法などを検討する。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・新たな市民活動拠点施設への移転を視野に物品の整理に着手した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・公共施設マネジメントモデル事業検討協議会の検討結果などを踏まえながら、事業の実施方法を検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・引き続き、日本語学習会や児童学習支援を実施した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・新たな市民活動拠点施設と府中駅北第2庁舎での活動内容を検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・新たな市民活動拠点施設と府中駅北第2庁舎における今後の活動内容について、課内で検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・新たな市民活動拠点施設と府中駅北第2庁舎での活動内容について、引き続き検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・府中市市民活動センターと府中駅北第2庁舎での活動内容や必要な備品等の整理・検討を行った。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・人員配置を含めて、府中市市民活動センターと府中駅北第2庁舎の活用方法について府中国際交流サロンボランティアと確認し、認識の共有を図る。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・引き続き、日本語学習会や児童学習支援を実施するとともに、府中市市民活動センターと府中駅北第2庁舎の活用方法について検討を進め、府中国際交流サロンボランティアとの認識の共有を図った。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・日本語学習会や児童学習支援は継続して実施する。 ・府中市市民活動センターの稼働に伴い、府中駅北第2庁舎で行ってきた活動・機能のうち、一部を府中市市民活動センターに移転する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・これまで府中駅北第2庁舎で行っていた日本語学習会や児童学習支援等の事業は、引き続き府中駅第2庁舎で行うこととした。 ・市民活動センター「プラッツ」内の国際交流サロンでは、東京外国語大学の学生との協働による海外生活の情報発信や文化交流活動を行った。
		概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・府中国際交流サロンの機能や活動内容について、府中駅北第2庁舎で実施する内容と、市民活動センター「プラッツ」内で実施する内容の整理を行う。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・日本語学習会や児童学習支援等の事業は、引き続き府中駅北第2庁舎で行った。 ・市民活動センター「プラッツ」内の国際交流サロンでは、サロンボランティアや東京外国語大学の学生との協働による海外生活の情報発信や国際交流イベント等を実施した。

No.	施設名	担当課
39	女性センター	地域コミュニティ課
建物(ハード)		
延床面積	1,656㎡	
しゅん工年度	平成6年(1994年)	
特記事項	・中河原駅北口商業施設内の4階	
運営(ソフト)		
設置目的	市民に女性問題に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、女性を取り巻く問題の解決及び男女共同参画社会の実現に寄与するための施設	
機能	会議室、和室、情報資料室、保育室、相談室及び消費生活相談室	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室の稼働率は50%程度で推移している。 ・女性センター登録団体の利用がほとんどであり、日中に比べ夜間の利用は少ない。 ・専門相談員による女性を取り巻く問題の相談件数は増加傾向にあり、特に電話による相談件数が増加している。 ・近隣には住吉文化センターが設置されており、その諸室の一部が重複している。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の指標以外でも施設設置による効果を視認化できる方法を検討する。また、男女共同参画社会の実現の拠点施設として効果的な運営方法を検討する。 ・利用者数の増加や歳入確保の方策を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○施設評価の手法の検討	○利用者数や歳入の増加に向けた方策の検討、実施
平成27年度	▽継続	▽継続
平成28年度	▽継続	▽継続
平成29年度	●多角的な視点による施設評価の実施	▽継続
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的取組を見据えた課題の洗い出し ・利用者数や歳入の増加 	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画週間記念事業、男女共同参画推進フォーラム、女性センター登録団体講座、男女共同参画市民企画講座などを実施し、来館者の増加に努めた。 ・府中市男女共同参画推進協議会からの答申を踏まえ、男女共同参画社会を実現するための拠点としての取組について検討を進めた。また、施設名の変更について検討を行った。 ・消費生活相談室の移転後のスペースを女性問題相談スペースとして活用した。また、その他のスペースも料理講習室、小会議室として女性センター登録団体への貸出しを開始した。 	

取組状況	
平成26年度	【下半期の取組予定】 ・男女共同参画社会の実現の拠点として、設立20周年男女共同参画推進フォーラム事業を実施し、参加者増を目指す。また、男女共同参画推進懇談会からの報告等を踏まえ施設の効果的運営方法を検討する。
	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・男女共同参画推進フォーラムをはじめとする男女共同参画推進に係る事業を実施し、来館者数の増に努めた。また、男女共同参画推進懇談会から女性センターの運営方法について報告書の提出があった。
平成27年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・男女共同参画週間記念事業をはじめとする、男女共同参画推進に係る事業を実施し、来館者数の増に努めた。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の方法及び市民企画講座等の検討を行った。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・男女共同参画推進に係る事業を実施し、更なる来館者数の増を目指す。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の報告書の検討をする。
平成28年度	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・男女共同参画推進フォーラムをはじめとする男女共同参画推進に係る事業を実施し、来館者数の増に努めた。また、男女共同参画推進協議会から女性センターの市民企画講座等についての報告書の提出があった。
	【進捗状況】【来年度の取組予定】 ・男女共同参画推進に係る市民企画講座、登録団体共催講座等の事業を増やし、更なる来館者数の増を目指す。また、男女共同参画推進協議会からの報告を踏まえ、女性センターの運営方法について検討する。 ・府中駅南口新施設へ移転後の消費生活相談室スペースについて、活用方法を検討する。
平成29年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・男女共同参画週間記念事業、女性センター登録団体共催講座、男女共同参画市民企画講座など、男女共同参画推進に係る事業を実施し、来館者数の増加に努めた。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の方法及び市民企画講座等の検討を行った。 ・施設では、通路等の照明器具をLEDに替える工事を実施した。 ・消費生活相談室が移転した後のスペースについて、今後の活用を検討した。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・11月19日、20日に男女共同参画推進フォーラムを実施する。女性センター登録団体講座、男女共同参画市民企画講座などを実施し、更なる来館者の増加に努める。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の報告書の検討をする。 ・引き続き、消費生活相談室が移転した後のスペースについて、活用を検討する。
平成29年度	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・平成28年11月19日、20日に男女共同参画推進フォーラム及び、女性センター登録団体講座、男女共同参画市民企画講座などを実施し、来館者の増加に努めた。 ・男女共同参画推進協議会から、男女共同参画計画の推進に係る評価・検証と女性センターの事業計画及び運営についての答申が提出された。 ・消費生活相談室移転後のスペースについて、活用を検討した。
	【進捗状況】【来年度の取組予定】 ・男女共同参画推進に係る市民企画講座等の事業や、男性の育児・家事への参加の意識啓発講座の増を目指す。 ・男女共同参画推進協議会からの答申を踏まえ、女性センターの運営方法について検討する。 ・府中駅南口新施設へ移転後の消費生活相談室スペース及び商品テスト室の、活用方法を検討する。
平成29年度	【進捗状況】【上半期の取組状況】 ・男女共同参画週間記念事業、女性センター登録団体共催講座、男女共同参画市民企画講座など、男女共同参画推進に係る事業を実施し、来館者数の増加に努めた。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の方法や市民企画講座等の検討を行った。 ・消費生活相談室の移転後は女性問題相談スペースとして活用することとした。
	【進捗状況】【下半期の取組予定】 ・11月11日、12日に男女共同参画推進フォーラムを実施する。女性センター登録団体講座、男女共同参画市民企画講座などを実施し、更なる来館者の増加に努める。また、男女共同参画推進協議会において、施策に係る第三者評価の報告書の検討をする。 ・消費生活相談室の改修工事を10月中に行い、11月より女性問題相談スペースとして稼働する。
平成29年度	【進捗状況】【下半期の取組状況】 ・男女共同参画推進フォーラム、女性センター登録団体講座、男女共同参画市民企画講座などを実施し、来館者の増加に努めた。また、男女共同参画推進協議会から、男女共同参画計画の推進に係る評価・検証と女性センターの事業計画及び運営についての答申が提出された。答申の内容を踏まえ、施設名の変更について検討を行った。 ・消費生活相談室の移転後のスペースを女性問題相談スペースとして活用した。また、その他のスペースも料理講習室、小会議室として女性センター登録団体への貸出しを開始した。

No.	施設名				担当課
40	観光情報センター				経済観光課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
観光情報センター	182㎡	平成17年(2005年)	郷土の森観光情報センター (郷土の森観光物産館)	494㎡	平成23年(2011年)
特記事項	-				
運営(ソフト)					
設置目的	観光客の誘致を図り、にぎわいと魅力のあるまちづくりを推進するための施設				
機能	市内の観光情報の提供、観光スポットの紹介、案内相談及び定期的な観光ガイドツアーの実施				
運営	直営				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> 観光情報センターの来館者数は約2万人、郷土の森観光情報センターの来館者数は約17万人である。 観光情報センターの利用者数は近年減少傾向である。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> 府中の観光情報の発信拠点として、市内外にPRを行い利用者の増加を図る。 近隣施設との相乗効果が図られるような活用方法を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○利用者数の増加に向けた方策の検討、実施		○他の施設との連携の検討、実施		
平成27年度	▽継続		▽継続		
平成28年度	▽継続		▽継続		
平成29年度	▽継続		▽継続		
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> 施設の魅力の向上及び発信力の強化 利用者数の増加 				
取組結果	目標を達成できた(完了)				
取組成果の内容	<p>・府中の観光情報の発信拠点として、多くの来場者に観光案内やパンフレットの配布、特産品の販売などを通して、府中の魅力をPRすることができた。また、スタンプラリーをはじめとする、他市や他施設との連携を積極的に実施し、来館者を増加させるとともに、施設自体の認知度を向上させることができた。</p> <p>さらに、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに向けて、外国人対応が増加していくと予想されるため、多言語対応のデジタルサイネージや同時通訳可能タブレットの導入に加え、案内表示等の多言語化など、ハード面での整備を行ってきた。今後はそれを有効に活用するスタッフの対応力向上など、ソフト面での強化も実施していきたい。</p>				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・利用者数の増加に向けて、従来の取組を継続するとともに、より効果的な取組の検討を行っていく。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・従来の取組の継続に加え、近隣自治体や鉄道会社との連携等、新規の取組を行った結果、利用者数が昨年度より増加した。
		【来年度の取組予定】 ・利用者数の増加に向けて、従来の取組の効果を検証し、より効果的な取組へと洗練するとともに、効果が見込まれる新規の取組の検討を行っていく。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・上半期には、漫画「ちはやふる」に関する新規事業のチェックポイントに設定したため、利用者が昨年度よりも増加した。
		【下半期の取組予定】 ・下半期も、新規事業のチェックポイントに設定しているため、利用者の増加が見込まれる。今後も、利用者の増加のための方策を引き続き検討していく。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・梅まつりの開催に合わせ、JRの駅からハイキングを開催し、本市への観光客の誘致を図り、施設の利用者の増加を図った。
		【来年度の取組予定】 ・国分寺市等との連携や、京王線の沿線市との連携によりPRを実施することで、情報発信力を強化し、本市への観光客の増加を図る。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・従来からの取組に加え、夏休み企画として、カフェと歴史スポットをめぐってもらうクイズ&スタンプラリーを開催し、観光客の誘客を図った。
		【下半期の取組予定】 ・てぬぐいを使ったスタンプラリーのスタートポイントとし、施設利用者の増加を図る。また、国分寺市や、京王線の沿線市との広域連携事業でモニターツアーや関係者向けのファミツアーを開催し、観光客の誘客とPRを実施する。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・てぬぐいを使ったスタンプラリーのスタートポイントとし、施設利用者の増加と施設認知度の向上を図った。また、国分寺市や、京王線の沿線市との広域連携事業でモニターツアーや旅行関係者向けのファミツアーを開催し、観光客の誘客とPRを実施した。
		【来年度の取組予定】 ・同時通訳可能なタブレット端末および、多言語対応のデジタルサイネージを設置し、外国人旅行者にも利用してもらえる施設へ改善を行い、外国人旅行者の増加を図る。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・歴史、芸術、産業のスポットをめぐってもらうスタンプラリーを開催し、観光客の誘致を図った。また、観光物産館夏のフェスタでは、文化・芸術団体を誘致するほか、日数を増やして開催することにより、来場者の増加を図った。
		【下半期の取組予定】 ・「ちはやふる」に関する事業のチェックポイントに設定し、利用者の増加を図る。 ・国分寺市や京王線沿線市との広域連携事業において、スタンプラリーやPRを実施し、観光客の誘致を図る。 ・案内表示等を多言語化し、外国人旅行者の受入環境を整備する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・国分寺市との合同事業「ノスタルジックスタンプラリー」のゴールポイントや、「ちはやふるデジタルスタンプラリー」のチェックポイント及び初日イベント会場に設定し、利用者の増加を図った。 ・施設の案内表示を多言語化し、外国人利用者の利便性を向上させた。

No.	施設名	担当課
41	リサイクルプラザ	ごみ減量推進課
建物(ハード)		
延床面積	11,719㎡	
しゅん工年度	平成6年(1994年)	
特記事項	-	
運営(ソフト)		
設置目的	市内で収集されたビン、カン、粗大ごみ、プラスチック類やその他の不燃ごみ等を処理するための施設	
機能	リサイクルセンター(展示ホール、市民工房、リフォーム工房)、選別棟、資源棟など	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの搬入量は、平成22年度のごみ収集方法の変更を契機に大幅に減少した。 ・市民工房は市民自らが修理の必要な家具及び自転車を持ち込み、係員の指導の下で修理ができる施設だが、利用件数は非常に少ない。 ・リフォーム工房は粗大ごみで出された木製家具や自転車の修理を行っているが、製作数は微減となっている。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の更なる活用のため、市民工房の機能を廃止し、スペースの活用策を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○市民工房の運用及びスペースの活用に関する検討	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	●市民工房の運用方法について決定	
平成29年度	○決定事項に基づく取組の実施	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・機能の見直しによる維持管理経費の削減 ・施設の有効活用 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民工房機能の廃止について検討した結果、機能を存続したまま、更なる活用を図ることが可能という結論に至り、再生家具即売会や親子3R教室を開催した。 ・選別棟の設備改修に向けた準備を進めた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・リサちゃんショップを運営している府中リサイクル推進協会と、今後の市民工房の活用方法について協議を行う。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市民工房を有効活用して、再生家具即売会を開催した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・市民工房の更なる有効利用を図るため、再生家具即売会を年2回の開催とする。また、公共施設マネジメント検討協議会の動向にも注視し、リサちゃんショップのあり方を検討する際には、市民工房の活用も併せて検討する。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・市民工房を活用して、再生家具即売会を開催した。また、事業の周知のため、「ごみ・資源の出し方カレンダー」に開催日を掲載した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・上半期に引き続き、再生家具即売会を開催する。また、市民工房の今後のさらなる有効活用について検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市民工房を有効活用して、再生家具即売会を開催した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・市民工房の有効利用を図るため、引き続き再生家具即売会を年2回開催する。また、あわせて市民工房の更なる活用について検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・市民工房を有効活用して、再生家具即売会を開催した。
		計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・下半期についても市民工房スペースを活用した再生家具即売会を開催する。また、市民工房としての機能は残しつつ、スペースの有効活用について、継続して検討する。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市民工房スペースの有効活用策として、再生家具即売会及び親子3R教室を開催した。
		計画通りに進んでいる 【来年度の取組予定】 ・引き続き市民工房スペースの有効活用を図るため、再生家具即売会及び親子3R教室を開催する。また、市民工房の更なる活用について検討する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 【上半期の取組状況】 ・市民工房については、市民工房の機能を存続したまま、スペースについて新たな活用を図ることとした。 ・市民工房スペースの活用策として、再生家具即売会及び夏休み親子3R教室を開催した。 ・設備改修に向けた課の方針を決定した。
		概ね計画通りに進んでいる 【下半期の取組予定】 ・引き続き市民工房を会場として、再生家具即売会及び親子3R教室を開催する。また、更なる市民工房スペースの活用について引き続き検討する。 ・設備改修に向けた取組を進める。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・市民工房スペースの更なる活用を検討するとともに、市民工房を会場として、再生家具即売会を開催した。 ・選別棟の設備改修に向けた準備を進めた。

No.	施設名	担当課
42	府中の森市民聖苑	住宅勤労課
建物(ハード)		
延床面積	9,873㎡	
しゅん工年度	平成8年(1996年)	
特記事項	・建物だけでなく、火葬炉の老朽化に対しても定期的な対応が必要である。	
運営(ソフト)		
設置目的	火葬、葬儀等を行う環境の整備を図り、市民福祉の向上に資するための施設	
機能	式場(50人用～140人用)、法要室(30人用～60人用)、霊安室など	
運営	直営	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬件数は、年間約1,700件となっている。 ・式場は、通夜と告別式を合わせて年間約2千件台で推移している。 ・法要室の利用件数は減少傾向である。 ・「府中市行財政改革推進プラン」に基づき指定管理者制度の導入について検討したが、コストやサービス面などを総合的に判断し、市が直接運営することとなった。 ・現在稲城市と共同で整備を進めている公営墓地の敷地内には、メモリアルホール(仮称)が整備される予定である。 	
検討の方向性 (短期)	・歳入確保の方策を検討する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○歳入の増加に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
期待する 主な効果	・歳入の増加	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法要和室を洋式化し、利便性の向上を図った。 ・施設利用に支障が出ないよう、安全面を重視した施設改修を実施した。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・施設の利便性の向上と併せ、稼働率の向上に向けた環境整備を検討する。(高齢者の利用の便を図るとともに法要室の稼働率を上げる。)
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・高齢者の利便性向上と施設稼働率の向上を図るため、法要和室の洋式化に向けた予算確保を図った。 ・売店での取扱いメニューを増やし、利用者にとってより使いやすい売店にする。 【来年度の取組予定】 ・法要和室の洋式化の実現。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・法要和室の椅子席化(洋式化)のため、必要なテーブルや椅子を設置した。 【下半期の取組予定】 ・施設の利用に支障が出ないよう、安全面を重視した維持管理に努める。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・施設の利用に支障が出ないよう、安全面を重視した維持管理に努めた。 【来年度の取組予定】 ・引き続き、施設の利用に支障が出ないよう、安全面を重視した維持管理を行う。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・内壁タイルの改修工事着工。施設・設備の機能維持のための点検、修繕補修等を実施。 【下半期の取組予定】 ・内壁タイル改修工事を工期どおりに終了させる。施設・設備の機能維持のための点検、修繕補修等を実施。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいない 【下半期の取組状況】 ・内壁タイル改修工事については、施設運営を優先した見直しを行い、改修範囲を当初の予定範囲より縮小して工事を終了することとした。 【来年度の取組予定】 ・まだ着手していない箇所等の内壁タイル改修工事を行い、施設の安全性の確保に努める。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 概ね計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・平成28年度未着手箇所の内壁タイル改修工事を行うための準備を進め、当該工事に着手した。 【下半期の取組予定】 ・施設一部の利用を制限しながら未着手箇所の内壁タイル改修工事を完了させ、施設利用者の安全確保に努める。
		【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・施設利用者の安全確保のため、施設の一部の利用を制限しながら未着手箇所の内壁タイル改修工事完了に向けて事業を進めた。

No.	施設名	担当課
43	府中駅南口市営駐車場	地域安全対策課
建物(ハード)		
延床面積	33,881㎡(増築により記載内容変更)	
しゅん工年度	平成7年(1995年)	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅南口の商業ビル地上1階～地下3階 ※平成29年7月に、新たに府中駅南口複合施設ル・シーニュ地上1階～地下3階、府中駅前通り地下部分を整備した。 	
運営(ソフト)		
設置目的	自動車を利用する者の利便に供するとともに、市民の良好な生活環境の確保を図るための施設	
機能	収容台数425台→790台	
運営	【指定管理者】株式会社府中駐車場管理公社(平成23年4月1日～平成28年3月31日)→株式会社府中駐車場管理公社(平成28年4月1日～平成33年3月31日)	
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用台数は、年間約60万台で推移している。 ・周辺民間駐車場より特に安い価格設定を行うことは、民間事業者への影響を考慮する必要がある。 ・施設の運営及び大規模修繕を除く維持管理に要する費用については、全て利用料で賄われている。 	
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理だけでなく、改修に要する費用まで見通したうえで、更なる歳入確保の方策を検討する。 	
短期スケジュール		
平成26年度	○指定管理者の利益が市に還元される割合を検証し、適正化の検討	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	●検討結果を踏まえた取組の実施	
期待する 主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設改修に充てる財源の確保 	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・再開発事業に伴う施設拡張により、収容可能台数が増加することで満車料金比率が低下することを見込み、負担率区分表を見直した。これにより、満車料金比率が低下した場合の負担率を引き上げた。 	

取組状況		
平成26年度	下半期	<p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営状況を把握し、施設改修費負担金の計算基礎及び施設改修費負担区分表の適正化について検討を進める。
		<p>【進捗状況】 【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度協定に基づき、次年度の施設改修費負担区分表等の内容を検討した。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者候補者選定委員会を設置し、事業者より提出される指定後5年間の事業計画書を踏まえた施設改修費負担金の計算基礎及び施設改修費負担表の適正化について、継続して検討を行う。
平成27年度	上半期	<p>【進捗状況】 【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者候補者選定委員会を開催し、現指定管理者を候補者として選定した。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理者決定後、平成28年度から平成32年度までの事業計画書の中で、施設改修費負担金の計算基礎及び施設改修費負担表の適正化の検討を行う。
		<p>【進捗状況】 【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との協定締結に際し、施設改修費負担金の計算基礎及び施設改修費負担表の適正化を行った。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に増設される部分について、事業計画の検討および増設後の施設改修費負担金の検討を行う。
平成28年度	上半期	<p>【進捗状況】 【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の利益が市に還元される割合について、現状の駐車場部分に関しては、平成27年度に指定管理者との協定に際し、適正化を行っている。 ・平成29年度の増設に伴う既存施設部分及び管理運営への影響について、課題の洗い出しを進めるとともに、検討を行った。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の増設に伴う既存施設部分及び管理運営への影響について、継続して検討する。
		<p>【進捗状況】 【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の増設部分及び既存施設部分の利用の見通し及び管理運営への影響について検討を行い、指定管理者の利益が市に還元される割合が適正になるよう、指定管理者と協議を行った。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【来年度の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発事業完了後の増設部分及び既存施設部分の利用状況及び管理運営への影響を注視していく。
平成29年度	上半期	<p>【進捗状況】 【上半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発事業に伴う施設拡張による利用状況の変動と管理運営への影響について把握し、それを基に指定管理者の利益が市に還元される割合について指定管理者と協議を行った。 <p>計画通りに進んでいる</p> <p>【下半期の取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きデータを蓄積し、必要に応じて次年度の指定管理について指定管理者と協議を行う。
		<p>【進捗状況】 【下半期の取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況を踏まえ、指定管理者の利益が市に還元される割合について指定管理者と協議を行った。

No.	施設名				担当課
44	自転車駐車場				地域安全対策課
建物(ハード)					
施設名	延床面積	しゅん工年度	施設名	延床面積	しゅん工年度
府中駅北自転車駐車場	2,651㎡ (建物全体9,362㎡)	平成 3年(1991年)	西府駅南自転車駐車場	-	平成20年(2008年)
東府中駅南自転車駐車場	1,455㎡ (建物全体4,468㎡)	平成 6年(1994年)	多磨霊園駅北自転車駐車場	995㎡	平成 2年(1990年)
西府駅北自転車駐車場	635㎡	平成20年(2008年)	府中駅南自転車駐車場	1,012㎡	平成29年(2017年)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅北自転車駐車場と東府中駅南自転車駐車場は、他の機能との複合施設となっている。 ・西府駅南自転車駐車場は、屋外の自転車駐車場である。 				
運営(ソフト)					
設置目的	自転車利用者の利便性を供するとともに、自転車の放置防止を図り、市民の良好な生活環境を確保するための施設				
機能	自転車駐車場				
運営	(府中駅北、東府中駅南、西府駅北・南、多磨霊園駅北)【直営】 (府中駅南)【指定管理】公益財団法人自転車駐車場整備センター(平成29年7月1日～平成34年3月31日)				
現状 (策定当初)	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設で利用率(利用台数/収容台数)は異なるが、平均では、定期利用台数の1か月当たりの利用率は約40%、一時利用台数の1日当たりの利用率は約80%となっている。 ・直営の自転車駐車場には有料又は無料の施設があり、原則、駅から半径300m圏内の施設を有料、300m圏外の施設を臨時自転車駐車場として無料としている。ただし、300m圏内にも、土地の使用貸借契約が長期に担保できない等の事情で暫定的な整備にとどめ、無料としている施設が存在する。 ・「府中市行財政改革推進プラン」に基づき指定管理者制度の導入について検討したが、コスト面やサービス面などを総合的に判断し、市が直接運営することとなった。 ・市内各駅に設置されている自転車駐車場には市が設置しているもののほか、公益財団法人自転車駐車場整備センターや民間事業者の設置するものがある。 				
検討の方向性 (短期)	<ul style="list-style-type: none"> ・無料臨時自転車駐車場のあり方や設置基準を見直し、有料化を検討する。 				
短期スケジュール					
平成26年度	○有料化に関する検討				
平成27年度	▽継続				
平成28年度	●有料化の可否について決定				
平成29年度	○決定事項に基づく取組の実施				
期待する 主な効果	・歳入の増加				
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた				
取組成果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・無料自転車駐車場の有料化や廃止について検討した結果、有料化については、土地使用の契約や設備等の整備に問題があり、廃止については、新たに代替えになる駐輪場の整備等の問題があるため、現状では困難であるという結論に至った。 ・無料自転車駐車場の誘導員の配置体制の見直し、経費縮減を行った。 ・新たに府中駅南自転車駐車場を整備し、指定管理者制度による管理を行うこととした。 				

取組状況		
平成26年度	下半期	【下半期の取組予定】 ・各無料自転車駐車場の利用状況の把握、管理運営にかかる費用の算出、有料化もしくは閉鎖した場合の影響について検討を行う。
		【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・利用方法の周知、有料自転車駐車場への案内体制を強化し、無料自転車駐車場の適正な利用を促した。
		【来年度の取組予定】 ・適性利用を促し、既設の有料自転車駐車場への案内を行うとともに、各無料自転車駐車場の利用状況の把握、管理運営にかかる費用の算出、有料化もしくは閉鎖した場合の影響について継続して検討を行う。
平成27年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・無料自転車駐車場の利用状況の把握、管理運営に係る費用の算出、有料化若しくは閉鎖した場合の影響について検討を行った。
		【下半期の取組予定】 ・引き続き、無料自転車駐車場の利用状況の把握や、自転車駐車場の有料化に関する課題の検討を行う。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・無料自転車駐車場の管理運営に係る費用を算出した。 ・また、分倍河原駅周辺放置禁止区域内の有料自転車駐車場を増設した。その結果、無料自転車駐車場を閉鎖できるか検討したが、閉鎖可能なほどの収容台数が確保できなかったため、現時点での閉鎖は保留とした。
		【来年度の取組予定】 ・無料自転車駐車場の管理運営に係る費用を削減する。また、有料自転車駐車場の増設を含め、無料自転車駐車場の閉鎖を引き続き検討する。
平成28年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・無料自転車駐車場誘導員の配置体制見直しを行い、経費縮減に努めた。 ・府中駅南自転車駐車場の整備、指定管理について検討を進めた。 ・老朽化した多磨霊園駅北自転車駐車場の修繕について検討を進めた。
		【下半期の取組予定】 ・府中駅南自転車駐車場の指定管理者を決定する。 ・多磨霊園駅北自転車駐車場の修繕を実施する。 ・有料自転車駐車場の増設を含め、無料自転車駐車場の閉鎖を引き続き検討する。 ・無料自転車駐車場の有料化について、実施の可否を決める。
	下半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【下半期の取組状況】 ・府中駅南自転車駐車場の指定管理者を決定した。 ・多磨霊園駅北自転車駐車場の修繕を実施した。 ・有料自転車駐車場の増設を含め、無料自転車駐車場の閉鎖を引き続き検討した。 ・無料自転車駐車場の有料化について、現時点では難しい面があるが、引き続き検討課題とする。
		【来年度の取組予定】 ・有料自転車駐車場の増設を含め、無料自転車駐車場の有料化と閉鎖を引き続き検討していく。 ・新たに開設する府中駅南自転車駐車場に、「ちょこりん・スポット」の役割を移行し、引き続き安全な歩行空間を確保する。
平成29年度	上半期	【進捗状況】 計画通りに進んでいる 【上半期の取組状況】 ・府中駅南自転車駐車場を開設した。 ・白糸台駅西特別臨時自転車駐車場を拡張した。
		【下半期の取組予定】 ・有料自転車駐車場の増設を含め、無料自転車駐車場の有料化と閉鎖を引き続き検討していく。
	下半期	【進捗状況】 【下半期の取組状況】 ・無料自転車駐車場の有料化と廃止について検討し、有料化については、土地使用の契約や設備等の整備に問題があり、廃止については、新たに代替えになる駐輪場の整備等の問題があるため、現状では困難であるという結論に至った。

■ 計画的保全の取組

No.	取組事項	担当課
1	保全計画の策定	建築施設課
目的	計画的保全の取組を体系的に整理し、市民及び職員に対する周知を図るとともに、取組の継続性を確保する。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的保全の対象とする施設や部位の設定 ・建物の目標耐用年数や各部位の改修サイクルなどの諸条件を整理し、将来の施設改修及び更新コストの縮減効果の算出 ・施設の劣化状況調査と予算の優先順位付けをつなげる仕組みの確立 ・施設担当者と建築施設課の連携体制の強化 	
特記事項	—	
短期スケジュール		
平成26年度	●保全計画の策定	
平成27年度	○計画に基づく取組の実施	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<p>・施設を管理する職員が同じ視点を持って公共施設の維持に携わるための手引きとして、「府中市公共施設保全計画」を平成28年3月に策定した。当該計画においては、計画的保全の対象とする施設の定義付けなど取組のための条件整理をしたほか、計画策定以前から実施していた施設の日常点検や劣化状況調査について、その結果を予算化に反映させる仕組みを構築するなど、建築物の長寿命化やライフサイクルコストの低減などの手法を体系的に取りまとめた。</p>	

No.	取組事項	担当課
2	委託業務の見直し	建築施設課、施設所管課
目的	施設の維持管理に当たって委託している業務(各種点検や清掃など)について、各施設の所管課で作成している仕様書や委託方法の見直しなどにより、質の確保とコストの削減を図る。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・類似業務の仕様書の統一化 ・施設の利用状況や運営状況に合致した仕様書の作成 ・委託業務の実施状況及び結果(納品物)の確認を強化 	
特記事項	・現行の業務委託の内容及び契約期間を踏まえ、対象施設や実施年度を設定する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○委託業務の見直し手法や対象施設の検討	
平成27年度	●検討結果を踏まえた見直しの実施	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<p>・施設の維持管理に当たり、委託している業務について、各施設の所管課で作成する仕様書の統一化を図った。第2次府中市公共施設マネジメント推進プランでは、適正かつ均一な施設管理とライフサイクルコストの低減、財政負担の平準化を目指し、複数施設の保守管理・点検業務を一括して民間事業者へ委託する包括管理業務委託の導入について検討することとした。</p>	

No.	取組事項	担当課
3	ライフサイクルコストを考慮した施設整備	建築施設課、施設所管課
目的	施設整備の手法を検討する際、建設にかかる費用だけでなく、維持管理にかかる費用も含めた生涯費用(ライフサイクルコスト)を判断基準とすることにより、最小の費用で最大の効果を生み出すことにつなげる。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする耐用年数に応じた構造や工法の選定 ・維持管理の容易性に配慮した設計 ・効果的かつ効率的な設備機器の選定及び配置 	
特記事項	・改修や修繕においても同様に対応する。	
短期スケジュール		
平成26年度	○今後の施設整備に向けた方策の検討、実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
取組結果	一部の取組は未達だが、概ね目標を達成できた	
取組成果の内容	<p>・押立文化センター、学校給食センター及び市民活動センター「プラッツ」等の整備に当たっては、ライフサイクルコストを考慮した工事を行った。特に学校給食センターについては、光熱水費を効果的に削減できるよう、コ・ジェネレーションなど新たなシステムを導入した。</p> <p>また、限られた予算を効果的に活用した改修工事を行うため、定期的を実施する施設の劣化状況調査や施設所管課とのヒアリング及び最適化の取組の結果などを踏まえた総合的な判断指標に基づき、工事の優先順位付けを実施した。</p> <p>・第2次府中市公共施設マネジメント推進プランでは、施設にかかるライフサイクルコストの低減を図るため、市が予算を確保し、工事を発注する従来手法だけでなく、多様な事業手法の導入可能性を検討することとした。</p>	

No.	取組事項	担当課
4	保全に関する連携体制の強化	建築施設課、施設所管課
目的	施設管理者及び担当者に対して保全に関する情報を適宜提供するとともに、建築施設課との連携体制を強化することにより、情報の共有及び施設の長期的な活用を図る。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保全に関するマニュアルの整備 ・説明会や実務講習会の実施 	
特記事項	—	
短期スケジュール		
平成26年度	○情報提供の実施	
平成27年度	▽継続	
平成28年度	▽継続	
平成29年度	▽継続	
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<p>・施設管理担当者に向けて、建物の日常的な維持管理を行う際の手引きや、施設の劣化状況調査を行う際の手引きを作成したほか、施設管理担当者向けの講習会を実施した。また、施設所管課と、施設の安全性に関わる修繕や改修についての具体的な取組を検討することなどにより、建築施設課と施設所管課との連携体制の強化を図った。</p>	

No.	取組事項	担当課
5	施設情報の一元化	建築施設課、施設所管課
目的	日々の管理業務記録から改修などの工事履歴までを一元的に管理し、ライフサイクルコストの低減や保全業務の効率化を図る。	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各課が保管する情報の検証 ・一元管理する情報の範囲の検討 ・情報の一元化に向けたシステム導入の検討 	
特記事項	・システムに係る検討結果の取りまとめ時期については、今後の進捗状況に応じて変わる可能性がある。	
短期スケジュール		
平成26年度	○施設情報の整理及び活用	○運用面の課題や必要となる機能などを精査し、今後のシステム本格導入の可否を検討
平成27年度	▽継続	●検討結果を取りまとめる。
平成28年度	▽継続	▽検討結果に基づく対応
平成29年度	▽継続	▽継続
取組結果	目標を達成できた(完了)	
取組成果の内容	<p>・施設情報の一元化に向けて、平成26年度に試験的に導入した保全に関するシステムは、本格的な導入には至らなかった。当該システムに関する検証結果を踏まえ、必要となる機能を精査し、改めて平成29年度に施設改修履歴を管理するためのシステムを構築した。また、システムの利用方法等を各課へ周知するなど平成30年度以降の運用に向けた準備を進めた。</p>	

